

平成19年度
情報収集事業報告書
第1号

クォーターリー・レビュー

資源メジャーの
2007年第1四半期動向

平成19年9月

独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構

はじめに

世界的な金属資源価格の高騰を受け、鉱物資源の大輸入国である我が国では原料資源調達が急務となってきたおり、これら鉱物資源を安定的に確保するためには、その需給の状況・動向等を的確に把握することが不可欠である。

また、我が国の海外鉱山開発事業の円滑な推進を支援するために、マクロ的な需給動向のみならず、世界の鉱山・プロジェクト、探鉱開発の動向を常時注視し、企業活動の推移と傾向を分析調査することは、大変意義のあることと考える。

本報告書は、このような状況を踏まえ、国際金属研究会（銅、鉛・亜鉛、ニッケル）のマンスリーレポート等をベースにしたマクロな需給動向調査に加え、世界の非鉄メジャー企業のクォーターレポート、各国統計機関の発表等により経営・生産状況、探鉱開発等の動向をレビューし、「クォーター・レビュー」としてとりまとめたものである。

最後に、本報告書が関係各位の参考となれば幸いです。

平成 19 年 9 月

独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構
金属資源開発本部企画調査部

おことわり:本報告書の内容は、必ずしも独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構としての見解を示すものではありません。正確な情報をお届けするよう最大限の努力を行っておりますが、本報告書の内容に誤りのある可能性もあります。本報告書に基づきとられた行動の帰結につき、独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構及び執筆者は何らの責任を負いかねます。

クォーターリー・レビュー

－資源メジャーの2007年第1四半期動向－

目 次

はじめに

I. ベースメタルの国際市況と需給動向	1
1. 銅	1
2. 鉛	4
3. 亜鉛	6
4. ニッケル	8
II. 世界の主要生産者の動向	10
1. 銅企業の動向	10
2. 亜鉛企業の動向	11
3. ニッケル企業の動向	12
III. 今後の鉱山・製錬生産能力予測	13
IV. 主要企業の2007年第1四半期動向レビュー	14
1. CODELCO	14
2. BHP Billiton Limited	16
3. Grupo Mexico	20
4. Rio Tinto plc	22
5. Freeport-McMoRan Copper & Gold Inc. (FCX)	24
6. KGHM Polska Miedź S.A. (KGHM)	27
7. Antofagasta plc	28
8. Anglo American plc	29
9. Barrick Gold Corporation	31
10. Newmont Mining Corporation	32
11. Teck Cominco Limited	33
12. Peñoles	35
13. Aneka Tambang (Antam)	37
14. Companhia Vale do Rio Doce (CVRD)	41
15. Xstrata plc	43
16. Kazakhmys	45
17. Glencore International AG	46

V. その他企業の動向、主要国の生産統計	48
1. 豪州企業	48
2. 中国企業	75
VI. 主要国、主要鉱山の生産統計	76
1. 主要国の生産統計	76
(1) チリ	
(2) ペルー	
(3) ボリビア	
(4) メキシコ	
(5) オーストラリア	
(6) 中国	
2. 主要鉱山の生産統計	82
(1) Grasberg 鉱山	
(2) Morenci 鉱山	
(3) Antamina 鉱山	

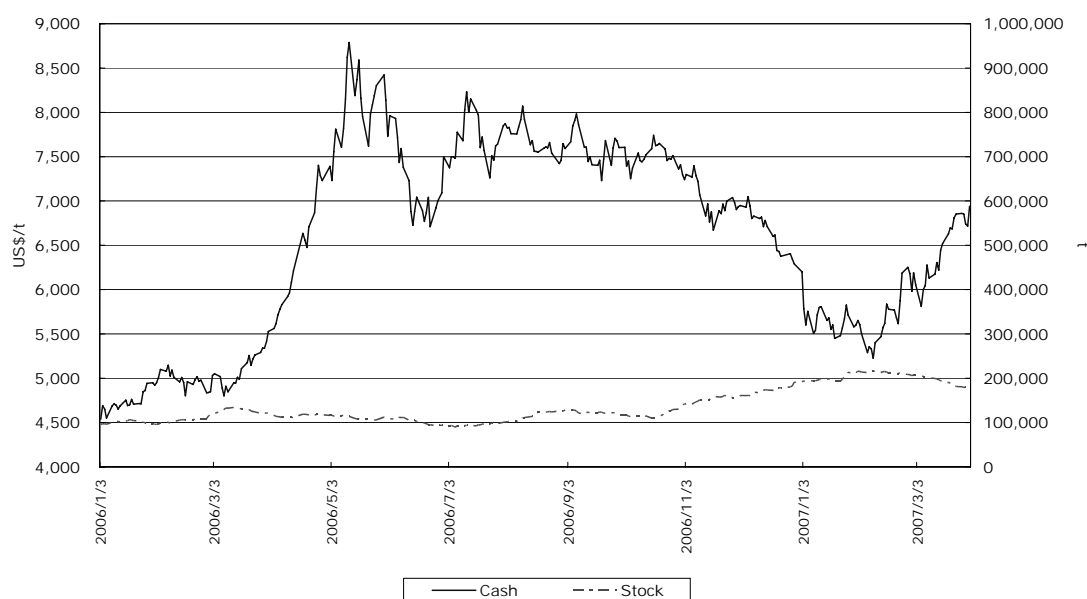
I. ベースメタルの国際市況と需給動向

1. 銅

1. 銅の LME 価格は、投機資金の流入が一段落し、5,200US\$/t 台から 6,900US\$/t 台で推移した。
2. 2007 年 1~3 月の世界消費は前年同期比 9.1%増。鉱山生産は 7.2%増。地金生産は 4.3%増。
3. 2007 年 1~3 月の需給バランスは、143 千 t の供給不足。

(1) 国際価格(1~3 月)

LME 銅価格は、2007 年 1~3 月に 5,200US\$/t 台~6,900US\$/t 台で推移した。2006 年前半に比べ、需給が緩み投機資金の流入も一段落したものの、1 月 2 日に 6,201US\$/t でスタートした後は乱高下を繰り返し、2 月 8 日に 5,226US\$/t まで下落した後は上昇傾向にあり、3 月 30 日に 6,940US\$/t で終了した。



銅地金価格と在庫の推移

出典：LME

(2) 需給(1~3月)

【需要】

2007年1~3月の銅世界消費は前年同期比9.1%増の4,560千tであった。世界消費は2007年12月1,335千t、2007年1月1,509千t、2月1,453千t、3月1,598千tと推移している。国別では、2位米国が9.2%減、3位ドイツが2.4%減、4位日本が3.7%減だったものの、最大消費国の中国が35.7%と大幅増、5位イタリアが7.9%増となり、全体として増加した。

【供給】

2007年1~3月の銅鉱山生産(金属純分、以下同様)は前年同期比7.2%増の3,792千tであった。鉱山生産は2007年12月1,408千t、2007年1月1,276千t、2月1,167千t、3月1,349千tと推移している。鉱山設備稼働率は12月95.8%、1月86.5%、2月87.3%、3月90.8%と比較的高い水準で推移している。国別では、2位米国が2.7%減であったが、最大生産国のチリが7%増、3位ペルーが4%増、4位インドネシアが66.7%と大幅増、5位豪州が4.6%増となり、全体として増加した。

2007年1~3月の銅地金生産は前年同期比4.3%増の4,418千tであった。地金生産は2006年12月1,521千t、2007年1月1,521千t、2月1,403千t、3月1,494千tと推移している。精錬所設備稼働率は12月84.3%、1月83.9%、2月85.2%、3月81.6%と比較的低い水準で推移している。国別では、4位米国5.5%減となったが、最大生産国の中国が4%増、2位チリで10.2%増、3位日本4.9%増、5位ロシア5.4%増となり、全体として増加した。

【需給バランス】

2007年1~3月の銅需給バランスは143千tの供給不足であった。12月186千t、1月11千tと供給超過であったが、その後2月50千t、3月104千tの供給不足に転じた。季節調整後の需給バランスでも12月に33千t、1月に20千tと供給超過であったが、その後2月に37千t、3月に52千tの供給不足に転じた。

LME在庫は1月から減少傾向に転じており、1月末に212千t、2月末208千t、3月末に178千tと推移している。

銅の需給状況

(単位：千t)

銅	2006年					2007年	前年同期比(%)	対前期比(%)
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	2006年計	第1四半期		
鉱山生産量	3,536	3,691	3,639	4,100	15,008	3,792	7.2	-7.5
地金生産量	4,235	4,319	4,337	4,480	17,331	4,418	4.3	-1.4
一次	3,663	3,731	3,717	3,842	14,865	3,806	3.9	-0.9
二次	573	589	619	638	2,466	611	6.6	-4.2
消費量	4,178	4,369	4,266	4,218	16,994	4,560	9.1	8.1
需給バランス	57	-50	71	262	337	-143	-	-

※データは国際銅研究会のものを使用しているが合計等は必ずしも合わない。

出典：国際銅研究会資料

(3) 今後の見通し（国際銅研究会予測）

2007年の銅世界消費は前年比4.7%増(800千t増)の17,800千tとなる見込み。中国での伸びが目立つが、それとともにインド、ロシアの消費が継続的に伸びている。米国、日本は前年並みで欧州は2006年の高いレベルから減少する。2008年の銅世界消費は前年比3.6%増(640千t増)の18,430千tとなる見込み。

2007年の銅鉱山生産は前年比6.3%増(940千t増)の15,970千tとなる見通し。これは新規鉱山開発や生産能力の増加によるものである。2006年の生産量はチリ、インドネシア、メキシコでの生産障害により前年並みとなった。2008年の銅鉱山生産は前年比7.3%増(1,200千t増)の17,130千tとなる見通し。2007年、2008年ともにSX-EW生産は精鉱生産より伸び率が高くなる見込み。

2007年の銅地金(一次、二次含む)生産については前年比4.3%増(740千t増)の18,070千tとなる見込み。また、2008年の銅地金生産については前年比4.9%増(880千t増)の18,950千tとなる見込み。電解精錬生産は中国、インド、日本で増加し、SX-EW生産はチリ、アフリカ、米国で増加する見込みで、これらが世界の増加の大部分を占める。2006年に精鉱在庫が大いに消費されたこともあり、2007年、2008年の精鉱生産が地金生産の伸びを抑制すると予測される。

需給バランスは、2005年まで供給不足であったが、2006年以降は供給超過に転じる。2007年に280千t、2008年に520千tと供給超過が拡大する見込み。

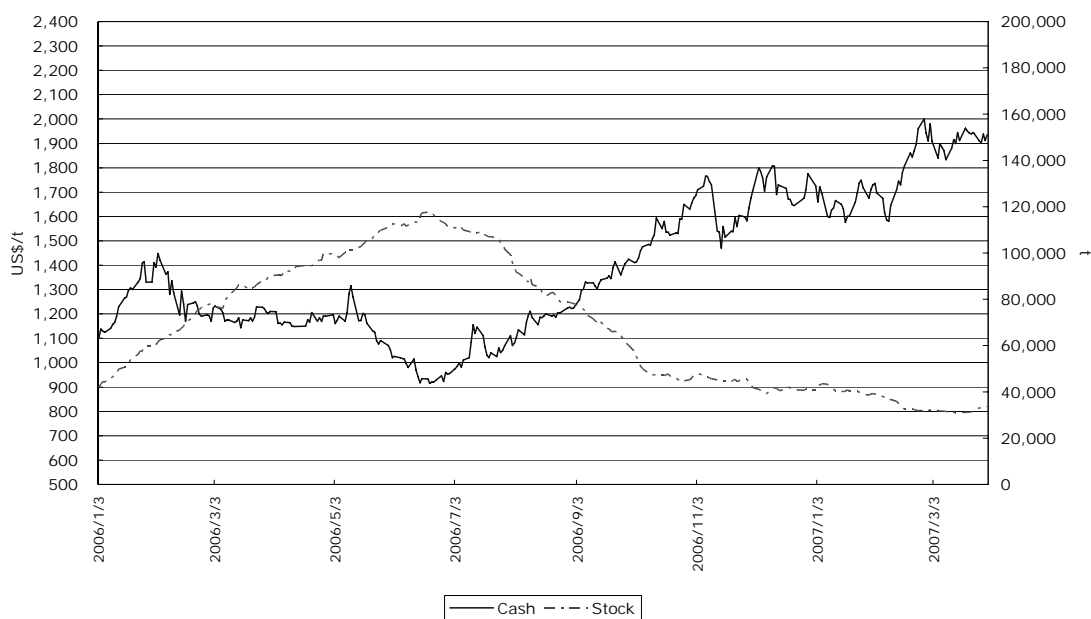
また、関係機関の予測によると2007年の需給バランスは232千t、2008年は486千tの供給超過となる見込である。

2. 鉛

1. 鉛の国際価格は需給のタイト化を受け高い水準にあり、史上最高値を更新し一時2,000US\$/tとなった。
2. 2007年1～3月の消費は前年同期比4.7%増。鉱石生産は、2.7%増。地金生産は微減。
3. 2007年1～3月の世界の需給バランスは38千tの供給不足。

(1) 国際価格(1～3月)

LME 鉛価格は需給のタイト化を受け、1,500US\$/t 台後半から 2,000US\$/t 台と高い水準で推移している。1月2日に1,725US\$/tでスタートした後、1月17日に1～3月の最低値1,575US\$/tまで下落した。その後は乱高下を繰り返したが、2月中旬より史上最高値を更新し続け2月26日に2,000US\$/tに達した。3月に入っても1,900US\$/t 前後と高い水準で推移し、3月30日に1,936US\$/tで終了した。



鉛地金価格と在庫の推移

出典：LME

(2) 需給(1～3月)

2007年1～3月の世界消費は前年同期比で4.7%増の2,054千tであった。2位米国が4.2%減、4位韓国が前年並みとなったが、最大消費国の中国が19.7%増、3位ドイツが4.4%増、5位日本が2.8%増となり全体として増加した。

2007年1～3月の鉱山生産は前年同期比2.7%増の889千tであった。2位豪州が4.8%減、3位米国が5.1%減であったが、最大生産国の中国が8.8%増、4位ペルーが9.5%増、5位メキシコが6.7%増となり全体として増加した。

2007年1～3月の地金生産は前年同期比0.3%減の2,016千tであった。2位米国が4.4%増であったが、最大生産国の中国が1.2%減、3位ドイツが1%減、4位英国が9.5%減、5位日本が前年並みとなり全体として減少した。

2007年1～3月の需給バランスは、米国備蓄放出を考慮しても38千tの供給不足となった。

LME在庫は2007年1月末約39千t、2月末約32千t、2月末約33千tと緩やかな減少傾向にある。

鉛の需給状況

(単位：千t)

鉛	2006年					2007年	前年 同期比(%)	対前期比 (%)
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	2006年計	第1四半期		
鉱山生産量	866	863	863	859	3,473	889	2.7	-3.5
地金生産量	2,023	2,038	1,873	2,036	7,937	2,016	-0.3	1.0
米国備蓄放出	0	7	0	0	17	0	-	-
消費量	1,962	2,009	1,964	2,029	7,949	2,054	4.7	-1.2
需給バランス	61	36	-91	6	5	-38	-	-

※データは国際鉛亜鉛研究会のものを使用しているが合計等は必ずしも合わない。

出典：国際鉛亜鉛研究会資料

(3) 今後の需給見通し(国際鉛亜鉛研究会予測)

2007年の世界の鉛地金消費は前年比4.1%増の8,260千tと見込まれる。この伸びは主に自動車生産台数が顕著に伸びる中国での消費が12.4%増となるためである。欧州では2%の伸び、米国では1.3%減となる見込みである。

2007年の世界の鉛鉱山生産は前年比10.7%増の3,790千tと見込まれる。これは中国での11.9%といった大きな伸び、Magellan鉱山の一時休止にかかわらず豪州で16.4%増となるためである。この他、ボリビア、カナダ、メキシコ、ロシア、スウェーデン、南アフリカでも増産が見込まれる。

2007年の世界の鉛地金生産は中国の6.3%増、欧州の3.3%増の他、豪州、カザフスタン、韓国、米国の増産により前年比3.8%増の8,210千tとなる見込みである。

2007年の需給バランスは50千tの供給不足となる見込みである。

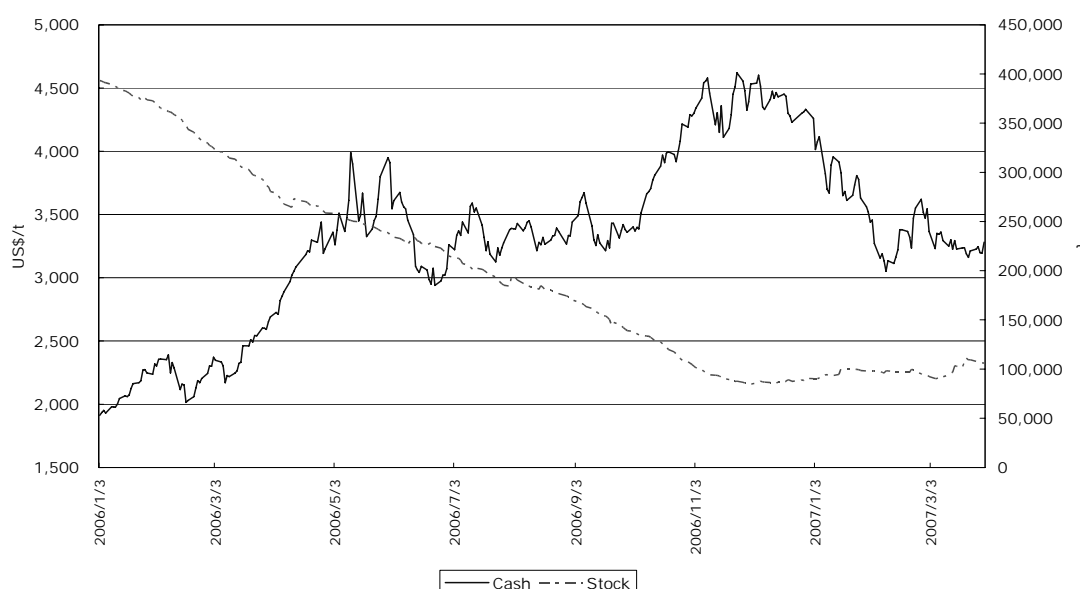
また、関係機関の予測によると、2007年には31千tの供給不足、2008年には67千tの供給超過となる見込みである。

3. 亜鉛

1. 亜鉛の国際価格は、需給が緩んだこともあり減少傾向にある。
2. 2006年1～3月の消費は前年同期比1.8%増。鉱山生産は5.3%増。地金生産は9%増。
3. 2006年1～3月の世界の需給バランスは85千tの供給超過。

(1) 国際価格(1～3月)

LME 亜鉛価格は1～3月は需給が緩和したこともあり、この期間を通じて上下はあったものの減少傾向にあり、3,000US\$/t 台～4,200US\$/t 台で推移した。1月2日に4,259US\$/t でスタートした後は減少傾向にあり、2月8日に3,050US\$/t まで下落した。その後回復し2月26日に3,620US\$/t まで上昇した。その後は再び減少傾向に転じ3月30日3,281US\$/t で終了した。



亜鉛地金価格と在庫の推移

出典：LME

(2) 需給(1～3月)

2007年1～3月の世界消費は前年同期比で1.8%増の2,743千tであった。最大消費国の中国が0.9%減、2位の米国が2.1%減、5位韓国8.3%減となったが、3位日本が4.9%増、4位のドイツが9%増となり全体として増加した。

2007年1～3月の鉱山生産は前年同期比で5.3%増の2,645千tであった。3位豪州が9.4%減、5位カナダが9.5%減となったが、最大生産国の中国が15.3%増、2位ペルーが21.5%と大幅増、4位の米国が0.6%増となり全体として増加した。

2007年1～3月の地金生産は前年同期比で9%増の2,827千tであった。2位カナダが1.4%減、5位スペインが前年並みとなったが、最大生産国の中国が21.4%と大幅増、3位韓国が4.2%増、4位日本が2.1%増となり全体として増加した。

2007年1～3月の需給バランスは2006年末の供給超過の傾向が継続しており、米国備蓄放出を考慮すると85千tの供給超過となった。

LME在庫量は1月末98千t、2月末94千t、3月末106千tと緩やかな回復傾向にあるが依然低い水準である。

亜鉛の需給状況

(単位：千t)

亜鉛	2006年					2007年	前年同期比(%)	対前期比(%)
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	2006年計	第1四半期		
鉱山生産量	2,513	2,646	2,646	2,623	10,346	2,645	5.3	-0.8
地金生産量	2,594	2,677	2,652	2,837	10,711	2,827	9.0	0.4
米国備蓄放出	1	8	12	-2	28	1	-	-
消費量	2,694	2,790	2,754	2,812	11,006	2,743	1.8	2.5
需給バランス	-101	-106	-90	24	-267	85	-	-

※データは国際鉛亜鉛研究会のものを使用しているが合計等は必ずしも合わない。

出典：国際鉛亜鉛研究会資料

(3) 今後の需給見通し(国際鉛亜鉛研究会予測)

2007年の世界の亜鉛地金消費は主にアジアでの伸びを受け、前年比4%増の約11,450千tと見込まれる。中国の消費は亜鉛鋼板の増産により8.4%の伸びとなる見込みである。消費はインド、日本、韓国、台湾、タイでも増加する見込みである。

欧州では、ロシア、スペインでの伸びとイタリアの需要回復がドイツでの減少を打ち消し全体で1.5%増となる見込みである。米国の消費は前年並みとなる見込みである。

2007年の世界の亜鉛鉱山生産は豪州、ボリビア、カナダ、中国、カザフスタン、ペルー、ロシア、米国等を含む多数の国での増加により前年比9.4%増11,350千tと見込まれる。

2007年の世界の亜鉛地金生産は前年比6.9%増の11,400千tと見込まれる。中国は精錬能力が拡張し続けているため14.7%と大きく伸びる見込みである。他に、豪州、ベルギー、ドイツ、メキシコ、ポーランド、ロシア、スペインでも増加が見込まれている。

2007年の需給バランスは約40千tの供給不足となる見込である。

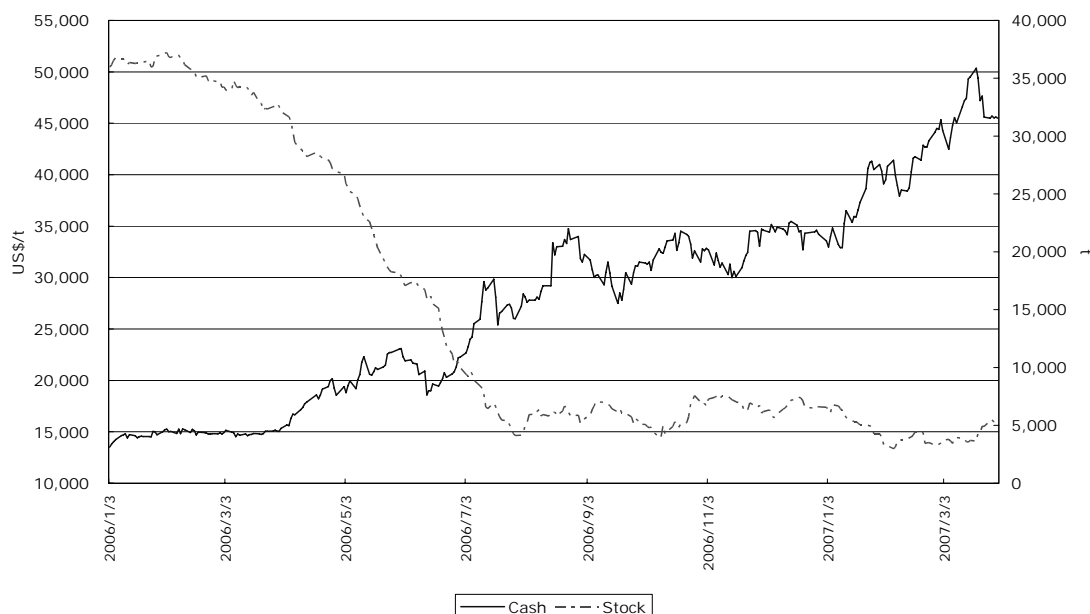
また、関係機関の予測によると、2007年には43千tの供給不足、2008年には335千tの供給超過となる見込である。

4. ニッケル

1. ニッケルの国際価格は需給がタイトなこともあり、史上最高値を更新した。
2. 2007年1～3月の世界消費は前年同期比8.2%増。鉱山生産は8.8%増。地金生産は9%増。
3. 2007年1～3月の世界の需給バランスは5千tの供給超過。

(1) 価格(1～3月)

LME ニッケル価格は需給がタイトで引き続き投機資金の流入が活発なこともあり、1月から3月は32,000US\$/t台から50,000US\$/t台と高値かつ上昇傾向で推移した。1月2日に33,550US\$/tでスタートした後は一旦、1月10日に32,900US\$/tまで下落したが、1月中旬以降は史上最高値更新を続け3月19日には50,345US\$/tに達した。その後は減少し3月30日に45,500US\$/tで終了した。



ニッケル地金価格と在庫の推移

出典：LME

(2) 需給(1~3月)

【需要】

ニッケルの1~3月の消費量は361千tで、前年同期比8.2%増となった。第4位ドイツが1.5%減、第5位の韓国が1.3%減となったが、第1位の中国が40.7%と大幅増、第2位の日本が25.2%と大幅増、第3位米国が2.6%増となり全体として増加した。

【供給】

ニッケルの1~3月の鉱山生産は386千tで、前年同期比8.8%増となった。第1位ロシア3.9%増、第2位カナダ7.4%増、第3位豪州が8.7%増、第4位インドネシアが24.7%と大幅増、第5位コロンビアが5%増と世界的な増加傾向により全体として増加した。

ニッケルの1~3月の一次生産は366千tで、前年同期比9%増となった。第5位豪州が8%減となったが、第1位ロシアが1.8%増、第2位となった中国が90.6%とほぼ倍増、第3位の日本が4.9%増、第4位カナダが3.8%増となり全体として増加した。

【需給バランス】

1~3月の需給バランスは、5千tの供給超過となった。

LME在庫は2006年末の減少傾向が続き、1月末の4千t、2月末の3.3千tと推移していたが、3月末には5.4千tと回復した。

表1 ニッケルの需給状況

(単位:千t)

ニッケル	2006年					2007年	前年同期比 (%)	対前期比 (%)
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	2006年計	第1四半期		
鉱山生産量	354	367	357	380	1,458	386	8.8	1.6
一次生産量	336	335	327	359	1,357	366	9.0	2.0
消費量	334	350	353	364	1,401	361	8.2	-0.8
需給バランス	2	-15	-26	-5	-44	5	-	-

※データは国際ニッケル研究会のものを使用しているが合計等は必ずしも合わない。

出典:国際ニッケル研究会

(3) 今後の見通し(国際ニッケル研究会予測)

2007年のニッケル消費は前年比1.5%増の1,414千t、ニッケル一次生産は同8.9%増の1,478千tとなる見込みで、需給バランスは約64千tの供給過剰と予測している。また、中国におけるニッケル銑鉄の生産増加が、今後さらに加速するとの見通しである。

II. 世界の主要生産者の動向

1. 銅企業の動向

主要銅生産企業 15 社を対象としている。Xstrata、Barrick Gold については詳細なデータがなかった。また Anglo American については半期レポートしか出ておらず 2007 年第 1 四半期のデータは無い。1 位 CODELCO は前年同期並であった。2 位 Freeport McMoRan は Grasberg 鉱山の回復等により 29.4%と大幅増であった。3 位 BHP Billiton は Escondida 鉱山の増産(主に SX-EW 部分)、Spence 鉱山(SX-EW)の生産開始により 12.1%増、5 位 Rio Tinto は Kennecott Utah 鉱山の減産により 2.7%減、7 位 Grupo Mexico は 6.8%増、8 位 KGHM は 5.6%減、9 位 Antofagasta は微減、10 位 Kazakhmys は鉱石の高品位化・新鉱山の生産増により 10.2%増、11 位 Norilsk は 7.3%減、12 位 Teck Cominco は Antamina 鉱山での品位低下による減産で 10.2%減、13 位 CVRD は Inco 買収により Sudbury 鉱山を取得したことにより、250%と劇的に増加、15 位 Newmont は Batu Hijau 鉱山の増産により 21.1%と大幅増であった。

主要銅鉱山生産者の生産実績

(単位：千 t)

	2006 年 第 1 四半期	2006 年 第 2 四半期	2006 年 第 3 四半期	2006 年 第 4 四半期	2006 年 合計	2007 年 第 1 四半期	前年 同期比(%)
1 CODELCO	377	476	381	549	1,783	382	1.3
2 Freeport McMoRan	375	338	427	423	1,563	485	29.4
3 BHP Billiton	319	312	250	301	1,181	358	12.1
4 Xstrata	-	-	-	-	1,011	-	-
5 Rio Tinto	203	207	183	210	803	198	-2.7
6 Anglo American	300		344		644	-	-
7 Grupo Mexico	161	124	141	180	606	172	6.8
8 KGHM	136	136	140	144	556	129	-5.6
9 Antofagasta	107	101	126	131	466	106	-1.0
10 Kazakhmys	95	108	111	120	434	105	10.2
11 Norilsk	109	109	101	106	425	101	-7.3
12 Teck Cominco	59	62	63	70	254	53	-10.2
13 CVRD	22	30	32	84	168	77	250.0
14 Barrick Gold	-	45	43	45	133	45	-
15 Newmont	19	28	24	36	107	23	21.1
15 社計	2,282	2,076	2,367	2,398	10,134	2,233	-2.2

*数値は基本的に鉱山生産量で各社ホームページが出典

*Phelps Dodge は Freeport McMoRan に 2007 年 3 月買収された。Freeport McMoRan の数値は両社の合計である。

*1: BHP Billiton は地金生産(SX-EW)を含む

*2: KGHM は地金ベースの発表

2. 亜鉛企業の動向

主要な亜鉛生産企業 10 社と中国を対象としている。Xstrata、Glencore、Volcan については詳細なデータが無かった。また、Anglo American については半期レポートしか出ておらず 2007 年第 1 四半期のデータは無い。2 位 Teck Cominco は Red Dog 鉱山の増産により前年同期比 11.3% 増、3 位 Zinifex は Century 鉱山、Rosebery 鉱山の生産効率低下により伸び悩み 3.5% 減、5 位 Vedanta は 3.2% 減となった。7 位 Boliden は微増であった。9 位 Penoles は 6.4% 減であった。10 位 BHP Billiton は Antamina 鉱山の品位向上・増産により 26.1% と大幅増となった。

主要亜鉛鉱山生産者の生産実績

(単位：千 t)

	2006 年 第 1 四半期	2006 年 第 2 四半期	2006 年 第 3 四半期	2006 年 第 4 四半期	2006 年 合計	2007 年 第 1 四半期	前年 同期比(%)	出 典
1 Xstrata	-	-	-	-	670	-	-	
2 Teck Cominco	150	154	174	148	626	167	11.3	1
3 Zinifex	148	151	136	143	578	143	-3.5	1
4 Glencore	-	-	-	-	516	-	-	2
5 Vedanta	125	131	125	128	509	121	-3.2	1
6 Anglo American	170		165		335	-	-	1
7 Boliden	89	80	76	82	328	89	0.0	1
8 Volcan	-	-	-	-	295	-	-	2
9 Penoles	53	54	48	51	206	50	-6.4	1
10 BHP Billiton	28	28	24	20	100	36	26.1	1
中国	648	708	661	731	2,837	747	15.3	3
10 社 + 中国の計	1,326	1,391	1,326	1,385	6,998	1,352	-	

出典 1: 各社ホームページ、 2: Raw Material Data、 3: 国際鉛亜鉛研究会

*Anglo American は半期レポートしか出ていないため、半期レポートの数字の 1/2 として合計を算出している。

また、Xstrata、Glencore、Volcan は詳細が不明なため合計には含まれない。

3. ニッケル企業の動向

主要なニッケル生産企業7社とキューバ、中国を対象としている。Xstrata、Antamについては詳細なデータが無かった。また、Anglo American については半期レポートしか出ておらず 2007 年第1四半期のデータは無い。1位 CVRD(リオドセ、2006年10月に Inco を買収)は、Voisey's Bay 鉱山等の増産により、20.3%と大幅増、2位 Norilsk はほぼ前年並み、3位 BHP Billiton は Nickel West の増産により 13.9%増、5位 Eramet はニューカレドニアでのストライキにより 14.3%減となった。

主要ニッケル生産者の生産実績

(単位：千 t)

	2006年 第1四半期	2006年 第2四半期	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2006年 合計	2007年 第1四半期	前年 同期比(%)	出典
1 CVRD	59	64	58	69	250	71	20.3	1
2 Norilsk Nickel	60	61	61	62	244	61	1.7	1
3 BHP Billiton	40	42	45	48	175	46	13.9	1
4 Xstrata	-	-	-	-	76	-	-	1
5 Eramet	35		14	13	61	15	-14.3	1
6 Antam	-	-	-	-	60	-	-	2
7 Anglo American	14		13		27	-	-	1
キューバ	20	20	20	20	78	20	1.5	3
中国	16	18	18	16	69	16	0.0	3
7社+2国の計	219	228	215	235	1,040	229	-	

出典 1：各社ホームページ、2：Raw Material Data、3：国際ニッケル研究会

*四半期毎の合計は数値が公表されているもののみである。そのため Xstrata、Antam は原則含まれない。

Ⅲ. 今後の鉱山・製錬生産能力予測

国際銅研究会は四半期毎に改定している世界の銅鉱山・製錬一覧の2007年3月版を発表した。これは、2006年10月から2007年3月までに発表された世界の銅鉱山・製錬所の生産能力の変化を反映したものである。

(単位:銅金属量千t)

	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	05/09年 増加量	05/09年 年増加率
SX-EW	(3,134) 3,087	(3,307) 3,320	(3,750) 3,673	(4,279) 4,131	(4,615) 4,587	1,500	10.4%
精鉱	(13,505) 13,519	(13,631) 13,639	(13,979) 13,986	(14,540) 14,467	(15,273) 14,970	1,451	2.6%
鉱山計	(16,639) 16,606	(16,938) 16,959	(17,729) 17,659	(18,819) 18,598	(19,888) 19,557	2,951	4.2%
溶錬	(16,274) 15,634	(16,582) 16,514	(17,005) 17,161	(17,242) 17,595	(17,491) 18,250	2,616	3.9%
電解精錬	(16,445) 16,379	(16,701) 16,579	(17,266) 17,502	(17,663) 18,128	(17,983) 18,523	2,144	3.1%
精錬計	(20,305) 20,194	(20,706) 20,641	(21,719) 21,859	(22,652) 22,949	(23,313) 23,794	3,600	4.2%

()内は2006年10月の発表

銅鉱山生産能力は、2006年10月版と比べて期間途中で上方修正の年はあるもののほぼ2005年から2009年の期間を通じて若干の下方修正となった。2009年における鉱山生産能力は約19.6百万tとなることが計画されており、2005年と比べて17.8%増の295万t増(SX-EW 150万t増、精鉱145万t増)となる見込で、2005年から2009年までの4年間で鉱山生産能力は、年率4.2%(SX-EW 10.4%、精鉱2.6%)増加する見込み。

溶錬生産能力は、2006年10月版と比べて2007年以降は上方修正となった。2009年における溶錬生産能力は約18.3百万tとなることが計画されており、2005年と比べて16.7%増の262万t増となる見込である。2005年から2009年までの4年間で溶錬生産能力は年率3.9%増となり平均的には精鉱(SX-EW含む)の増加率を下回る。

精錬生産能力は、2006年10月版と比べて2007年以降は上方修正となった。2009年における精錬生産能力は約23.8百万tとなることが計画されており、17.8%増の360万t増加する見込である。2005年から2009年までの4年間で精錬生産能力は年率4.2%増となる見込である。4年間で電解精錬は214万t増加し、SX-EWは150万t増加する見込みであり、電解精錬は溶錬を下回る年率3.1%増、SX-EWは年率10.4%増となる見込である。

以上の計画された生産能力には、現存する鉱山・プラントの管理、メンテナンス、一時的生産削減等で変動する部分(Swing Capacity)は含まれていない。国際銅研究会の調査では、この変動部分(能力未使用部分)は鉱山で1万tと極僅であり、溶錬では18万t、精錬では37万tである。

※国際銅研究会の資料の発行が遅れていること、内容が2007年第1四半期のものであることから、内容は「クォーターレビュー 非鉄メジャーの2006年第4四半期動向」に掲載のものと同一ものです。

IV. 主要企業の2007年第1四半期動向レビュー

1. CODELCO

- ・ 2007年第1四半期のCODELCO分の売上高は、前年同期比12.0%増の27.19億US\$、営業利益は前年同期比2.4%増の17.26億US\$となった。また、純利益は前年同期比1.8%増の6.35億US\$となった。
- ・ 2007年の第1四半期の銅生産量(EI Abra含む)は、前年同期比1.3%増の382千tとなった。キャッシュコストは前年同期から4.3¢/lb増加し28.0¢/lbとなった。

(1) トピックス

- ・ 2007年第1四半期の余剰金は前年同期比6.8%増の17.93億\$ (法人所得税：8.12億\$、銅機密法に基づく軍への拠出金：2.7億\$、鉱業特別税：0.76億\$、純利益：6.35億\$)となった。
- ・ 2006年の銅生産量はEI Tenienteの増産により、前年比1.3%増の382千tとなった。その内訳はCODELCO Norteが192千t(前年比1.1%増)、Salvadorが18千t(同5.9%増)、Andinaが57千t(同1.7%減)、Tenienteが94千t(同10.6%増)、EI Abraが21千t(同22.2%減)であった。
- ・ Andina鉱山で研究開発を行っている、硫化鉱のバイオリーチングプラントにおいて、2007年2月に初めて銅カソードを生産した。
- ・ チリ政府はCODELCOの2006年利益の一部を資本化し、2007年の投資案件に充当することを決定した。

(2) 財務状況

(単位：百万US\$)

	2006年 第1四半期	2006年 第2四半期	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期
売上高	*12,974				*2,719
営業利益	1,685	3,021	2,619	2,193	1,726
当期損益	624	1,067	964	684	635

*EI Abra 鉱山を除く

(3) 生産状況

1) 主要鉱産物の生産状況

(単位：千t)

	2006年 第1四半期	2006年 第2四半期	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期
銅	377	476	381	549	382

2) 主要保有鉱山生産状況

(単位：千 t)

ディビジョン名	2006年 第1四半期	2006年 第2四半期	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期
CODELCO Norte (100%)	190	256	165	330	192
Salvador (100%)	17	21	22	21	18
Andina (100%)	58	61	58	59	57
El Teniente (100%)	85	111	108	114	94
El Abra (49%)	27	27	28	25	21
直接コスト (¢/lb)	23.7	33.1	30.8	37.4	28.0

注1) 生産量は銅金属純分

注2) 2006年第2四半期以降のキャッシュコストは累積平均

注3) El Abraの生産量はCODELCOシェア分

2. BHP Billiton Limited

- ・銅生産量*¹は、Escondida 鉱山硫化鉱浸出プロジェクトと Spence プロジェクト(共にチリ)の生産開始が記録的な生産量に貢献、同社全体で対前期 19%増加、対前年同期 22%増加となった。Spence 銅鉱山の当四半期生産量は 33,500t で年間生産能力の 67%に相当する。
- ・銀*²/鉛生産量*³は、Cannington 鉱山(クィーンズランド州)の修復工事完了と Escondida 鉱山(チリ)での銀生産が好調なことから、銀は対前期 68%増加、対前年同期 4%減少、鉛は対前期比 73%増加、対前年同期 8%減少となった。
- ・亜鉛生産量*³は、Antamina 鉱山(ペルー)の鉱石品位向上と生産量増加が影響して、対前期比 81%増加、対前年同期比 26%増加となった。
- ・ウラン生産量*⁵は、Olympic Dam 鉱山(南オーストラリア州)での品位変動と、メンテナンスなどが影響して、対前期比 7%増加、対前年同期比 3%減少となった。
- ・ニッケル生産量*⁴は、全てのプロジェクトで好調な生産量を維持、対前期比 5%減少、対前年同期比 14%増加となった。
- ・マンガン鉱石生産量は、対前期比 5%減少、対前年同期比 18%増加となった。マンガン合金生産量は、生産の最適化、設備能力の向上により、対前期比 3%増加、対前年同期比では 14%増加となった。

(非鉄金属のみ記載)

*1) 精鉱中の金属純分量と地金をあわせた生産量

*2) 精鉱中の金属純分量(Olympic Dam 鉱山・精錬所の精錬金、精錬銀を含む)

*3) 精鉱中の金属純分量

*4) ニッケル地金及びニッケルマット中の金属純分量(Nickel West)

*5) 精鉱中のウラン酸化物量

BHP Billiton 社ニュースリリース「BHP Billiton Production Report for the Quarter ended 31 March 2007」, 2007 年 4 月 24 日

(1) トピックス

- ・天然ガス、アルミナ、アルミニウム、銅、ニッケル、鉄鉱石、マンガン鉱石は旺盛な需要に応えて記録的な生産量を上げる。
- ・Spence 銅鉱山(チリ)の生産開始が記録的な銅生産に貢献。
- ・Zamzama(パキスタン、天然ガス等)及び Escondida(チリ、銅)は記録的な生産を上げた。
- ・石油と鉄鉱石生産は、西オーストラリア州においてサイクロンの影響を受けたため不調。

出典) BHP Billiton 社ニュースリリース「BHP Billiton Production Report for the Quarter ended 31 March 2007」, 2007 年 4 月 24 日

BHP Billiton 社ニュースリリース「BHP Billiton Quarterly Report on Exploration and Development Activities Quarter ended 31 March 2007」, 2007 年 4 月 24 日付

(2) 財務状況

(単位：百万 US\$)

	2005年6月末 (6か月)*1	2005年12月末 (6か月)	2006年6月末 (6か月)*2	2006年12月末 (6か月)
売上高	15,900	18,080	21,019	22,113
営業利益	3,056	4,364	6,086	6,168
探鉱費	332	350	416	312

*1) 2004年7月～2005年6月の12か月分から2004年7月～2004年12月の6か月分を差引いた数値

*2) 2005年7月～2006年6月の12か月分から2005年7月～2005年12月の6か月分を差引いた数値

出典) BHP Billiton社 2004年12月末半期財務報告、BHP Billiton社 2004/05年度年次報告書、
BHP Billiton社 2005年12月末半期財務報告、BHP Billiton社 2005/06年度年次報告書、
BHP Billiton社 2006年12月末半期財務報告

(3) 生産状況

1) 主要鉱産物の生産状況

鉱産物	2006年 第1四半期	2006年 第2四半期	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期
銅鉱石 (千 t) *1	217.3	207.2	158.7	194.7	202.3
銅地金 (千 t) *2	101.8	104.5	91.2	106.0	155.3
鉛鉱石 (t) *1	68,754	55,507	48,977	36,454	62,974
亜鉛鉱石 (t) *1	28,419	27,564	24,011	19,776	35,760
金 (ounce) *3	52,095	56,161	41,160	38,564	43,904
銀 (千 ounce) *3	11,655	9,593	7,349	6,566	11,025
ウラン (U ₃ O ₈ t)*4	913	865	793	822	883
ニッケル (千 t) *5	40.2	41.6	44.5	48.3	45.8
モリブデン鉱石 (t) *1	632	538	719	768	288
マンガン鉱石 (千 t)	1,226	1,389	1,509	1,529	1,452
マンガン合金 (千 t)	173	175	153	192	197
アルミナ (千 t)	1,075	1,072	1,078	1,153	1,085
アルミニウム (千 t)	340	344	337	338	331
鉄鉱石 (千 t) *6	22,499	26,115	25,003	25,454	23,026
原料炭 (千 t) *7	8,460	9,224	9,247	8,966	9,084
燃料炭 (千 t)	18,672	21,787	21,782	22,030	20,930
石油等 (百万 boe) *8	26.31	31.04	30.52	27.52	27.68

* 1) 精鉱中の金属純分量

* 2) カソード

* 3) 精鉱中の金属純分量 (Olympic Dam 鉱山・精錬所の精錬金、精錬銀を含む)

* 4) 精鉱中のウラン酸化物量

* 5) ニッケル地金及びニッケルマット中の金属純分 (Nickel West)

* 6) Wet t

* 7) 一部燃料炭を含む

* 8) boe : 石油換算バレル

出典) BHP Billiton社 ニュースリリース「BHP Billiton Production Report for the Quarter ended 31 March 2007」, 2007年4月24日付

2) 主要保有鉱山、製錬所の生産状況

鉱山名、製錬所名	2006年 第1四半期	2006年 第2四半期	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期
Escondida 鉱山 (銅 千t) *1	168.2	165.2	129.7	160.6	178.1
Antamina 鉱山 (銅 千t) *1	32.9	29.1	29.0	34.1	24.2
Tintaya 鉱山 (銅 千t) *1, *2	16.2	12.9	-	-	-
Escondida (銅カソード 千t)	15.4	11.7	17.5	32.7	38.2
Cerro Colorado (銅カソード 千t)	28.1	30.0	30.0	27.4	28.1
Spence (銅カソード 千t)	-	-	-	4	33.5
Tintaya (銅カソード 千t) *2	9.1	6.1	-	-	-
Pinto Valley (銅カソード 千t)	2.1	2.1	2.1	1.9	1.9
Olympic Dam 鉱山 (銅カソード 千t)	47.1	54.6	41.6	39.7	53.6
Cannington 鉱山 (鉛 t) *1	68,754	55,507	48,977	36,454	62,974
Cannington 鉱山 (亜鉛 t) *1	20,885	14,926	10,426	8,806	15,095
Antamina 鉱山 (亜鉛 t) *1	7,534	12,638	13,585	10,970	20,665
Escondida 鉱山 (金 oz) *1	17,877	23,567	17,049	22,365	21,243
Tintaya 鉱山 (金 oz) *1, *2	8,032	4,958	-	-	-
Olympic Dam 鉱山 (金 oz) *3	26,186	27,636	24,111	16,199	22,661
Escondida 鉱山 (銀 千oz) *1	714	925	724	880	920
Antamina 鉱山 (銀 千oz) *1	865	808	713	736	749
Tintaya 鉱山 (銀 千oz) *1, *2	138	119	-	-	-
Cannington 鉱山 (銀 千oz) *1	9,693	7,503	5,714	4,805	9,160
Olympic Dam 鉱山 (銀 千oz) *1, *4	245	238	198	145	196
Olympic Dam 鉱山 (U ₃ O ₈ t)*5	913	865	793	822	883
Antamina 鉱山 (Mo t) *1	632	538	719	768	288
CMSA (ニッケル 千t)	12.9	12.8	12.7	12.8	12.8
Yabulu 鉱山 (ニッケル 千t) *6	7.0	4.3	7.3	7.5	8.0
Nickel West (ニッケル 千t) *6	20.3	24.5	24.5	28.0	25.0
Mt. Newman JV (鉄鉱石 千t)	5,884	6,490	7,394	7,536	6,711
Gold worthy JV (鉄鉱石 千t)	1,371	1,808	806	84	142
Area C JV (鉄鉱石 千t)	3,332	5,401	4,821	5,334	4,853
Yandi JV (鉄鉱石 千t)	8,561	8,854	8,504	9,106	8,277
Jimblebar (鉄鉱石 千t)	1,549	1,607	1,490	1,449	1,177
Samarco (鉄鉱石 千t)	1,802	1,955	1,988	1,945	1,866
オーストラリア国内 (マンガン鉱石 千t)*7	694	716	865	866	820
オーストラリア国内 (マンガン合金 千t)*7	54	44	60	66	64
BMA (原料炭 千t)	5,972	6,474	6,657	6,106	6,478
BHP Mitsui Coal (原料炭 千t)*8	763	850	873	873	1,067
Illawarra (原料炭 千t)	1,725	1,900	1,717	1,987	1,539
オーストラリア国内 (燃料炭 千t)	1,897	2,636	2,766	2,790	2,731
Worsely (アルミナ 千t)	717	694	704	776	708

- * 1) 精鉱中の金属純分量
- * 2) Tintaya 鉱山は 2006 年 6 月 1 日に売却
- * 3) 精錬金
- * 4) 精錬銀
- * 5) 精鉱中のウラン酸化物量
- * 6) ニッケル地金及びニッケルマット中の金属純分量
- * 7) 100%ベース (BHP Billiton 社の権益は 60%)
- * 8) 100%ベース (BHP Billiton 社分の権益は 80%)

出典) BHP Billiton 社ニュースリリース「BHP Billiton Production Report for the Quarter ended 31 March 2007」, 2007 年 4 月 24 日付

(4) 開発(非鉄金属)

プロジェクト名 (権益、国)	鉱種	開発費*1 (百万 US\$)	生産開始	生産能力*2	進捗状況
Alumar 精錬所 (36%、ブラジル)	アルミナ	725	2009 年 第 2 四半期	アルミナ 200 万 t/年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予算とスケジュールを見直す。 ・ 詳細エンジニアリングの進捗率は 60%。 ・ 資機材調達の進捗率は 40%。 ・ 建設工事の進捗率は 10%。
Ravensthorpe (100%、WA 州)	ニッケル	2,200	2008 年 第 1 四半期	ニッケル精鉱 50,000t/年 (金属純分量)	<ul style="list-style-type: none"> ・ スケジュール、費用とも見直し計画通り進捗。 ・ 建設工事の進捗率は 90%、配管・電気系統 ・ 機材設置を重点的に実施。 ・ 予備試運転・試運転を随所で実施。 ・ 次期四半期には鉱石の最初供給予定。
Yabulu (100%、QLD 州)	ニッケル	556	2008 年 第 1 四半期	ニッケル地金 45,000t/年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工事は、機械関係は完了、Ravensthorpe からの鉱石供給に先駆けて試運転開始予定。
Rapid Growth 3 (RGP3) (85%、WA 州)	鉄鉱石	1,300	2007 年 第 4 四半期	鉄鉱石 20 百万 t/年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本プロジェクトは、Iron Ore Area C の開発とそれに伴う鉄道・港の能力拡大が目的。 ・ スケジュール、費用とも計画通り進捗。 ・ エンジニアリングと調達は概ねで完了。 ・ 建設の進捗率は 53%。
Rapid Growth 4 (RGP4) (86.2%、WA 州)	鉄鉱石	1,850	2010 年 上半期	鉄鉱石 26 百万 t/年	<ul style="list-style-type: none"> ・ プロジェクトは 2007 年 3 月 23 日に承認、ただちに着工
Samarco 第 3 ペレット・プラント (50%、ブラジル)	鉄鉱石	590	2008 年 第 1 四半期	鉄鉱石 7.6 百万 t/年	<ul style="list-style-type: none"> ・ スケジュール、費用とも計画通り進捗。 ・ パイプライン敷設 70%完了、全体の進捗率は 61%。

*1) 権益相当分

*2) 100%ベース

出典) BHP Billiton 社ニュースリリース「BHP Billiton Quarterly Report on Exploration and Development Activities Quarter ended 31 March 2007」, 2007 年 4 月 24 日付

(5) 探査

- ・ 直轄及びジュニア探査企業との提携により、探査を実施。2007 年 3 月末四半期の BHP Billiton 社の探鉱支出額(石油は除く)は 55 百万 US\$であった。

- ・ 主な対象鉱種・対象国

銅 : オーストラリア、チリ、モンゴル、コンゴ共和国、米国

ニッケル : オーストラリア、ロシア、アフリカ

鉄鉱石・石炭・ボーキサイト等 : オーストラリア、ブラジル、カナダ、西アフリカ

ダイヤモンド初期探鉱 : アンゴラ、カナダ、コンゴ共和国

出典) BHP Billiton 社ニュースリリース「BHP Billiton Quarterly Report on Exploration and Development Activities Quarter ended 31 March 2007」, 2007 年 4 月 24 日

(6) その他

- ・ 特になし

3. Grupo Mexico

- ・ 2007年第1四半期の売上高、純益は各々前年同期比 18.6%増の 15.75 億 US\$、32.3%増の 4.38 億 US\$を達成、2006年第4四半期ほどの勢いはないものの、好調な業績が続いている。

(1) トピックス

- ・ 2007年第1四半期の売上高は 1,575,440 千 US\$(前年同期比 18.6%増)、純益は 437,879 千 US\$(同 32.3%増)と引き続き好調。
- ・ 2007年第1四半期の総投資額は、前年比 18%減の 127.6 百万 US\$。主な投資先は、ペルーの銅製錬所の近代化(今期で完了)、各鉱山・選鉱場・鉄道部門の近代化。
- ・ 2月2日、子会社の AMC 社(Americas Mining Corp.)が、米・テキサス州 Corpus Christi 破産裁判所の管理下にあるアサルコ社管財人から、アサルコ社が保有していた SPCC(Southern Peru Copper Corp. : 現 SCC)社権益(全権益の 54.2%)を詐欺的手段によって買収したとして、同破産裁判所に告訴された。AMC 社は、買収は当時の市場価格に基づいており、米連邦裁判所の承認を得たものであると反論している。

(2) 財務状況

(単位：百万 US\$)

	2006年 第1四半期	2006年 第2四半期	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期
売上高	1,328.6	1,514.7	1,647.6	1,883.2	1,575.4
営業利益	675.0	722.4	862.4	1,021.9	829.2
当期損益	331.0	353.0	392.7	447.3	437.9
負債総額	1,705.4	2,092.8	2,097.0	2,175.7	2,161.6
現預金	1,349.5	1,530.9	1,742.1	2,228.3	2,257.3
純負債	356.9	561.8	354.9	-52.6	-95.7
全投資(含探鉱)	154.9	130.3	169.8	318.3	127.6

(3) 生産状況(主要鉱産物)

	2006年 第1四半期	2006年 第2四半期	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期
銅 (千t)	160.6	124.3	141.3	179.6	171.6
銀 (千kg)	129.4	109.9	124.1	139.7	140.1
金 (kg)	241	169	185	265	235
モリブデン (千t)	3.47	2.33	2.3	3.74	3.68
亜鉛 (千t)	34.6	31.8	36.8	33.4	32.4
鉛 (千t)	4.6	4.5	4.9	5.0	4.5

(4) その他

- ・ GM 社の製錬所は、MM 社 3、SCC 社 2 の計 5 か所。
- ・ 鉄道部門子会社 ITM 社の純益は、前期 39.5 百万 US\$、当期 27.0 百万 US\$と安定収益を確保。

(参考)GM 社の組織()内は GM 社権益比率)

鉱業部門 AMC 社(100%) - SCC 社(75.1%) - MM 社(0.85%)

└ ASARCO 社(100%)

【米破産法申請中(2007年3月31日現在)】

鉄道部門 ITM 社(75%) - GFM 社(100%) - FERROMEX 社(74%)

└ FERROSUR(100%)

(注) SCC(Southern Copper Co.)社は、SPCC(Southern Peru Copper Co.)から社名変更(2005/10/11)。ペルー、メキシコ、チリで活動中。MM(Minera Mexico S.A. de C.V.)社の権益の99.15%を保有。

4. Rio Tinto plc

(四半期別の財務状況報告がないため、財務状況報告は2006年下期報告を掲載)

- ・2006年第1四半期の銅鉱石生産量は、Kennecott Utah 鉱山の鉱石の低品位化、及び回収率低下などにより、197.9千tと、前年同期比3%の減産。

(1) トピックス

- ・第1四半期における銅鉱石生産量は、Kennecott Utah 鉱山の鉱石の低品位化、及び回収率低下などにより、197.9千tと、前年同期比3%の減産。
- ・銅地金生産量は、第1四半期101.6千tと前年同期比19%の増産であったが、これは主に前年後半に稼動を開始した Escondida リーチング・プラントの増産によるものである。なお、Kennecott Utah 製錬所の銅地金生産量は、前年第4四半期におけるメンテナンスのための一時休止後は、目標水準に達している。

(2) 財務状況

(単位：百万US\$)

	2005年 上半期	2005年 下半期	2006年 上半期	2006年 下半期
売上高	9,439	11,303	12,111	13,329
営業利益	3,221	4,477	4,964	5,388
当期損益	2,165	3,050	3,796	3,642

(単位：百万US\$)

	2006年 第1四半期	2006年 第2四半期	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期
探鉱費	57	56	62	108	72

(3) 生産状況

1) 主要鉱産物の生産状況

(単位：千t、金属純分)

鉱産物	2006年 第1四半期	2006年 第2四半期	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期
銅鉱石	203.4	207.4	182.8	209.8	197.9
銅地金	85.6	83.9	75.6	54.0	101.6
モリブデン鉱石	4.4	3.5	4.7	4.2	4.7

※権益比率分のみ

2) 主要保有鉱山、製錬所の生産状況

(単位：千t、金属純分)

鉱山名、製錬所名	2006年 第1四半期	2006年 第2四半期	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期
Bingham Canyon(銅鉱石)	61.6	68.7	68.9	66.4	54.1
Escondida(銅鉱石)	107.2	105.9	81.1	99.8	111.5
Grasberg(銅鉱石)	11.9	10.2	8.3	15.8	5.6
Northparks(銅鉱石)	15.5	16.5	16.8	17.8	13.7
Palabora(銅鉱石)	7.2	6.1	7.8	10.0	13.0
Kennecott Utah Copper(銅地金)	70.9	67.7	55.1	24.2	69.7
Escondida(銅地金)	8.0	6.1	9.1	17.1	19.9
Palabora(銅地金)	6.7	10.2	11.4	12.7	12.0

※権益比率分のみ

5. Freeport-McMoRan Copper & Gold Inc (FCX)

- ・ FCX は 3 月 19 日、Phelps Dodge Corporation (PDC) 社の買収を完了し、BHP Billiton を抜いて世界第 2 位の産銅会社になった。2007 年第 1 四半期の純利益は、前年同期比 89%増の 4 億 7,620 万 US\$を計上した。
- なお、FCX 社の第 1 四半期決算は 3 月 20 日以降の PD 社の売り上げ 12 日分を計上している。

(1) トピックス

- ・ FCX は 3 月 19 日、Phelps Dodge Corporation (PDC) 社の買収を完了、BHP Billiton を抜いて世界第 2 位の産銅会社になった。両社は統合効果としてスケールメリットのほかとりわけ経営資源の地理的な分散を強調している。FCX はインドネシアに世界最大規模の Grasberg 銅金鉱床を有しているが他に鉱山を有しておらず、南北アメリカとアフリカに主要銅山・プロジェクトを有する PDC は良い補完関係にあるとして買収を行った。統合後(3 月 20 日以降)の決算は次のとおり。
- ・ 2007 年第 1 四半期の生産量は、銅が 10 億 2,560 万 lb(46 万 5,200t)、金が 97 万 8,100oz、モリブデンが 1,860 万 lb(8,400t)となった。2007 年の販売目標は、銅が 39 億 lb(176 万 9,000t)、金 190 万 oz、モリブデンが 7,000 万 lb(3 万 1,800t)となっている。
- ・ FCX は PDC の買収により、インドネシアの Grasberg (90.6%)に加えて、北米の Morenci (85%)、Bagdad (100%)、Sierrita (100%)、Chino (100%)、Tyrone (100%)、Miami (100%)、Tohono (100%)、Henderson (100%)、南米の Candelaria/Ojos del Salado (80%)、Cerro Verde (53.6%)、El Abra (51%) 鉱山が傘下に加わった。
- ・ 2007 年第 1 四半期の純利益は、前年同期比 89%増の 4 億 7,620 万 US\$を計上した。(前年同期は 2 億 5,170 万 US\$) 当期の資本支出 (Capital Expenditure) は 1 億 4,200 万 US\$、2007 年の通年では 16 億 US\$を計画している。
- ・ FCX は 3 月 31 日、額面 61.25\$の普通株式 4,715 万株および 6.75%利付きの転換社債 2,875 万株を発行して総額 57 億 6,000 万 US\$の資金調達を完了した。
- ・ FCX の借入金(3 月 31 日現在)は 120 億 US\$で、保有現金は 31 億 US\$となっている。地金価格が銅 3.00US\$/lb、金 650US\$/oz、モリブデン 20US\$/lb で年末まで推移すると、年末時点の借入金は 90 億 US\$まで圧縮され、保有現金は 20 億 US\$となっている。
- ・ FCX は 3 月 19 日現在の資産評価に基づき、PDC の買収資金として 259 億 US\$を割り当てていたが、その後の試算により、鉱区、プラント、重機、開発コスト、金属在庫の増加があったため、1 億 2,420 万 US\$を追加した。
- ・ FCX は、現在、各鉱山における銅生産能力の増強、鉱山ライフの延長、大規模坑内掘り採掘の強化に向け次の投資を行っている。
 - ① Safford (Arizona) : 二つの露天掘り鉱山からなり 2006 年 8 月から開発に着手。生産開始は 2008 年はじめを予定。鉱山開発計画によれば、銅の年間生産量は 2 億 4,000 万 lb(10 万 8,900t)で、鉱山ライフは 18 年が見込まれている。投資総額は 5 億 8,000 万 US\$。Lone Star プロジェクトの探鉱に傾注している。

- ②Morenci：精鉱リーチ電解採取プラントの建設工事を実施しており、2007年第3四半期に完了の見込み。
- ③Cerro Verde：9億US\$を投じた選鉱場の拡張工事を終了し、2006年第4四半期から運転を開始している。年間4億3,000万lb(19万5,000t)の銅生産を予定し2007年第2四半期までに設計処理能力による運転を実現する予定。
- ④El Abra：2006年に硫化鉱床の開発に関する実現性調査(F/S)を完了し、2010年からの銅生産の開始を目視している。投資総額は3億5,000万US\$。2007年3月、チリ政府に対し環境影響評価報告書を提出している。同プロジェクトの実施により鉱山ライフが7年間延長される。
- ⑤Grasberg：Deep Ore Zone(DOZ)の鉱石生産は、2007年半ばまでに二号碎鉱機を導入し、坑内ベンチレーションを改善し、粗鉱処理能力を5万t/日に強化する方針。DOZの同処理能力は最終的には日産8万tに増強し、世界最大の坑内掘り銅山の実現を目視す。高品位鉱床Big Gossanは2010年からの生産開始を目視し坑内掘り開発が進められている。埋蔵鉱量は5,300万t、銅品位2.3%、金品位1.1g/tで、生産可能な銅量は25億lb(約113万4,000t)、金量は120万ozと期待されている。4年間で2億6,000万US\$の設備投資を行う(PT-FIの負担は1億7,500万US\$)。Big Gossanは2010年からの粗鉱処理量7,000t/日、銅1億3,500万lb(6万1,200t)/年、金6万5,000oz/年を生産する計画である。そのうち6割がPT-FIの持分となる。
- ⑥Tenke Fungurume 銅コバルト鉱開発(コンゴ)：FCXはオペレーターシップを持ち権益57.75%を保有する。実現性調査(F/S)は、2006年第4四半期に完了し、埋蔵量1億300万t、銅品位2.1%、コバルト品位0.3%が見込まれている。生産開始は2009年はじめを予定。鉱山開発計画によれば、当初の10年間は高品位部(銅品位4.6%、コバルト品位0.4%)を対象に、銅、コバルトを年産、2億500lb(11万3,400t)、1,800万lb(8,200t)体制で操業する。投資総額は6億5,000万US\$で70%がFCX負担となっている。
- FCXの2007年の探鉱費は1億2,500万US\$を見込む。FCXは、Phelps Dodge社が実施していた探鉱プロジェクトを見直し・評価を実施中である。当期の主な探鉱活動は次のとおり。
 - ①北米：Morenci 鉱山に隣接するLone Star 鉱床 Safford 地区のボーリング調査。
 - ②アフリカ：Tenke Fungurume 鉱床周辺の探鉱とKisanfuプロジェクトのプレFS調査。
 - ③インドネシア：Deep Grasberg、Kucing Liar、Wanagon、Deep Mill Level Zone 他で継続実施。FCXは当期、探鉱を一時中止していたBlock Aの外側のKamopa探鉱区およびEastern Minerals 鉱業事業事契約(COW)のUlar Merah銅金鉱床区の探鉱を再開した。

(2) 財務状況

(単位：千US\$)

	2006年 第1四半期	2006年 第2四半期	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期
売上高	1,086,122	1,426,202	1,636,049	1,642,127	2,302,900
営業利益	531,750	739,327	735,434	862,236	1,179,100
純利益	251,650	367,255	350,662	426,442	476,200
探鉱費	2,576	2,778	3,341	3,560	6,500

(3) 生産状況

1) 主要鉱産物の生産状況(鉱山生産分)

鉱山		2006年第1四半期			2007年第1四半期		
		粗鉱量 (t/日)	生産量 (百万lb)	品位(%)	粗鉱量 (t/日)	生産量 (百万lb)	品位(%)
Cu	フリーポート・インドネシア	216,800.0	221.3	1.72	228,500.0	467.6	1.21
	北米						
	選鉱	190,500.0	98.0	0.33	209,000.0	94.0	0.31
	SX-EW	857,000.0	219.3	0.30	677,300.0	201.4	0.29
	南米						
	選鉱	61,100.0	117.1	1.06	141,300.0	158.4	0.66
	SX-EW	250,700.0	171.2	0.45	276,000.0	148.8	0.39
	中計(硫化鉱)	468,400.0	436.4	—	578,800.0	720.0	—
	中計(SX-EW)	1,107,700.0	390.5	—	953,300.0	350.2	—
合計	1,576,100.0	826.9	—	1,532,100.0	1,070.2	—	
Au	フリーポート・インドネシア	216,800.0	461.8	0.92	228,500.0	1,074.7	2.01
Mo	北米						
	Henderson 鉱山	23,200.0	9.4	0.23	24,500.0	9.4	0.22
	副産物	190,500.0	7.8	0.03	20,900.0	7.1	0.02
	合計	213,700.0	17.2	—	45,400.0	16.5	—

注) Au品位は g/t

2) 主要鉱産物の生産・販売状況(2007年第1四半期)

	銅			金			モリブデン		
	生産量 (百万lb)	販売量 (百万lb)	販売 実現 価格 US\$/lb	生産量 (千oz)	販売量 (千oz)	販売 実現 価格 US\$/oz	生産量 (百万lb)	販売量 (百万lb)	販売 実現 価格 US\$/lb
フリーポート インドネシア	467.6	417.1	3.09	1,074.7	946.5	654.79	—	—	—
北米	301.2	306.7	2.82	3.4	6.1	—	16.5	18.6	23
南米	307.2	301.8	2.73	24.5	25.5	—	—	—	—
合計	1,076.0	1,025.6	—	1,102.6	978.1	—	16.5	18.6	—

3) 部門別貢献状況

(単位：千US\$)

	フリーポート インドネシア	北米	南米	探鉱開発	アトランティックカッパー スメルティング	その他	合計
売上高	1,708.5	343.5	261.7	-146.5	454	-318.3	2,302.9
探鉱費		1		5.3		0.2	6.5
営業利益	1,283	-24.1	117.5	-5.1	12.4	-204.6	1,179.1
資本支出	74	52.7	2.3	4.9	7.9	0.6	142.4

6. KGHM Polska Miedź S.A. (KGHM)

- 銅及び銀の生産量が減少となったものの、2007年第1四半期の売上高は、市場価格の上昇等により前年同期比7%増の2,643百万 PLN。当期利益も前年同期比10%増の914百万 PLN。

(1) トピックス

- 2007年第1四半期の生産量は、電気銅が128,592t(外部からの調達原料17,064tを含む)、銀が322,256kgであった。
- 売上高は、銅販売量が129,049tと減少(前年同期144,756t)し、対US\$平均レート2.97 PLN/US\$(前期3.19PLN/US\$)とPLN高となったものの、銅の平均LME価格が5,941US\$/t(前年同期4,944 US\$/t)、銀の平均LBM価格が13.29US\$/oz(前年同期9.71US\$/oz)と高価格となったため、前年同期比7%増となった。
- 操業コスト(Operating Costs)は、1,644百万 PLNで、前年同期比9%増(135百万 PLN増)。主に人件費コストの増加(72百万 PLN増)と、銅の外部からの調達原料の費用が増加(25百万 PLN増)したことによるものである。

(2) 財務状況

(単位：千 PLN)

	2006年 第1四半期	2006年 第2四半期	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期
売上高 Sales	2,460,112	3,141,945	3,339,176	2,767,657	2,643,492
営業利益 Operating Profit	1,029,081	1,206,217	1,256,802	810,145	1,100,876
当期損益 Net Profit	829,777	1,124,275	824,919	565,185	914,265
探鉱費	—	—	—	—	—

注) 2007年から、従来のポーランド会計基準からEU会計基準(IFRS)に変更となったため、2006年第1四半期及び2007年第1四半期はIFRSにより、その他の四半期はポーランド基準による。

(3) 生産状況

1) 主要鉱産物の生産状況

(単位：t、金属純分)

鉱産物	2006年 第1四半期	2006年 第2四半期	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期
銅地金 (t)	136,345	135,873	140,495	143,911	128,592
銀 (kg)	329,634	309,713	285,759	316,624	322,256

注) 最新四半期報告書において、2006年第4四半期以前のデータが改定された場合は、改定後のデータによる。

※ (参考) 為替レート：1US\$=2.97PLN(KGHM社の2007年第1四半期平均レートによる)

7. Antofagasta plc

- ・ 2007年第1四半期のグループの銅生産量は銅品位の低下と鉱石処理量の減少のため、前年同期比1.0%減の105,900tとなった。
- ・ グループのキャッシュコストは、モリブデンクレジットの効果により、2006年の40.2¢/lbから4.4¢/lb減少し35.8¢/lbとなった。

(1) トピックス

- ・ Los Pelambres 鉱山の2007年第1四半期の銅生産量は銅品位の低下と鉱石処理量の減少により、前年同期比4.6%減の70,700tとなった。
- ・ Los Pelambres 鉱山の2007年第1四半期のモリブデン生産量は前年同期比5.0%増の2.1千tとなった。
- ・ Los Pelambres 鉱山のキャッシュコストは、輸送コストの低減とモリブデンクレジット効果により、2006年の16.4¢/lbから低下し、4.2¢/lbとなった。
- ・ El Tesoro 鉱山の2007年第1四半期の銅生産量は前年同期比13.5%増の23,600t、Michilla 鉱山の銅生産量は前年比4.1%減の11,600tとなった。

(2) 財務状況

(単位：百万US\$)

	2005年 上期	2005年 下期	2006年 上期	2006年 下期
売上高 (Revenues)	1,123.6	1,321.7	1,846.9	2,023.1
税引前利益 (Profit before tax)	739.5	767.8	1,325.3	1,533.7
当期損益 (Profit)	607.5	620.7	1,070.3	1,123.8

(3) 生産状況

1) 主要鉱産物の生産状況

(単位：千t)

鉱産物	2006年 第1四半期	2006年 第2四半期	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期
銅鉱石	107.0	100.9	126.4	131.2	105.9
モリブデン鉱石	2.0	2.1	2.9	2.8	2.1
キャッシュコスト(¢/lb)	49.7	43.9	31.4	38.0	35.8

2) 主要保有鉱山生産状況

(単位：千t)

鉱山名	2006年 第1四半期	2006年 第2四半期	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期
Los Pelambres (60%)	74.1	67.5	88.8	93.8	70.7
El Tesoro (61%)	20.8	21.8	25.9	25.6	23.6
Michilla (74.2%)	12.1	11.6	11.7	11.9	11.6

注1) 生産量は銅金属純分

注2) 各鉱山の銅生産量全量を記載

8. Anglo American plc (四半期レポートを発行していないため、2006 年後期報告までを掲載)

- ・ ベースメタル部門の営業利益は、銅・ニッケル・亜鉛の増産、価格高騰を背景として、2006 年通年ベースで前年比 131%増の 3,876 百万 \$ (上期 1,854 百万 \$)。銅、亜鉛生産量は前年比でそれぞれ 1.5%、3.2%の増加、ニッケルはほぼ同量。

(1) トピックス

- ・ 2006 年下半年は、売上高が前年同期比 14.3%増、営業利益が 54.9%増、当期利益が 92.7%増。
- ・ グループの収益拡大とコア部門への集中化を図るべく、上期の Anglo Gold Ashanti の 9.1%株式の売却、Highveld Steel の 49.8%株式の売却に加え、下期では、11 月に Kumba Resources 社の BEE 資本化を含む事業再編が完了した。この結果、Kumba Resources 社の事業資産は、主に鉄鉱石事業が Kumba Iron Ore 社に、石炭他事業が Exxaro 社 (BEE 企業) に分割承継され、Anglo American 社は Kumba Iron Ore 社の 64.9%の権益を持つこととなった。また、12 月には Tongaat-Hullett グループの BEE 化を含む事業再編も発表され、2007 年に Anglo American 社の所有する同社の権益は 40%以下に縮小される予定である。
- ・ Collahuasi 銅鉱山(チリ)は、鉱石処理能率上昇により、通年ベースで生産量 3%増の 440 千 t。
- ・ Mantos Blancos 銅鉱山(チリ)の銅生産量は、高品位鉱、回収率上昇で、通年ベース 5%増の 91.7 千 t。
- ・ Los Bronces 銅鉱山(チリ)は、上期において予期せぬ鉱石の硬さとオープンピットへの浸水の影響で生産が減少したこと等が影響し、銅生産量は通年ベースで僅かながら 0.5%減の 226 千 t。
- ・ 投資額 80 百万 US\$の El Soldado 銅鉱山(チリ)の延命プロジェクトは予定通り完了、Los Bronces 銅鉱山(チリ)の FS 拡張計画等は現在進行中(2007 年半ば完了予定)。
- ・ Barro Alto ニッケル・プロジェクト(ブラジル)の開発が、12 月に決定。
- ・ Skorpion 亜鉛鉱山(ナミビア)の亜鉛生産量は、8 月に発生した鉱石処理プラント内での火災事故が影響し、通年ベースで 2%減少し、129.9 千 t となった。
- ・ Lisheen 鉛亜鉛鉱山(アイルランド)は回収率向上等により、通年ベースで、亜鉛が 7%増の 170.7 千 t、鉛が 11%増の 23.1 千 t であった。

(2) 財務状況

(単位：百万 US\$)

	2005年 上半期	2005年 下半期	2006年 上半期	2006年 下半期
売上高	17,145	17,327	18,825	19,812
営業利益	2,975	3,401	4,563	5,269
当期損益	1,838	1,683	2,943	3,243
探鉱費	67	83	66	66
金	22	23	16	0
ベースメタル	20	30	19	34
白金族	9	12	15	15

(3) 主要鉱産物の生産状況

(金属純分)

鉱産物	2005年 上半期	2005年 下半期	2006年 上半期	2006年 下半期
銅鉱石 (t)	315,600	319,000	300,000	343,800
ニッケル鉱石 (t)	12,600	13,900	13,700	12,700
亜鉛鉱石 (t)	153,800	170,400	169,800	164,900
鉛鉱石 (t)	29,800	33,200	33,200	38,200
金 (oz)	3,138,000	3,028,000	2,115,000	1,202,200
白金 (oz)	1,291,400	1,210,600	1,368,800	1,495,100
パラジウム (oz)	731,700	645,000	743,400	819,600
ロジウム (oz)	175,700	157,800	150,000	181,700

注) 金生産量は AngloGold Ashanti 社分を計上(2006年4月20日までは100%、それ以降は権益分を計上)

(4) その他

- ・ 2006年通年での収益比率は、ベースメタル部門が39%、鉄鉱石・合金鉄部門が14%、ダイヤモンド部門が5%、石炭部門が9%、白金族部門が24%、など。

9. Barrick Gold Corporation (2006年第1四半期まではPlacer Domeのデータ)

- 金の販売契約方法を見直したことから、2007年第1四半期の純利益は、159百万US\$の赤字となった。金の生産量は対前年同期3.5%増の2百万ozとなった。

(1) トピックス

- 今までの全ての金販売契約を排除するため557百万US\$を要したことから第1四半期の当期損失は▲159百万US\$となった。なお、5月1日から同社が生産する全ての金はスポット価格で販売。
- Barrick社は、Emperor社が保有するPNGのPorgera鉱山の権益を250百万US\$で20%追加取得し、全体の権益比率は75%から95%に上昇。権利行使は4月1日から有効となる。
- 金の生産量は前年同期の1.96百万ozから3.5%増の2.03百万ozに、銅の生産量はチリZaldivar鉱山が8割を占めており、全体では4.5万tとなった。

(2) 財務状況

(単位:百万US\$)

	2006年 第1四半期	2006年 第2四半期	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期
売上高	491	1,556	1,632	1,348	1,089
営業利益	104	715	717	629	132
当期損益	31	459	405	418	▲159
探鉱費	18	44	50	59	30

注1) 2006年第1四半期まではPlacer Dome社の財務状況。2006年第2四半期以降は新Barrick社の財務状況。

注2) 営業利益は売上高からコスト(営業費、一般管理費、R&D、探鉱費等は含まず)、原価償却費を差引した値。

(3) 生産状況

1) 主要鉱産物の生産状況

(金属純分)

鉱産物	2006年 第1四半期	2006年 第2四半期	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期
金 (千oz)	n. a.	2,085	2,162	2,440	2,029
銅 (千t)	n. a.	45	43	45	45

注) 2006年第1四半期まではPlacer Dome社の生産状況。2006年第2四半期以降は新Barrick社の生産状況。

2) 主要保有鉱山の生産状況

(金属純分)

鉱山名	2006年 第1四半期	2006年 第2四半期	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期
*Porgera 鉱山 (Au ; 千oz)	n. a.	103	106	106	75
*Cortez 鉱山 (Au ; 千oz)	n. a.	41	81	92	68
Lagunas Norte 鉱山 (Au ; 千oz)	211	257	325	291	287
*Zaldivar 鉱山 (Cu ; 千t)	n. a.	37	36	39	36

注) *印は旧PlacerDome社鉱山。Lagunas Norte 鉱山は元々Barrick社所有鉱山。

10. Newmont Mining Corporation

- ・ 2007年第1四半期の売上高は、11%増の1,256百万US\$、一方、純利益は、209百万US\$から対前年同期▲67%の68百万US\$となった。金の販売量は、対前年比▲4%の1,342千ozとなった。

(1) トピックス

- ・ Nevada 鉱山では、金販売は15%増となったが、2006年10月から商業生産を開始した Phoenix と Leaville での選鉱成績が大幅減、開山時のコスト増により、当初計画を下回った。また、ほとんどの露天掘り鉱山で剥土量が増大しており、全体としてコスト増により減益となった。
- ・ Yanacocha の金生産量は半減したが、新たな金の選鉱場の建設が進んでおり、2008年央には商業化が期待される。
- ・ Batu Hijau 鉱山では銅の生産コストが0.81US\$/lbから74%増の1.41US\$/lbへ、Yanacocha 鉱山では金の生産コストが161US\$/ozから94%増の313US\$/ozとなった。

(2) 財務状況

(単位：百万US\$)

	2006年 第1四半期	2006年 第2四半期	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期
売上高	1,132	1,310	1,102	1,460	1,256
営業利益	573	522	358	532	452
純利益	209	161	198	223	68
探鉱費	33	46	41	50	40

注) 営業利益は売上高からコスト(営業費、一般管理費、R&D、探鉱費等は含まず)、原価償却費を差引した値。

(3) 生産状況

1) 主要鉱産物の生産状況

(金属純分)

鉱産物	2006年 第1四半期	2006年 第2四半期	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期
金 (千oz)	1,392	1,384	1,196	1,716	1,342
銅 (千t)	19	28	24	36	23

注) 権益分のみ計上。金については、販売量を計上。

2) 主要保有鉱山の生産状況

(金属純分)

鉱山名	2006年 第1四半期	2006年 第2四半期	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期
Nevada (権益100% Au:千oz)	492	495	557	570	562
Yanacocha (権益51.35% Au:千oz)	411	403	311	234	215
Batu Hijau (権益45% Cu:千t)	19	28	24	36	23

注) 権益分のみ計上

11. Teck Cominco Limited

- ・ 2007年第1四半期の販売額は若干上回ったものの、純利益は、金属価格の下落、品位低下等の要因により、昨年同期の448百万C\$を大幅に下回り、360百万C\$となった。

(1) トピックス

- ・ 第1四半期の販売額は、対前年同期の12億7千万C\$から13億4千万C\$へと5.3%増加。
- ・ 銅、亜鉛価格の下落、ペルーAntamina 鉱山での銅品位低下による生産減少、2004年のペルーCajamarquillaの売却に関連した30百万C\$の損失の償却、同社が40%の権益を持つElk Valley 石炭鉱山からの石炭出荷が、雪崩により20%程度減少したため、当期利益は448百万C\$から360百万C\$に減少。
- ・ 2月、Highland Valley 銅鉱山のマインライフを2013年から2019年まで6年間延長することを発表。
- ・ Xstrata社とのジョイントベンチャー事業である西オーストラリア州のLennard Shelf 亜鉛鉱山での生産を第1四半期に開始し、第2四半期には商業ベースでの生産、出荷を行う。
- ・ 4月、UTS Energy社が所有するリース14というオイルサンド権益を50%取得することに合意。

(2) 財務状況

(単位:百万C\$)

	2006年 第1四半期	2006年 第2四半期	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期
売上高	1,273	1,546	1,632	2,088	1,340
営業利益	624	894	876	1,167	620
当期損益	448	613	504	866	360
探鉱費	8	14	22	28	20

注) 営業利益は売上高からコスト(営業費、一般管理費、R&D、探鉱費等は含まず)、原価償却費を差引した値。

(3) 生産状況

1) 主要鉱産物の生産状況

(石炭以外は金属純分)

鉱産物	2006年 第1四半期	2006年 第2四半期	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期
銅鉱石 (千t)	59	62	63	70	53
亜鉛鉱石 (千t)	150	154	174	148	167
亜鉛地金 (千t)	74	73	72	77	75
鉛地金 (千t)	24	21	23	22	22
モリブデン (千lb)	2,111	1,808	2,034	1,976	1,322
石炭 (千t)	2,294	2,190	2,006	2,167	2,046

注) 権益分のみ計上

2) 主要保有鉱山の生産状況

(石炭以外は金属純分)

鉱山名	2006年 第1四半期	2006年 第2四半期	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期
Red Dog 鉱山 (権益 100%, Zn ; 千 t)	135	133	155	134	145
" (権益 100%, Pb ; 千 t)	30	28	33	33	33
Highland Valley 鉱山 (権益 97.5%, Cu ; 千 t)	36	42	43	46	36
" (権益 97.5%, Mo ; 千 lb)	1,182	1,017	977	847	898
Elk Valley 石炭鉱山 (権益 40%, 千 t)	2,294	2,190	2,006	2,167	2,046

注) 権益分のみ計上

12. Peñoles

- ・ 2007 年第 1 四半期の売上高は 1,025.8 百万 US\$ (前年同期比 51.5%増) となり、創業以来の記録を更新。
- ・ 同四半期の銀地金の生産量も 26,893 千 oz (836.5t) に達し、創業以来の記録を更新。

(1) トピックス

- ・ 2007 年第 1 四半期の売上高は 1,025.8 百万 US\$、純益は 90.4 百万 US\$ と高水準を維持。
- ・ カナダの Mag Silver 社との共同探鉱により、Juanicipio プロジェクトで銀の資源量 50 百万 oz 以上を確認。

(2) 財務状況

(単位：百万 US\$)

	2006 年 第 1 四半期	2006 年 第 2 四半期	2006 年 第 3 四半期	2006 年 第 4 四半期	2007 年 第 1 四半期
売上高	677.5	912.8	859.3	903.7	1,025.8
営業利益	114.7	170.2	144.1	142.9	167.3
当期損益	107.8	86.3	94.1	86.9	90.4

(注) Peñoles 社クォーターリーレポートには「営業利益」と「当期損益」のドル建ての記載がない。上表では同レポート記載のペソ建ての金額と四半期毎の平均レートをを用い US\$ に換算した (平均レートは、2006 年第 1 四半期 10.5839 ペソ/US\$、第 2 四半期 11.1626 ペソ/US\$、第 3 四半期 10.9637 ペソ/US\$、第 4 四半期 10.8874 ペソ/US\$、2007 年第 1 四半期 11.0121 ペソ/US\$ である)。

(3) 生産状況 (主要鉱産物)

1) 主要鉱産物の生産状況

(金属純分)

	2006 年 第 1 四半期	2006 年 第 2 四半期	2006 年 第 3 四半期	2006 年 第 4 四半期	2007 年 第 1 四半期
金鉱石 (kg)	2,950	2,976	3,084	2,822	3,213
金地金 (kg)	10,880	13,311	12,877	11,668	12,921
銀鉱石 (t)	375.0	394.0	365.4	324.9	343.2
銀地金 (t)	755.8	790.4	764.3	778.5	836.5
鉛鉱石 (t)	16,550	16,706	15,120	13,665	12,764
鉛地金 (t)	36,640	36,915	34,521	31,487	34,105
亜鉛鉱石 (t)	53,163	54,123	47,730	50,688	49,657
亜鉛地金 (t)	53,349	61,534	64,246	56,515	53,428
銅鉱石 (t)	3,233	2,890	4,379	3,205	3,368
銅地金 (t)	2,545	2,208	2,010	2,427	1,962
ビスマス (t)	246	324	304	312	312

(4) 輸出状況 (主要鉱産物)

	2006 年 第 1 四半期	2006 年 第 2 四半期	2006 年 第 3 四半期	2006 年 第 4 四半期	2007 年 第 1 四半期
銀地金 (t)	665.8	704.5	697.1	684.6	746.1
鉛地金 (t)	162	5,743	1,052	1,374	4,799
亜鉛地金 (t)	24,467	33,833	37,513	39,131	33,346
銅地金 (t)	496	2,230	1,541	1,606	1,176
ビスマス (t)	181	344	221	322	311

(5) その他

ペニョーレス社の主要鉱山は、フレズニージョ(金・銀・鉛・亜鉛)、ラ・エラドゥーラ(金・銀)、ラ・シエネガ(金・銀・鉛・亜鉛)、フランシスコ・I・マデーロ(亜鉛・鉛)、チサパ(金・銀・鉛・亜鉛・銅)、ビスマルク(亜鉛)、ナイカ(銀・鉛・亜鉛・銅)、サビナス(銀・鉛・亜鉛・銅)、ミルピージャス(銅：2006年生産開始)である。

13. Aneka Tambang (Antam)

- ・ 2007 年第 1 四半期の売上高は、前年同期比 4.23 倍の 2 兆 3,858 億 1,900 万 IDR を計上。増収増益の主因は、金、銀、フェロニッケル、ニッケル鉱石の販売実現価格の上昇と、FeNi III 製錬工場が 1 月から商業生産に移行しこれが貢献した。1 月、Halmahera 島のニッケル鉱開発で、BHP Billiton との製錬事業分野の事業提携を発表。3 月、West Kalimantan 州の Tayan プロジェクト(ケミカル用途のアルミナ工場建設)の実現性調査(F/S)に関し、昭和電工、丸紅他 1 社と PT Indonesia Chemical 社の設立で基本合意。

(1) トピックス

- ・ 2007 年第 1 四半期の金・銀の生産量はそれぞれ前年同期比 65.2%、72.1%増の 770kg、6,199kg となった。増産の主因は、Ponkor 鉱山での採掘区画の見直し、安全対策工事が完了し鉱石生産能力の増強により改善したもので、当期の鉱石生産量は年間生産目標(385,719wmt)の 26%に当たる 99,428wmt と順調な滑り出しとなった。第 1 四半期の金・銀の販売量は、それぞれ前年同期比 81.1%増、11.7%減の 746kg、5,202kg となった。当期の金・銀の販売実現価格は、金は前年同期比 19.0%高の 655.52US\$/oz(550.87→655.52US\$/oz)、銀は同 183.9%高の 13.37US\$/oz(4.71→13.37US\$/oz)であった。これにより当期の金・銀の売上高はそれぞれ前年同期比 110.5%増の 1,429 億 2,500 万 IDR、144.5%増の 202 億 8,400 万 IDR を計上した。
- ・ 2007 年第 1 四半期のフェロニッケル生産量は前年同期比 60.8%増の 4,352t。2007 年の目標生産量は 20,000t。増産の要因は FeNi III 製錬工場の生産開始が貢献したもので、3 か年にわたる建設・試運転を終え、2007 年 1 月から商業生産に移行している。このうち FeNi I・II の当期の生産量は 2,655t。第 1 四半期のフェロニッケルの販売量は、前年同期比 112.2%増の 3,345t。第 1 四半期の売上高はフェロニッケルの販売実現価格(5.82→15.80US\$/lb)の上昇と販売量の増加を受けて、前年同期比 439.6%増の 1 兆 632 億 400 万 IDR を計上した。
- ・ 2007 年第 1 四半期のサブロライト鉱石生産量は前年同期比 158.3%増の 1,735,424wmt。増産の要因は、Mornopo 鉱山の生産貢献による。第 1 四半期のサブロライトの販売量は、前年同期比 220.7%増の 1,801,929wmt。第 1 四半期のサブロライトの売上高は販売実現価格(41.88→65.55US\$/wmt)の上昇と販売量の増加により前年同期比 392.6%増の 1 兆 754 億 6,900 万 IDR を計上した。当期のサブロライト鉱石生産は、Pomalaa、Gee、Buli、Mornopo の 4 鉱山である。
- ・ 2007 年第 1 四半期は、リモナイトの生産は中止。Gebe 鉱山の貯鉱 126,529wmt を出荷した。第 1 四半期のリモナイトの販売量は前年同期比 16%減であったが、販売実現価格の上昇(14.23→22.97US\$/wmt)でこれを相殺し、売上高は前年同期比 13.0%増の 264 億 2,200 万 IDR を計上した。

(参考：為替レート 9,020IDR/US\$ (2006 年の仲値：インドネシア銀行))

(2) 財務状況

(単位：百万 IDR)

	2006年 第1四半期	2006年 第2四半期	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期
売上	563,245	1,541,221	1,295,844	2,170,400	2,385,819
輸出	503,414	1,445,789	1,138,577	2,077,465	2,315,162
フェロニッケル	197,027	769,800	715,554	1,048,899	1,063,204
ニッケル鉱石					
サブロライト	218,326	501,710	299,861	671,858	1,075,469
リモナイト	23,387	68,586	42,388	115,734	26,422
金	19,450	58,932	16,834	171,711	91,353
銀	286	3,721	17,051	7,909	11,786
国内	59,831	95,432	157,267	92,935	70,657

(単位は百万インドネシア・IDR)

US\$ベース輸出高

(単位：百万 US\$)

	2006年 第1四半期	2006年 第2四半期	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期
売上	54.4	157.8	125.2	228.0	254.0
フェロニッケル	21.3	83.9	78.7	115.3	116.5
ニッケル鉱石					
サブロライト	23.5	54.7	33.0	73.6	118.1
リモナイト	2.5	7.6	4.6	12.7	2.9
金	2.1	6.4	1.9	18.8	10.0
銀	0	0.4	1.9	0.9	1.3

(3) 生産状況(生産販売実績)

	2006年 第1四半期	2006年 第2四半期	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期
生産					
フェロニッケル(t)	2,706	4,153	3,064	4,551	4,352
ニッケル鉱石(Wmt)	893,752	1,116,104	1,068,146	1,275,830	1,735,424
サブロライト(Wmt)	671,770	961,241	828,894	1,032,056	1,735,424
リモナイト(Wmt)	221,982	154,863	239,252	243,774	0
金(Kg)	466	815	874	719	770
銀(Kg)	3,603	7,028	7,067	6,178	6,199
販売					
フェロニッケル(t)	1,576	4,753	3,387	3,673	3,345
ニッケル鉱石(Wmt)	712,840	1,217,958	769,619	1,608,717	1,928,458
サブロライト(Wmt)	561,811	1,011,076	640,737	1,161,842	1,801,929
リモナイト(Wmt)	151,029	206,882	128,882	446,875	126,529
金(Kg)	412	766	859	1,303	746
銀(Kg)	5,893	4,343	5,772	5,055	5,202
販売価格					
フェロニッケル (1b 当たり US\$)	6.13	8.01	10.54	14.24	15.8
ニッケル鉱石					
サブロライト Wett 当たり US\$	41.88	50.81	57.25	60.92	65.55
リモナイト Wett 当たり US\$	14.23	38.56	35.97	36.54	22.97
金(oz 当たり US\$)	550.87	611.82	621.23	624.33	655.52
銀(oz 当たり US\$)	4.71	12.48	17.84	12.69	13.37

(4) その他

- ・ 2007年第1四半期の探鉱費は、ニッケル、金、ボーキサイトを対象に前期比63%増の195億IDR(うちニッケル探鉱分は130億IDR)を支出した。
- ・ ニッケル・金の探鉱を次の地域で実施している。

<ニッケル探鉱区>

州	探鉱地域	調査内容	単位:万IDR
Halmahera	Sangaji,Sangaji block, Tanjung Buli	ボーリング調査、コア観察・分析	650,000
	Obi	地質図作成、ボーリング調査、コア観察・分析	490,000
Central Halmahera	Patani	ラボ試験、探鉱区評価	
Southeast Sulawesi	North Konawe (Wiwirano & Baunaga)	ラボ試験費用を含む	36,020
Central Sulawesi	Bulutaloa,Tangofa, Langkawe,Banggai,Wosu	詳細地質図作成	41,850
	Bungku Morolowali, Wintaponda I	地質図作成、オーガー、試料分析	20,000
Maluku	Seram Island	テストピット、試料分析	50,030
		Pakar 研究所	11,400
合計			1,299,300

<金探鉱区>

州	探鉱地域	調査内容	単位:万IDR
West Java	Pongkor	ボーリング調査、物理探査(GSAMT)	220,000
Garut	Papandayan	地質調査、トレンチ、ボーリング調査、コア分析	120,000
Bengkulu	Seblat	地質調査、トレンチ、ボーリング調査、コア分析	62,980
Jambi	Muaramanderas	地質調査、サンプル分析(XRD)、トレンチ他	78,410
East Java	Liman Mountain	地質調査、サンプル分析(XRD)、トレンチ他	6,400
East Java	Gembes Mountain	概査	3,700
South East	Wowoni	ラボ試験	—
合計			491,490

・ 開発事業

- ①Antam は、鉱業投資家とのコミュニケーションを促進するため、BNP Pribas Indonesia Corporate Day 会合(1月16日)、MACQUARIE Indonesian Infrastructure & Resources 会合(1月26日)、GLSA Corporate Access Days 会合(3月12-15日: Newyork Boston, San Francisco)、Credit Suisse's Asian Investment Conferense(3月27-30日: Hong kong)などに参加した。
- ②3月12日、West Kalimantan 州 Tayan に年産30万tのケミカル用途のアルミナ工場を建設するFS調査を実施するため、昭和電工(株)、丸紅(株)、シンガポール企業 Staits Trading Amalgamated Resources Private(STAR's)社の3社と、PT Indonesia Chemical Alumina(ICA)の設立で基本合意。
- ③2月13日、Halmahera 島 Buli(Gee、Tanjung Buli、Mornopo)地域のニッケル鉱開発で、BHP Billitonとの乾式・湿式精練技術分野の事業提携(Alliance)を公表。合併事業契約は、2007年末の予定。

④1月29日、Fe Ni Ⅲ製錬工場の商業生産開始を公表。

- ・ その他合弁事業は以下のとおり。

JV	鉱種	Antam(%)	パートナー	開発ステージ
PT Nusa Halmahera Minerals	金	17.5	Newcrest	生産/開発
PT Cibaliung Sumber Daya	金	10.25	Austindo	開発
PT Sorikmas Mining	金	25	Oropa	開発
PT Gag Nickel	ニッケル	25	BHP Billiton	開発
PT Weda Bay Nickel	ニッケル	10	Eramet(Weda Bay Minerals)	開発
PT Dairi Prima Minerals	鉛亜鉛	20	Herald Resources	開発

14. Companhia Vale do Rio Doce (CVRD) *US GAAP に基づく

- ・ 2007 年第 1 四半期は、鉄鉱石、ペレット、ニッケル、銅およびアルミナ部門で前年同期比増産となり、今期の売上高は前年同期比 63.4%増の 76.8 億 US\$ を記録し、過去最高額となった。とりわけ非鉄鉱物(ニッケル、銅、カオリン、カリ、白金族鉱物、貴金属およびコバルト)の売上げが全売上げの 44.6%に達した。

(1) トピックス

- ・ 今期の売上高は前年同期比 63.4%増の 76.8 億 US\$ を記録した。また営業利益も前年同期より 10.78 億 US\$多い 27.02 億 US\$、純利益も前年同期比 86.9%増の 22.17 億 US\$に達した。
- ・ 非鉄部門の売上げはニッケルが 26.8 億 US\$、銅が 3.6 億 US\$、白金族グループが 0.7 億 US\$、カオリンが 0.5 億 US\$およびカリが 0.3 億 US\$であった
- ・ 今期のニッケル生産量は前年同期比 4.6%増の 61,400t に達した。特に Voisey's Bay は生産が軌道にのり前年同期の 1,400t から 12,100t に増産した。Thompson はメンテナンスのため生産を 1 時中止したため前年同期の 12,200t から 7,800t の減産となった。2007 年の生産量は 270,200t になる見込みである。
- ・ 今期の銅生産量は前年同期比 31.5%増の 77,400t に達した。特に Sossego の生産は、選鉱プラント問題で生産が落ちた前年同期に比べ 36.3%増の 30,000t を記録した。カナダのニッケル鉱床からの副産物として生産される銅は 47,400t に達した。
- ・ 今期の鉄鉱石生産量は前年同期比 8.4%増の 65,645 千 t に達した。ブラジルでは第 1 四半期は雨期で一般に生産が減少することが一般的で前期と比べるとこの影響で 3.7%落ちている。2007 年から 1 億 t の生産を目指しているなか今期の生産は 90,000 千 t レベルの生産量である。
- ・ CVRD はマンガンおよびフェロアロイの生産を、ユーザーのニーズに合わせるよう調整していることもあり、今期の生産量は前年同期比 24.9%減となった。

(2) 財務状況

(単位：百万 US\$)

	2006 年 第 1 四半期	2006 年 第 2 四半期	2006 年 第 3 四半期	2006 年 第 4 四半期	2007 年 第 1 四半期
売上高	3,490	4,313	5,066	7,494	7,680
営業利益	1,336	1,873	2,248	2,180	2,702
当期損益	1,171	1,880	1,904	1,573	2,217

(3) 生産状況

1) 主要鉱産物生産状況

(単位：千 t)

鉱産物	2006年 第1四半期	2006年 第2四半期	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期
鉄鉱石	60,560	65,902	69,535	68,158	65,645
ペレット	3,443	2,445	3,923	4,371	4,175
マンガン鉱石	546	509	610	576	410
フェロアロイ	129	127	140	138	131
アルミナ	728	1,021	1,063	1,127	978
アルミニウム	112	114	138	138	136
銅	22	30	32	84	77
カリウム	185	189	179	180	155
カオリン	341	339	341	332	292
ニッケル				65	61
コバルト(t)				575	579
プラチニウム(千 oz)				45	29
パラジウム(千 oz)				72	45
金(千 oz)				20	18

2) 主要鉱山・製錬所の生産状況

(単位：千 t)

鉱山・製錬所	2006年 第1四半期	2006年 第2四半期	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期
Carajas(鉄鉱石)	18,994	19,526	21,026	22,217	21,568
Azul(マンガン鉱石)	402	375	471	444	322
Alunorte(アルミナ)	728	1,021	1,063	1,127	978
Albras(アルミニウム)	112	114	115	115	113
Sossego(銅)	22	30	32	33	30
Ontario(銅)				36	32
Ontario(ニッケル)				23.9	23.3
Voisey's Bay(ニッケル)				13.5	12.1
Indonesia(ニッケル)				19.0	18.0

15. Xstrata plc(第1四半期のデータ更新なし)

- ・ Falconbridge 社の大型買収完了
- ・ 2006 年の営業利益 (EBIT) が、前年同期比 112% 増の 83 億 US\$

(1) トピックス

- ・ 上期の Tintaya 銅鉱山 (ペルー) 及び Gerrejon 石炭鉱山 (コロンビア) の取得に加え、下期では Falconbridge 社の買収完了。合計買収費用は 196 億 US\$。
- ・ 上記買収効果は、営業利益 83 億 US\$ のうち、46 億 US\$。
- ・ Alumbraera 銅・金鉱山 (アルゼンチン) の鉱量拡大により鉱山ライフが 2016 年まで延長。
- ・ Mt Isa (豪) における埋蔵鉱石量約 7 百万 t 追加確認。
- ・ Las Bambas 銅プロジェクト (ペルー) における埋蔵資源量拡大。69% 増の 508 百万 t (銅含有率 1.14%)。
- ・ その他、Kabanga (タンザニア)、Araguaia (ブラジル) などのニッケル探鉱プロジェクトで資源量拡大を確認。

(2) 財務状況

(単位: 百万 US\$)

区分	2005 年	2006 年
売上高	17,199	26,877
営業利益	3,932	8,340
当期損益	2,232	4,885
資本支出(探鉱費含む)	1,748	2,010
銅部門	424	514
ニッケル部門	367	372
亜鉛部門	141	272
その他	816	852

(注) 2005 年、2006 年における全てのデータは、2006 年中の買収案件 (Falconbridge 社他 2 件) を通年分に換算した、Xstrata 社発表による想定 (Pro Forma) ベースによるものを記載。

(3) 生産状況

1) 主要鉱産物の生産状況

鉱産物	2005年	2006年
Xstrata Copper		
銅鉱石(精鉱 t)	1,023,439	1,011,295
金(oz)	777,076	786,813
Xstrata Nickel		
ニッケル鉱石(精鉱 t)	53,124	46,526
フェロニッケル鉱石(精鉱 t)	28,668	29,675
銅鉱石(精鉱 t)	13,895	11,949
コバルト(t)	983	989
Xstrata Zinc		
亜鉛鉱石(精鉱 t)	712,795	669,981
亜鉛地金(t)	830,718	864,915
鉛鉱石(精鉱 t)	269,393	227,831
鉛地金(t)	237,466	230,583
Xstrata Alloys		
クロム(千 t)	1,122	959
五酸化バナジウム(千 lb)	20,166	21,651
フェロバナジウム(千 kg)	4,936	4,907

(注) 記載は金属純分で、他社権益分を含む。

2) 主要保有鉱山・製錬所の生産状況

鉱山名・製錬所名 (権益比率、記載無きは100%)	2005年	2006年
銅 (t)		
* Alumbraera(アルゼンチン) 精鉱 (50%)	187,317	180,144
Mount Isa (豪) 精鉱	177,482	194,135
Collahuasi (チリ) 精鉱 (44%)	161,192	167,289
Antamina (ペルー) 精鉱 (33.75%)	126,438	129,675
Townsville (豪) 地金	219,198	209,188
CCR (カナダ) 地金	304,184	368,319
亜鉛 (t)		
Mount Isa (豪) 精鉱	231,167	209,914
McArthur River (豪) 精鉱	153,644	135,538
Brunswick (カナダ) 精鉱	265,768	271,838
San Juan de Nieva (スペイン) 地金	501,413	502,834
Kidd Creek (カナダ) 地金	113,711	144,066
鉛 (t)		
Mount Isa (豪) 精鉱	159,557	118,311
Brunswick (カナダ) 精鉱	75,353	79,431
Brunswick (カナダ) 地金	76,116	67,846
Northfleet (英) 地金	161,350	162,737
ニッケル (t)		
Sudbury (カナダ) 精鉱	25,203	20,932
Raglan (カナダ) 精鉱	22,917	23,704
Falconado (ドミニカ) FeNi 精鉱 (85.3%)	28,668	29,675
Nikkelverk (ノルウェー) 地金	84,886	81,974

(注) 記載は金属純分で、*を除き、自社権益分を記載

16. Kazakhmys

- ・ 2007年第1四半期銅カソード生産量が前年同期比12%増の99.7千t。
- ・ 2007年第1四半期亜鉛地金生産は前年同期比18%減の14.9千t。

(1) トピックス

- ・ 2007年第1四半期銅精鉱生産量は前年同期比10%増の104.7千t、銅カソード生産量は前年同期比12%増の99.7千t(うち、自社鉱石分は9%増加)、これら生産増は鉱石の高品位化(1.07%(前年同期)→1.25%(今期))と新たな鉱山(Artemyevskoe、Zhomart、Kosmurun)からの生産量増によるもの。
- ・ 2007年第1四半期の亜鉛精鉱生産は、前年同期比2%減少の38.6千t。これは、2006年第2四半期に発生したNikolayevskoe 鉱山の事故、Abyz 鉱山の停止の影響によるもの。また、亜鉛地金の生産量は、前年同期比18%減少。これは製錬所の問題のため、精鉱での販売を優先させたことによる。Kosmurun 鉱山からの亜鉛鉱石生産が、2007年1月から開始。第2四半期から選鉱プロセスに送られる予定。

(2) 財務状況

(単位：百万US\$)

区分	2005年 上半期	2005年 下半期	2006年 上半期	2006年 下半期
売上高	1,202.1	1,395.4	2,280.0	2,766.5
税引前利益 (EBITDA)	482.8	590.7	1,081.0	1,227.4
当期損益	232.1	318.7	639.0	774.1
資本支出(探鉱費含む)	155.0	210.4	171.6	182.1

(注) 財務については四半期毎のデータ発表なし

(3) 生産状況

1) 主要鉱産物の生産状況

鉱産物	2006年 第1四半期	2006年 第2四半期	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期
銅精鉱(千t)	95.0	107.6	111.4	119.5	104.7
銅カソード(千t)	89.1	98.8	107.3	111.8	99.7
銅ロッド(千t)	5.3	9.0	8.1	6.1	9.0
亜鉛精鉱(千t)	39.2	31.3	36.6	22.0	38.6
亜鉛地金(千t)	18.2	15.6	12.1	13.6	14.9
金(千oz)	23.2	30.4	25.6	27.7	19.2
銀(千oz)	5,226	5,433	5,295	5,576	5,017

(注) 生産量は金属純分。金及び銀は自社鉱石分を記載

17. Glencore International AG

- ・ 金属及びエネルギー価格の高騰を受け、2006年の総売上高は前年比28%増の1,165億\$、純利益は前年比倍増の59億\$であった。純利益の割合は金属鉱物74%、エネルギー23%、農業3%となっている。また、総資産は471億\$、株主資金は109億\$であった。(2006年12月31日現在)

(1) M&A、業務提携

①Xstrataとの連携

- ・ 2003年にXstrataのMIM取得に係るCredit Swissとの資本管理協定により受け渡していた分のXstrataの持ち株シェアを回復し、35.71%となった。(2006年12月)
- ・ Xstrataが生産するニッケルの宣伝・販売を開始(2007年4月)
- ・ コロンビアのCerrejón石炭鉱山の権益を17億\$でXstrataに譲渡。(2006年5月)

②アルミ分野でのRusalとの合併

- ・ アルミ大手のロシアRusalとの合併を2006年10月に決定、世界最大のアルミメーカーを目指す。生産規模はアルミ年産4百万t、アルミナ11百万t。合併手続きは2007年3月に正式に終了。

③Asarco 鉱山資産取得への動き

- ・ Asarcoの鉱山資産取得でPhelps Dodge、BHP Billiton、Rio Tintoと競合、銅生産の世界的地位向上を狙う(2007年1月)

(2) 探査開発

①フィリピン銅開発プロジェクトJV契約締結

- ・ Copper Resources Corp、Nanjing Miningとフィリピンでの銅開発プロジェクトJV契約締結、バンカブルFSを2007年半ばに終え、銅年産56千tの見込み(2006年12月)

②メキシコLuz del Cobre銅鉱山の品位を下方修正

- ・ 22百万\$を出資しているメキシコ、ソノラ州Luz del Cobre銅鉱山(Zaruma Resources保有)の埋蔵量を品位1%で鉱石4.3百万tへ若干下方修正、なお、5年以内に操業を開始し、生産規模は銅カソードを年産6.8千tとなる見込み。(2007年4月)

(3) 操業

①ザンビアのMopani銅鉱山で供給障害

- ・ ザンビアのMopani銅鉱山(Glencore73.1%、カナダFirst Quantum社26.9%)で坑内出水により1週間の操業停止(2006年末)、またその後、ストライキ発生(2007年3月)、2007年4月にも坑内出水で操業停止。

②豪州Murrin Murrinニッケルプロジェクトは順調

- ・ 豪州Murrin Murrinニッケルプロジェクト(Minara Resources Limited権益60%、Glencore40%)が2006年度年間生産量は、ニッケル31,524t(前年28,240t)、コバルト2,096t(同1,750t)と

順調(2006年12月)

③Columbia Falls アルミニウム製錬所の再開

- ・ アルミニウム価格上昇を受け、操業を停止していた米国モンタナ州の Columbia Falls 製錬所を7年ぶりに再開(2007年1月)

④米国の Tennessee 亜鉛鉱山の再開

- ・ 水没していた米国・Tennessee 亜鉛鉱山(2006年5月に Asarco から取得)から水抜きし操業を再開へ、亜鉛精鉱年産110千tの見込み。(2007年3月)

⑤ボリビア錫亜鉛鉱山に144百万\$の投資

- ・ ボリビア Porco 鉱山、Colquiri 錫亜鉛鉱山に2009年までに144百万\$の投資を計画、生産能力を亜鉛・鉛・銀精鉱、月産1,000tから2,000tへ倍増。(2007年4月)

(4) その他

①ボリビア Vinto 錫製錬所国有化を巡る動き

- ・ ボリビア政府が2007年2月に Vinto 製錬所の国有化を発表した。同製錬所は Glencore が2005年に Comsur 社を220百万\$で買収した際に取得した。Comsur 社は買収取引時にボリビア前大統領が権益の一部を保持しており、ボリビア政府が不当に安く買収されたと主張。これに対し Glencore は抗議し、スイス政府を巻き込んだ国際争議に発展。Vinto 製錬所は錫地金年産15千tの規模。この争議が錫供給不安の懸念材料となり錫国際価格は上昇

②社債の発行に投資家殺到

- ・ 12年社債を発行したところ、高い利回りが期待されることから投資家の注文が殺到(2007年2月)

V. その他企業の動向、主要国の生産統計

1. 豪州企業

1-1. 概要

オーストラリア鉱業は依然として好調である。鉱山会社各社の生産量増加の主な要因は、高値を続ける鉱物資源価格と中国を中心とする旺盛な需要に対応したものの。一方、豪ドル高に加え、技術者・技能労働者不足・資機材等の価格上昇は生産コストを押し上げ、インフラストラクチャー整備が輸出拡大に追いつかない状況が一部は解消されてはいるが、依然として好調な鉱業のマイナス要因として懸念されている。

本稿では、下記のオーストラリア関係主要非鉄企業の財務状況・生産状況・探鉱開発状況について下記 16 社の四半期報告等をもとに取りまとめたものである。

- 1) Alumina Limited(アルミナ)
- 2) Alcoa World Alumina and Chemicals 社(AWAC)(アルミナ)
- 3) CBH Resources Limited(亜鉛・鉛・銅)
- 4) Consolidated Minerals Limited(クロム、マンガン、ニッケル)
- 5) Energy Resources of Australia Ltd (ERA) (ウラン)
- 6) Iluka Resources Limited(ミネラルサンド)
- 7) Jubilee Mines NL 社(ニッケル)
- 8) Kagara Zinc Limited(亜鉛・鉛・銅)
- 9) Lihir Gold Limited(金)
- 10) Minara Resources Limited(ニッケル・コバルト)
- 11) Mincor Resources NL(ニッケル)
- 12) Newcrest Mining Limited(金・銅)
- 13) Oxiana Limited(金・銅)
- 14) Perilya Limited(亜鉛・鉛)
- 15) Sally Malay Mining Limited(ニッケル)
- 16) Zinifex Limited(亜鉛・鉛・銅)

1-2. 豪州主要各社の生産・財務状況

1) Alumina Limited

(1) 財務状況

Alumina 社は、2001 年に Western Mining Co. がアルミニウム部門とその他の部門とに分離した際にアルミニウム部門をもとに設立された会社。その他の部門は、WMC Resources Ltd. となりニッケル、銅、ウランその他の事業を実施していたが、2005 年に BHP Billiton に買収された。

(単位：百万 A\$)

百万 A\$	2005 6 月末半期	2005 *1 12 月末半期	2006 6 月末半期	2006 *2 12 月末半期	コメント
税引き後純利益	163.3	152.3	259.9	251.2	・税引き後純利益は、価格堅調と生産増加により対前期 62%増加の 511 百万 A\$

*1 2005 年 12 月末までの 12 か月分から、2005 年 6 月末までの 6 か月分を差引いた数値

*2 2006 年 12 月末までの 12 か月分から、2006 年 6 月末までの 6 か月分を差引いた数値

出典) 2006 Full Year ASX Report, 1 February 2007
The Alumina Report (Full Year 2006), 1 February 2007
Full Year 2006 Results presentation, 1 February 2007
2006 Half Yearly ASX Report, 3 August 2006
The Alumina Report (Half-year 2006), 3 August 2006
Half Year 2006 Results presentation, 3 August 2006

(2) 生産状況

AWAC 社の項参照

(3) 探鉱・開発状況

AWAC 社の項参照

2) Alcoa World Alumina and Chemicals (AWAC)

(1) 財務状況

AWAC 社は、Alcoa 社(米国)が権益 60%、Alumina Limited が権益 40%を持つ JV 企業。

(単位：百万 US\$)

百万 US\$	2005 6 月末半期	2005 *1 12 月末半期	2006 6 月末半期	2006 *1 12 月末半期	コメント
総収入	2,172.1	2,327.7	2,774.0	2,909.1	・旺盛な需要、堅調なアルミナ、アルミニウム価格が大きく影響して税引き後利益は 72%増加。
税引き後利益	309.3	335.3	579.6	542.3	

*1 2005 年 12 月末までの 12 か月分から、2005 年 6 月末までの 6 か月分を差引いた数値

*2 2006 年 12 月末までの 12 か月分から、2006 年 6 月末までの 6 か月分を差引いた数値

(2) 生産状況

鉱種	2005 6 月末半期	2005 *1 12 月末半期	2006 6 月末半期	2006 *1 12 月末半期	コメント
アルミナ (Mt)	6.8	6.9	7.0	7.3	・対前年同期 5.8%増加。Pinjarra 精錬所(西オーストラリア州)の拡張による増加を Point Comfort 精錬所(米国テキサス州)が相殺。
アルミニウム ('000 t)	187	190	183	194	・生産量は対前年同期 6.0%増加。Pint Henry 製錬所(ビクトリア州)は記録的な生産。

*1 2005 年 12 月末までの 12 か月分から、2005 年 6 月末までの 6 か月分を差引いた数値

*2 2006 年 12 月末までの 12 か月分から、2006 年 6 月末までの 6 か月分を差引いた数値

出典) 2006 Full Year ASX Report, 1 February 2007
 The Alumina Report (Full Year 2006), 1 February 2007
 Full Year 2006 Results presentation, 1 February 2007
 2006 Half Yearly ASX Report, 3 August 2006
 The Alumina Report (Half-year 2006), 3 August 2006
 Half Year 2006 Results presentation, 3 August 2006

(3) 探鉱・開発状況

- ・ Pinjarra アルミナ精錬所の拡張工事(657,000t/年能力増強、投資額 510 百万 US\$)は第 2 四半期に完了。2007 年 2 月からフル生産の予定。コジェネレーション施設利用により低コスト・省エネルギーを実現。
- ・ Jamalco ボーキサイト鉱山・アルミナ精錬所(ジャマイカ政府と 50/50%JV)の 1 期工事(14.6 万 t/年)は 2007 年第 1 四半期に完成、第 2 四半期に生産開始予定。2 期工事はガス供給に関わる政府間交渉のため中断。
- ・ Aluma アルミナ精錬所の拡張 3.5 百万 t/年(AWAC 分は 1.1 百万 t/年)は、2008 年第 4 四半期に生産開始予定。
- ・ Juruti ボーキサイト鉱山(ブラジル、2.6 百万 t/年能力)は、2008 年第 2 四半期に生産開始予定。
- ・ Wagerup アルミナ精錬所(西オーストラリア州)の拡張は、詳細設計・エンジニアリングを実施、2008 年初に完成予定。
- ・ Sangaradi ボーキサイト鉱山(ギニア、能力 150 万 t/年、AWAC 分は 75 万 t/年)は F/S 調査中。
- ・ ベトナムではボーキサイト鉱山及びアルミナ精錬所建設は F/S 調査中。

出典) Full Year 2006 Results presentation, 1 February 2007

3) CBH Resources Limited

(1) 財務状況

Panorama 鉱床(西オーストラリア州)の開発を目的とした転換社債 2 百万 A\$を発行。

(単位: 千 A\$)

	2005 *1 6 月末半期	2005 12 月末半期	2006 *2 6 月末半期	2006 12 月末半期	コメント
総収入	70,947	48,993	37,020	141,773	・Endeavor 鉱山(ニューサウスウェルズ州)の生産回復と金属価格高騰により、総収入は前年同期 219%増加。 ・前期の損益から回復。
税引き後純利益	4,179	▲10,989	▲4,143	21,115	
探査費用	3,604 *3	4,542		N.D.	

*1 2005 年 6 月末までの 12 か月分から、2004 年 12 月末までの 6 か月分を差引いた数値

*2 2006 年 6 月末までの 12 か月分から、2005 年 12 月末までの 6 か月分を差引いた数値

*3 2005 年 6 月末までの 12 か月分の数値

出典) Quarterly Report for the period ending 31 March 2007, 18 April 2007

Half Year Report Condensed, Financial Report For the half-year ending 31 December 2006, 20 February 2007

Appendix 4E, Preliminary Final Report Year ended 30 June 2006, 20 September 2006

(2) 生産状況

(単位: 金属純分 t)

鉱種	2006 1/四	2006 2/四	2006 3/四	2006 4/四	2007 1/四	コメント
亜鉛精鉱	4,050	6,250	11,000	16,300	14,500	・Endeavor 鉱山は立坑のメンテナンス及び新規斜坑からの生産開始の影響で鉱石生産量が減少。 ・亜鉛精鉱生産量は、採掘量の減少と品位低下により、対前期 12.4%減少の 28,800t。 ・鉛精鉱生産量は、採掘量の減少と品位低下により、同 22.9%減少の 14,300t。
鉛精鉱	1,800	3,500	5,980	9,080	6,900	
銀(kg)	1,800	2,370	3,880	5,300	4,400	

Newcastle 積出港取扱量

(単位: t)

鉱種	2006 1/四	2006 2/四	2006 3/四	2006 4/四	2007 1/四	コメント
積出量	96,100	80,400	66,935	98,964	92,319	・当期は鉱石の積出しは遅延なく行われた。
貯鉱量	11,600	12,446	31,608	34,123	23,031	

出典) Quarterly Report for the period ending 31 March 2007, 18 April 2007

(3) 探鉱・開発状況

(開発)

- ・ Panorama 亜鉛・銅鉱山(西オーストラリア州、CBH 60%)は、開発計画が完成、役員会で承認。今後は、転換社債発行は株主承認事項(3月に発行、4月27日株主総会で承認)と環境許可承認待ち(露天採掘、埋蔵量 10 百万 t・亜鉛 37%、銅 1.5%、銀 17g/t。生産規模は 1.5 百万 t/年、亜鉛 5 万 t/年・銅 2 万 t/年を予定。露天採掘期間は 8 年、それ以降は坑内採掘)
- ・ Broken Hill 西部亜鉛・鉛・銀鉱化帯 CML7(Rasp 鉱山)(ニューサウスウェルズ州)は、第 1 段階である Rasp 鉱山の斜坑建設を 2007 年 1 月に開始、2008 年 4 月頃に完成の見込み。プラント設計、レイアウト検討中。諸手続き開始。(資源量 10 百万 t・亜鉛 4.9%・鉛 3.5%・銀 43g/t、

操業期間 12 年、年間鉱石生産量 75 万 t)

- ・ Hera 金・亜鉛・鉛・銅鉱床プロジェクト(ニューサウスウェルズ州 Cobar)は、鉱体へのアクセスのための斜坑建設は手続中、第 2 四半期に許可の見込み。鉱体モデルと資源量の再検討中、第 2 四半期に完了の見込み。
- ・ Mineral Hill 金・亜鉛・鉛・銅鉱床プロジェクト(ニューサウスウェルズ州)は、鉱山再開の可能性を認識、再開にむけた試掘方法、資源量、コスト、経済性を検討中。採掘・選鉱の再開許可は手続中、第 2 四半期に許可の見込み。2008 年 3 月末半期頃の再開が妥当と見ている。(1995~2005 年の間、金 368, 978oz、銅精鉱 20, 565t を生産、年間鉱石処理能力 200, 000t)

(探鉱)

- ・ Cobar 地域亜鉛・鉛・銅探鉱(ニューサウスウェルズ州)では、Sandy Creek 地区で走向方向 500 m・幅 250 m の IP 異常を特定、ボーリングを実施、亜鉛・鉛鉱化を捕捉(341m から 2.5m・Zn 8.9%・Pb 4.2%)。Hera 金・亜鉛・鉛・銅鉱床は、ボーリングを実施、鉱化レンズを捕捉(3.8m・Zn 12.6%・Pb 12.5%・Cu 0.43%・Au 0.92g/t・Ag 62g/t)、更にボーリングを継続中。Mineral Hill では、既知鉱化の下にある磁気及び重力異常(深さ 600-700m)へのボーリングを開始。
- ・ Panorama 亜鉛・銅探鉱 JV(西オーストラリア州、CBH 60%権益取得中)は、物理探査、地化学探査から得られたターゲットに対して 4, 000m ボーリング調査実施予定。露天採掘予定範囲内の Kangaroo Caves(1.7 百万 t・亜鉛 9.8%・銅 0.6%)の上部へのボーリングも計画。
- ・ Napier Range 亜鉛・鉛探鉱 JV(西オーストラリア州、CBH 70%権益取得中)は、2006 年に実施した地表 IP 探査の結果、走向方向 4km にターゲットを 12 ヶ所抽出、優先順位の高い地点からボーリング実施予定。
- ・ Sorby Hills 亜鉛・鉛・銀探鉱(西オーストラリア州 Kimberley 地域、資源量：10 百万 t・鉛 6.4%・亜鉛 0.9%・銀 66g/t)は、5 探査鉱区(135km²)を取得、西オーストラリア州政府と灌漑事業との関係で調整中。
- ・ Broken Hill 地域亜鉛・鉛・銀・銅・金広域探査(ニューサウスウェルズ州)では、①Zincsearch 社との JV(CBH60%、オペレーター)では地化学探査を実施。②Stirling-JV(Perilya 社が 70%権益取得中)では RC ボーリングが亜鉛・鉛鉱化を捕捉(109m から 4m・Zn+Pb 5.5%)。
- ・ Constance Range 鉄鉱探査(クィーンズランド州)では、1950-1960 年代に BHP 社によって探査された鉱床(245 百万 t・鉄 52%・SiO₂ 9.4%)を JORC コードに適合するよう再評価中。

出典) Quarterly Report for the period ending 31 March 2007, 18 April 2007

4) Consolidated Minerals Limited

(1) 財務状況

(単位：百万 A\$)

	2005 *1 6 月末半期	2005 12 月末半期	2006 *2 6 月末半期	2006 12 月末半期	コメント
総収入	198.6	103.8	112.4	121.0	・2006 年下半期は、ニッケル・マンガン事業で記録的な収入を得たことから、前期 7.8%増加となった。
税引き後純利益	29.2	3.2	▲9.7	10.2	

*1 2005 年 6 月末までの 12 か月分から、2004 年 12 月末までの 6 か月分を差引いた数値

*2 2006 年 6 月末までの 12 か月分から、2005 年 12 月末までの 6 か月分を差引いた数値

出典) Half Year Report 31 December 2005, 23 February 2007

Annual Report 2006,

Half Year Report 31 December 2005, 2 March 2006

(2) 生産状況

(単位：t)

鉱種	2006 1/四	2006 2/四	2006 3/四	2006 4/四	2007 1/四	コメント
マンガン	220,351	214,720	244,975	226,631	196,256	・Woodie Woodie 鉱山(西オーストラリア州)は、多雨にもかかわらず操業は順調、年間計画生産量 90~92.5 万 t は達成できる見込み。
クロム	65,651	65,633	64,040	61,975	62,366	・生産は順調、年間計画生産量 24~25 万 t は達成できる見込み。
ニッケル	958	1,071	1,059	964	966	・East Alpha 地区の品位と鉱体の厚さの変化のため年間計画生産量を 4,000t に修正。 ・Widgiemooltha 地区の生産開始は、2008 年初旬を予定。採掘許可と環境許可次第。

出典) Quarterly Activities Report for the Period ended 31 March 2007, 25 April 2007

Quarterly Activities Report for the Period ended 31 December 2006

(3) 探鉱・開発状況

(探鉱)

- ・ マンガンは、Woodie Woodie 鉱山地域において、旧 Rhodes 露天採掘ピットで高品位新鉱床(42-75m までの幅 33m・Mn 51.2%など)を発見。また、Ranchu 地区(10-27m までの幅 17m・Mn 49.9%)、Minnow 地区(30-63m までの幅 33m・Mn 43.1%)でのボーリングでも好結果を得る。新たなボーリング地点選定のための IP 調査を 2007 年に実施予定。
- ・ ニッケルは、Kambalda 地域(西オーストラリア州)で探鉱を実施。Beta Hunt -Belta West 地区では、ボーリング調査継続、良好な結果を得た。Belta West 地区(幅 4.40m・Ni 3.68%など)、Belta Hunt 地区(幅 2.16m・Ni 3.42%、幅 8.10m・Ni 2.66%など)。Widgiemooltha 広域探査では、今期探鉱費 0.8 百万 A\$を支出。Gillet プロジェクトでは、SQUID EM 異常に対するボーリングで新たな鉱化を発見(221.53m から幅 5.47m・Ni 1.76%、257m から幅 3m・Ni 2.50%など)。

(開発)

- ・ Kambalda では、換気立孔が 2007 年 6 月末に完成し、探鉱開始予定。Twin Decline 探鉱プロジェクトの一部である Kambalda Dome での鉱山開発は、2008 年第 1 四半期完了見込み。

- ・ Kambalda 地区のニッケル鉱石の BHP Billiton 社への売鉱契約 (Off take agreement) が合意に達した。

出典) Quarterly Activities Report for the Period ended 31 March 2007, 25 April 2007

5) Energy Resources of Australia Limited (ERA)

(1) 財務状況

(単位：百万 A\$)

	2005 6 月末半期	2005 *1 12 月末半期	2006 6 月末半期	2006 *2 12 月末半期	コメント
収入	129.8	136.2	154.7	162.5	・収入は対前年同期 5.04%増加、税引き後純利益は同 19.1%増加。生産量のほとんどが長期契約のためスポット価格上昇の恩恵を受けず。
税引き後純利益	17.0	23.7	19.9	23.7	

*1 2005 年 12 月末までの 12 か月分から、2005 年 6 月末までの 6 か月分を差引いた数値

*2 2006 年 12 月末までの 12 か月分から、2006 年 6 月末までの 6 か月分を差引いた数値

出典) Full Year Result 2006, 1 February 2007

Half-Year Result 2006, 26 July 2006

Full Year Result 2005, 1 February 2006

(2) 生産状況

鉱種	2006 1/四	2006 2/四	2006 3/四	2006 4/四	2007 1/四	コメント
ウラン (tU ₃ O ₈)	1,392	596	1,103	1,662	1,006	・大雨のため、2007 年 3 月 7 日に不可抗力(Force Majeure)を宣言。 ・生産量(U ₃ O ₈)は、対前期 39%減少、対前年同期 28%減少となった。鉱石処理量は対前期 28%減少、対前年同期 32%減少、採掘量は対前期 50%減少、対前年同期 45%減少であった。
処理鉱石 ('000 t)	555	330	623	555.2	399.3	

出典) Third Quarter Operation Review (unaudited), 16 April 2007

Fourth Quarter Operation Review (unaudited), 16 January 2007

Third Quarter Operation Review (unaudited), 18 October 2006

Quarterly Production and Exploration Report to 30 June 2006 (unaudited), 19 July 2006

(3) 探鉱・開発状況

- ・ 2006 年の Ranger 地区の探鉱費は 3.7 百万 A\$。
- ・ Ranger 鉱山露天採掘ピット東隣接地区では、Ranger 3 鉱化が下部へ伸びており、南東方向深部へのボーリングを実施中。
- ・ 現在の露天採掘ピット(Ranger3)拡張の可能性を検討。既存の露天採掘ピット内及びピットとアクセス道路との間での 16 孔・5,516m、のボーリングを実施(幅 17m・0.257U₃O₈、幅 56m・0.166 U₃O₈ など)。
- ・ Ranger3 の道路の東側で深部をターゲットとして 8 孔・4,691m のボーリングを実施(幅 27m・0.364U₃O₈、幅 26m・0.417 U₃O₈ など)。
- ・ Ranger3 から 3km 北の Ranger 18 East でのボーリングは地上の状況が許せば再開の見込み。

出典) Third Quarter Operation Review (unaudited), 16 April 2007

6) Iluka Resources Limited

(1) 財務状況

(単位：百万 A\$)

	2006 1/四	2006 2/四	2006 3/四	2006 *1 4/四	2007 1/四	コメント
売上*1	214.1	259.8	233.7	295.6	N.D.	・ミネラルサンドの販売量*2 は、リューコキシ ンとジルコンを除いて、前年同期を 34.1%上回る 449,411t であった。Mid West(西オーストラリア州)での貨物船の 到着が遅れジルコンの出荷に影響が生 じた。
税引き後利益	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	
探鉱支出	4.5	5.1	4.5	5.3	4.7	

*1 2006年12月末までの1年間から第1四半期から第3四半期までの合計を引いた額

*2 2006年12月末四半期より売上げの情報が四半期報告に記載されていない。

出典) March Quarter 2007 Production and Exploration Report, 19 April 2007
Iluka Results for The Year ended 31 December 2006, 22 February 2007
Chairman's Letter & 2006 Half Year Report to Shareholders, 30 August 2006
Full Year Result 2005, 1 February 2006

(2) 生産状況

(単位：t)

鉱種	2006 1/四	2006 2/四	2006 3/四	2006 4/四	2007 1/四	コメント
ルチル	41,428	42,357	36,938	41,843	43,635	・生産量は、Murray Basin(ビクトリア州/ニ ューサウスウェルズ州)での生産増が貢 献して対前年同期 5.3%増加、対前期 4.3%増加。販売量は、対前年同期 29.5% 増加、対前四半期 34.7%減少。
人工ルチル	129,404	101,281	139,348	136,541	123,497	・生産量は、Mid West 地区(西オーストラ リア州)のキルンのメンテナンスにより対 前年同期 4.6%減少、対前期 9.6%減少。 販売量は、対前年同期 1.4%増加、対前 期 30.3%減少。
イルメナイト	407,224	423,229	412,992	419,040	424,001	・生産量は、対前年同期 4.1%増加、対前 期 1.2%増加。販売量は、対前年同期 164.4%増加、対前期 28.6%減少。
リューコキシ/ Hyti	9,946	15,615	9,304	6,037	6,457	・生産量は、対前年同期 35.1%減少、対前 期 7.0%増加。販売量は、対前年同期 72.2%減少、対前期 85.2%減少。
ジルコン	109,317	100,483	105,428	113,082	116,439	・生産量は、Mid West での品位調整・貯 鉱の二次回収が低下したが、Murray Basin、CRL(クィーンズランド州)、 Florida/Georgi(米国)での尾鉱処理での 生産増加があり、対前年同期 6.5%増 加、対前期 3.0%増加。販売量は、対前 年同期 29.0%減少、対前期 36.9%減少。
石炭	432,211	225,497	233,575	353,752	220,065	・生産量は、対前年同期 49.1%減少、対前 期 37.8%減少。販売量は、対前年同期 48.1%減少、対前期 35.6%減少。

出典) March Quarter 2007 Production and Exploration Report, 19 April 2007
December 2006 Quarterly Production and Exploration Report, 18 January 2007
December Quarter 2005 Production & Exploration Report, 19 January 2006

(3) 探鉱・開発状況

(開発)

- ・ 当期の資本投資額は、39.3 百万 A\$、2007 年の年間投資額は 230 百万 A\$となる見込み。
- ・ 西オーストラリア州では、Waroona/Cloverdale ミネラルサンド開発への投資。Murray Basin プロジェクト第 1 フェーズの最終の投資、プレ F/S 調査などからなる Murray Basin プロジェクト第 2 フェーズへの最初の投資を実施。Murray Basin プロジェクト鉱物分離プラントの試運転は成功、2007 年中旬に生産開始予定。2 月からプラントは 19.5 千 t の生産あり、年間では、ジルコン 111 千 t、ルチル 70 千 t の生産量に達する見込み。

(探鉱)

- ・ 当期探鉱費は 4.7 百万 A\$。その内訳は、Perth Basin (西オーストラリア州) に 27% (前期 25%)、Eucla Basin (南オーストラリア州) に 20% (25%)、Murray Basin (ビクトリア州/ニューサウスウェルズ州) に 22% (22%)、米国に 18% (16%) であった。
- ・ Perth Basin では、既存鉱山及び採掘検討地区のある Mid West 地域 (Cataby, Adamson, Boonanarring 地区) 及び South West 地域 (Tutunup, Yoganu 地) で鉱床の連続性と資源量評価に向けた探鉱を継続中。Cataby 地区では重鉱物 (HM) 資源量が 8.7 百万 t から 13.2 百万 t に増加、重鉱物中のイルメナイト品位 59%・ジルコン 9%・ルチル 4%であった (ボーリング総延長 19,486m)
- ・ Murray Basin (ビクトリア州/ニューサウスウェルズ州) では、Balranald 地域 (ニューサウスウェルズ州) で磁気異常を対象に、West Balranald 鉱床では走向方法への延長確認のためボーリングを継続中。Bondi 鉱体の延長を確認のためのボーリングを実施。(ボーリング総延長 23,437m)
- ・ Eucla Basin (南オーストラリア州) で Eyre 半島 Ceduna の東 150km の地区で集中的に探査を実施、低品位の鉱化を捕捉。Colona 地区 Tripitaka 鉱床で鉱床確認のボーリングを実施中、Colona JV (Iluka 社 51%、Adelaide Resources Limited 社 49%) は今期、プレ F/S の計画策定 (ボーリング総延長 5,425m)
- ・ 米国では Atlantic Basin (米国バージニア州) で Atlantic Basin (米国バージニア州) - 既存鉱山の寿命延長のための広域的な調査を実施。(ボーリング総延長 6,007m)

出典) March Quarter 2007 Production and Exploration Report, 19 April 2007

7) Jubilee Mines N.L.

(1) 財務状況

(単位：千 A\$)

	2006 1/四	2006 2/四	2006 3/四	2006 4/四	2007 1/四	コメント
収入(売上)	26,993	148,978	70,524	163,453	89,857	・銀行残高は 216.4 百万 A\$、INCO 社へのニッケル販売代金 73.1 百万 A\$、当期末の短期流動資産は 289.5 百万 A\$。
税引き前利益*1	9,155	99,070	51,579	113,780	109,931	
探鉱支出	N. D.	N. D.	N. D.	N. D.	N. D.	

*1) 売上から諸費用を差引いたもの

出典) QUARTERLY REPORT FOR PERIOD ENDED 31 MARCH, 27 April 2007
 QUARTERLY REPORT FOR PERIOD ENDED 31 DECEMBER 2006, 29 January 2007
 QUARTERLY REPORT FOR THE PERIOD ENDED 30 SEPTEMBER 2006, 26 October 2006
 QUARTERLY REPORT FOR THE PERIOD ENDED 30 JUNE 2006, 27 July 2006
 QUARTERLY REPORT FOR THE PERIOD ENDED 31 MARCH 2006, 26 April 2006

(2) 生産状況

鉱種	2006 1/四	2006 2/四	2006 3/四	2006 4/四	2007 1/四	コメント
ニッケル精鉱 (dmt)	13,928	17,097	12,093	15,324	8,478	・Cosmos 硫化ニッケル鉱山(西オーストラリア州)の生産は堅調。 ・9920 区からの採掘は当期で終了、Alec Mairs 1 鉱体からの採掘、また、Alec Mairs 2 鉱体へのアクセスも開始。 ・当期の精鉱出荷(Shipment)は 1 回、6,167t。
ニッケル品位(%)	4.95	5.84	4.55	6.39	2.79	
回収率(%)	95.5	95.2	94.0	95.4	93.6	

出典) QUARTERLY REPORT FOR PERIOD ENDED 31 MARCH, 27 April 2007
 QUARTERLY REPORT FOR PERIOD ENDED 31 DECEMBER 2006, 29 January 2007
 QUARTERLY REPORT FOR THE PERIOD ENDED 30 SEPTEMBER 2006, 26 October 2006
 QUARTERLY REPORT FOR THE PERIOD ENDED 30 JUNE 2006, 27 July 2006
 QUARTERLY REPORT FOR THE PERIOD ENDED 31 MARCH 2006, 26 April 2006

(3) 探鉱・開発状況

(開発)

- ・ Sinclair 鉱床(西オーストラリア州 Cosmos 鉱山の南 100km)は、資源量の評価完了(1.2 百万 t・ニッケル 2.7%・金属純分量 33,7000t)、F/S 調査及び開発準備は順調な進捗。
- ・ Anomaly 1 鉱床は、鉱石販売(Off take)の可能性を考慮した坑内採掘・鉱石処理の概念検討、鉱床評価が完了。
- ・ Prospero/Tapinos 鉱床(Cosmos 鉱山南 5km)では、Helene 斜坑 744m 掘進。進捗は良好で Tapinos 鉱床へ到達、また、Helene 斜坑の換気系統の工事完了。
- ・ Sinclair 鉱床(西オーストラリア州 Cosmos 鉱山の南 100km)は、開発の可能性を検討中。資源量(Inferred mineral resource)を 755,000t・Ni 2.9%・金属純分量 22,000t と評価。

(探鉱)

- ・ Cosmos 及び Bannockburn(西オーストラリア州 Leonora 南 100km)塊状硫化物ニッケル鉱床探鉱は順調
- ・ Prospero(Cosmos 鉱山地区)の南で塊状及びその鉱液の通路部分(Stringer)の鉱化を捕捉(幅 3.14m・Ni1.58%)。
- ・ Alec Mairs Complex(Cosmos 鉱山地区)では、Alec Mairs 2 鉱床の下部調査のための地上・坑

内ボーリングで好結果を得る(幅 34.5m・Ni1.7%)。

- ・ Anomaly 6(Cosmos 鉱山地区)では、ボーリング 3 孔(幅 8m・Ni 1.46%・Cu 231ppm)と EM 探査を実施。
- ・ Skye (Bannockburn 地区)で、新たな塊状及びその鉱液の通路部分(Stringer)の鉱化を捕捉(幅 13m・Ni 3.97%)。
- ・ Sinclair 鉱床(Bannockburn 地区)は、既知資源量の境界から北 300m でボーリングを実施、鉱化帯を捕捉(4.63m・Ni 2.43%)
- ・ 広域調査では、Sinclair 鉱床(Bannockburn 地区)を胚胎する超塩基性岩帯の延長 45km を対象に探査を実施。Sinclair 鉱床の西・北でボーリング(Aircore)を、Outcamp Well 地区では MLEM を、Delphi 鉱徴地の走向方向の南 25km で空中磁気探査を、Sinclair 鉱床及びその北 7.5km で重力探査を、Sinclair 鉱床を含む地区で IP 調査を実施。
- ・ AGRA-JV 広域探査プロジェクト(、西オーストラリア州 Kalgoorie 北東 75km、Jubilee 社権益 75%)は、磁気異常に対して浅所の地表地化学探査、既存データ収集・解析を実施。
- ・ Emu Lake-JV 広域探査プロジェクト(西オーストラリア州 Kalgoorie 北東 70km、同 60%)は、Binti 鉱徴の延長を確認するための深部ボーリングを計画。

出典) QUARTERLY REPORT FOR PERIOD ENDED 31 MARCH, 27 April 2007

8) Kagara Zinc Limited

(1) 財務状況

(百万 A\$)

	2005 *1 6 月末半期	2005 12 月末半期	2006 *2 6 月末半期	2006 12 月末半期	コメント
事業収入	39.8	31.4	85.3	123.9	・Mt Garnet 鉱山(クィーンズランド州)の生産が好調なこと金属価格が高騰したことにより、税引き後利益は、対前年同期 623%増加。
税引き後利益	6.4	5.4	30.2	38.9	
探鉱費	N.D.	5.5	9.4	12	

*1 2005 年 6 月末までの 12 か月分から、2004 年 12 月末までの 6 か月分を差引いた数値

*2 2006 年 6 月末までの 12 か月分から、2005 年 12 月末までの 6 か月分を差引いた数値

出典) Half Year Report- 31December 2006, 27 February 2007

Half Year Report- 31December 2005, 3 March 2006

Half Year Report- 31December 2004, 22 February 2005

Annual Report 2006

(2) 生産状況

(鉱山生産は金属純分)

鉱種	2006 1/四	2006 2/四	2006 3/四	2006 4/四	2007 1/四	コメント
銅 (t)	848	2,110	2,396	4,076	5,813	・1 月下旬のモンスーン性の大雨で Mt Garnet 鉱山、Thalanga 鉱山(クィーンズランド州)の生産が 2 週間停止したことが影響して、亜鉛、鉛、銀、金は対前期減少。 ・銅は対前期 43%増加の 5,813t 記録的生産量。 ・亜鉛は対前期 28%減少の 7,785t。 ・鉛は対前期 36%減少の 2,219t。 ・銀は対前期 28%減少の 171,000t。 ・金は対前期 49%減少の 797t。
亜鉛 (t)	9,933	9,521	10,099	10,770	7,785	
鉛 (t)	2,601	2,827	3,071	3,459	2,219	
銀(oz)	N.D.	N.D.	N.D.	235,000	171,000	
金(oz)	N.D.	N.D.	N.D.	1,568	797	

出典) Quarterly Activity Report for the period ending 31 March 2007

Quarterly Activity Report for the period ending 31 December 2006

(3) 探鉱・開発状況

(開発)

- ・ Balcooma 銅鉱山開発は(クィーンズランド州)、1 月の大雨のため露天採掘ピットが浸水とピット壁面が崩れたことから、鉱石へのアクセスが 5 週間遅れた。更に幹線道路の Kennedy Highway の通行が制限されたため、鉱石と精鉱の運搬が 2 週間滞った。資源量は 3.96 百万 t・銅 3.5%・銀 15g/t・金 0.37g/t。露天採掘は、当期 2,887,845t のピットから土砂を取り除き、坑内採掘は斜坑 336.9m 掘進した。
- ・ Dry River South 亜鉛・鉛鉱山では、鉱石 85,200t・亜鉛 8.9%を採掘・鉛 3.6%・銅 0.8%を採掘、鉱石は大雨で復旧中の露天採掘ピットに代わり鉱石を多金属処理系に供給。坑内採掘は坑道 854.2m 掘進した。
- ・ Mungana 鉱床では、探鉱斜坑を掘削。今期 536.2m を掘進、これまでの坑道総延長は 854.2m。
- ・ Mt Garnet 亜鉛・鉛鉱山では、露天採掘ピット中の 544,200t の廃さいを除去、鉱石 300t を採掘・貯鉱した。2003 年のそれから再評価した資源量は 1.57 百万 t・亜鉛 7.3%・銅 0.4%・

銀 15g/t。

(探鉱)

- ・ Dry River South 鉱床では、9 孔 2,837.3m のボーリングを実施。鉱化(長さ 300m、幅 50m)が既知鉱体(埋蔵量)から下部に伸びていることを確認。更にボーリング調査を実施する予定。
- ・ Balcooma 鉱床では、9 孔 893.7m のボーリングを実施。結果待ち。
- ・ Red Dome 鉱床では、第 1 フェーズの調査として金・銅鉱化の延長を確認するためのボーリング 3 孔を、3 月より実施中。
- ・ Red Cap 鉱床では、ボーリング 14 孔・5,000m(RC 2,000m、コア 3,000m)を計画、環境・先住権・遺跡等の手続きに 10-12 週間を要する予定。
- ・ Beaverbook 鉱床では、IP 異常を確認するために RC ボーリング 6 孔・800m を計画。
- ・ King Vol 鉱床では、資源量確認(inferred から indicated)のための 100m 間隔のボーリングを最低 12 孔・8,000m 実施予定。
- ・ Monte Video 鉱床では、新たな資源量(inferred)評価。720,000t・亜鉛 7.7%・鉛 0.5%・銀 7g/t。
- ・ Mt Garnet 鉱床では、既知鉱体の拡張を目的としたボーリング調査を 5 月下旬～6 月上旬に開始予定。
- ・ Thalanga 鉱床では、データ確認と鉱床再評価を第 3 四半期から実施予定。Vomacka 鉱床、West 45 鉱床の資源量獲得及び拡張を目的としたボーリングを計画。2007 年末から 2008 年初旬に開始予定。
- ・ Admiral Bay 鉱床では、アクセス道路の拡張とボーリング地点の整備に関する、伝統的土地所有者との交渉が成功。州当局から探鉱許可取得。
- ・ Forrestania Nickel 鉱床では、5 月中旬にボーリング開始予定。これまでの調査により Flying Fox 鉱床から続く硫化ニッケル鉱化が確認されている。

出典) Quarterly Activity Report for the period ending 31 March 2007

9) Lihir Gold Limited

(1) 財務状況

(単位：百万 US\$)

百万 US\$	2005 6 月末半期	2005 12 月末半期	2006 6 月末半期	2006 12 月末半期	コメント
収入	68.8	156.1	149.1	161.3	<ul style="list-style-type: none"> ・収入は、対前年度同期 3.3%、対前四半期 8.2%増加。 ・税引き後利益は、対前年度同期 0.98%減少、対前四半期 31.2%増加。 ・収入増加の主な要因は、金価格高騰(\$469/oz (2005)から\$596/oz (2006))と生産量の増加。
税引き後利益	▲ 20.8	30.6	23.1	30.3	
探鉱費	4.1	1.9	3.1	2.8	

出典) Fourth Quarter Production Report and Preliminary Annual Financial Results, 30 January 2007

(2) 生産状況

鉱種	2006 1/四	2006 2/四	2006 3/四	2006 4/四	2007 1/四	コメント
金 (千 oz)	184	113	127	226	193	<ul style="list-style-type: none"> ・生産量は、対前年度同期 5%増加、対前期 15%減少。前期に次ぐ同社 2 番目の記録的な生産量となった。年間採掘量 60 百万 t に達する見込み。 ・金品位は、対前年度同期 4%減少、対前期 3%増加。 ・現金コストは、対前年度同期 5%増加、対前期 20%増加。操業は順調。
金品位 (g/t)	6.31	4.02	4.16	5.92	6.08	
コスト(US\$/oz)*	276	372	361	241	290	

* Total Cash Cost

出典) First Quarter Production Report and Preliminary Annual Financial Results, 12 April 2007
Fourth Quarter Production Report and Preliminary Annual Financial Results, 30 January 2007

(3) 探鉱・開発状況

(開発)

- ・ Lihir 鉱山拡張(生産能力 1 百万 oz/年以上)の F/S 調査開始、2008 年初旬に完了見込み。
- ・ Lihir 浮遊選鉱施設拡張工事(80-83 万 oz/年)は、2007 年 3 月は作動開始。
- ・ Lihir 地熱発電設備拡張(30MW から 50MW へ、タービン 2 基、小規模発電機も加えて 56MW)は 2007 年 2 月に試運転開始。これにより年間支出を 2007 年は 40 百万 US\$(前年は 25 百万 US\$)節約できる見込み。
- ・ Ballarat 鉱山開発は順調に進捗。894m 掘進、185m の換気孔が完成。

(探鉱等)

- ・ Ballarat 鉱山では、金が肉眼で確認できた Woah Hwap 斜坑付近と Blue Whale 断層の構造の把握と地質モデルを実証するためのボーリングを継続中。

(その他)

- ・ 2007 年 3、Ballarat Goldfields NL 社(本社ビクトリア州)との合併を完了。

出典) First Quarter Production Report and Preliminary Annual Financial Results, 12 April 2007

10) Minara Resources Limited

(1) 財務状況

(単位：百万 A\$)

	2005 6 月末半期	2005 12 月末半期	2006 6 月末半期	2006*1 12 月末半期	コメント
収入	183.9	177.5	268.5	483.4	<ul style="list-style-type: none"> ・収入は、対前年度同期 172.3%増加、対前期 80.0%増加。 ・税引き後利益は、対前四半期 136.3%増加。 ・収入増加の主な要因は、Murrin Murrin 鉱山の操業状態が回復したこととニッケル・コバルトの需要が堅調なこと。
税引き後利益	16.5	26.4	100.7	238.0	

*1 2006 年 12 月末までの 12 か月分から、2006 年 6 月末までの 6 か月分を差引いた数値

出典) Full Year Report 2006, 1Mrch 2007
Half Year Results, 24 August 2006

(2) 生産状況

鉱種	2006 1/四	2006 2/四	2006 3/四	2006 4/四	2007 1/四	コメント
ニッケル (t)	4,381	4,055	5,521	4,957	4,374	<ul style="list-style-type: none"> ・Murrin Murrin ニッケル鉱山(権益 60%)の生産は順調、ニッケル 7,291 t(100%ベース)、コバルト 511 t(同)。 ・電気系統のトラブルで計 8 日間の生産障害あり。 ・計画済みの硫酸プラントのメンテナンスを実施、次期も継続。 ・硫酸回収系設備導入 ・採掘は順調で、鉱石処理量 829,770 t・品位 Ni 1.33% ・Co 0.099%。
コバルト (t)	299	304	285	370	307	

出典) Quarterly Report 31 March 2007, 5 April 2007
Active Report for the Period ended 31 December 2006, 12 January 2007

(3) 探鉱・開発状況

(開発)

- ・ ヒープリーチング・プラントの建設は順調。鉱石 75,000t のリーチング開始。最初のニッケル回収は 2007 年 7 月/8 月頃を予定。

(探鉱)

- ・ Irwin Hills-Coglia Well JV(西オーストラリア州、Murrin Murrin JV 権益 60%)は、パイロット・プラントでの冶金試験を 2007 年 3 月から開始、継続中。硫化ニッケル鉱床を対象として 2ヶ所で実施したボーリング孔での TEM のフォローアップ調査を計画。
- ・ Bardoc Nickel JV(西オーストラリア州、権益 51%)は、Western Zone 鉱化地区での IP 調査実施、結果待ち。
- ・ Gryphon Minerals Ltd と Mt Rankin/Collurabbie JV(西オーストラリア州、権益 70%取得中)を締結。2 年間で探鉱費 5.5 百万 A\$を支出し、ニッケルに関して権益 70%をその他鉱種については 60%を取得する予定。

出典) Quarterly Report 31 March 2007, 5 April 2007

11) Mincor Resources NL

(1) 財務状況

(百万 A\$)

	2005 *1 6 月末半期	2005 12 月末半期	2006 *2 6 月末半期	2006 12 月末半期	コメント
収入	66.1	79.7	95.6	147.1	・記録的なニッケル生産と価格の高騰から、税引き後利益は、対前年同期 271% 増加の 38.2 百万 A\$ に達した。
税引き後利益	9.6	10.0	19.2	37.2	
探鉱費	1.8	2.5	2.5	5.5	

*1 2005 年 6 月末までの 12 か月分から、2004 年 12 月末までの 6 か月分を差引いた数値

*2 2006 年 6 月末までの 12 か月分から、2005 年 12 月末までの 6 か月分を差引いた数値

出典) Half Year 2005/05 31December Financial Result 2006, 20 February 2007

Half Year 2005/05 31December Financial Result 2005, 22 February 2007

Half Year 2005/05 31December Financial Result 2004, 17 February 2007

Annual Report 2005/06

Annual Report 2004/05

Annual Report 2003/04

(2) 生産状況

(鉱山生産は金属純分)

鉱種	2006 1/四	2006 2/四	2006 3/四	2006 4/四	2007 1/四	コメント
ニッケル(t)	2,941.5	3,799.9	3,612.3	3,275.5	2,775.5	・精鉱中ニッケル金属純分量では対前年同期 5.6% 減少、対前期 15.2% 減少の 2,775t。鉱石中ニッケル金属純分量で 3,259t を生産。 ・2006/07 年度の年間生産量は、鉱石中ニッケル金属純分量で 12,500-13,500t、鉱石中ニッケル金属純分量で 14,500-15,500t を予定。
銅(t)	278.4	324.0	321.7	312.4	239.6	
コバルト(t)	59.1	72.2	69.0	66.8	55.0	

出典) Quarterly Report for the Period ended 31March 2007

(3) 探鉱・開発状況

(開発)

- ・ North Dordie 露天採掘ピット (Kambalda 地域) は、2003 年に実施した F/S 調査の見直しが完了。BHP Billiton 社への鉱石供給交渉がまとまる。鉱石 60,000t・ニッケル 1.2%・精鉱中含有金属純分量 500t を 4 か月間採掘する計画。
- ・ Carnilya Hill (Kambalda 地域、Mincor 権益 70%) は、資源量を見直し、389,000t・ニッケル 4.6%・精鉱中含有金属純分量 17,900t。
- ・ McMahon/Durkin (Kambalda 地域) は、開発にむけた見直し調査を実施。両鉱床とも 4 年以上、精鉱中含有金属純分量年間 2,500t 生産を計画。

(探鉱)

- ・ Mariners No. 9 坑内ボーリング (Kambalda 地域) は、坑内インフラの関係からボーリング調査に遅れが生じたが、広範な鉱化を確認 (幅 0.8m・Ni 4.5% など)。
- ・ North Miitel 坑内ボーリング (Kambalda 地域) は、North Miitel 鉱化の延長を確認 (幅 6.3m・Ni 4.3% など)。
- ・ Rav 8 ニッケルプロジェクト (Kambalda 地域) は、Tectonic Resources NL 社と権益譲渡に関する交渉が合意に達した。SUQUID TEM、ボーリングを計画。

- ・ Redross (Kambalda 地域) は、ボーリング 3 孔終了、No. 1 鉱体の鉱化延長を確認。坑内ボーリングを計画中。
- ・ Tottenham 銅プロジェクト(ニューサウスウェルズ州) は、地表付近の酸化鉱化帯を評価するためボーリング調査(3,000m)を開始。
- ・ Gascoy タングステン・プロジェクトは、2006 年 12 月に実施した RC ボーリング(51 孔、1,327m)の結果を得る。スカルンに胚胎する灰重石鉱化 3 ヶ所を特定。
- ・ Lake Cowan 金プロジェクトは、2006 年 12 月に実施したボーリング(5,993m)の結果を得た。金品位 1g/t 以上は得られなかったが、何ヶ所かでフォローアップ調査の必要あり。
- ・ New Area プロジェクトは、西タスマニア州の花崗岩の貫入が多数ある Heazlewood 地域で鉱区 20km² を取得、Avebury 鉱床(鉱山)と同種のスカルンに伴うニッケル鉱床が対象。
- ・ Tipperary 亜鉛プロジェクト(アイルランド)は、ボーリング調査からはドロマイト(石灰岩を伴う)に胚胎する Irish 型亜鉛鉱化を確認。更にボーリング調査を予定。

12) Newcrest Mining Limited

(1) 財務状況

(単位：百万 A\$)

	2005 *1 6 月末半期	2005 12 月末半期	2006 *2 6 月末半期	2006 12 月末半期	コメント
収入	589.0	696.0	708.1	768.4	<ul style="list-style-type: none"> ・収入は、対前年度同期 10.4%増加、対前期 8.5%増加。 ・税引き後利益は、対前年度同期 50.1%減少、対前四半期 86.5%減少。 ・税引き後利益減少の主な原因は、金・銅価格高騰分を銅鉱石採掘量の減少と鉱山及びその関係コストの上昇が相殺したこと。
税引き後利益	84.5	74.2	275.3	37.0	
探鉱支出	18.4	25.1	16.6	19.7	

*1 2005 年 6 月末までの 12 か月分から、2004 年 12 月末までの 6 か月分を差引いた数値

*2 2006 年 6 月末までの 12 か月分から、2005 年 12 月末までの 6 か月分を差引いた数値

出典) Half Yearly Financial Report 31 December 2006, 27 February 2007

(2) 生産状況

鉱種	2006 1/四	2006 2/四	2006 3/四	2006 4/四	2007 1/四	コメント
金 (oz)	365,382	401,742	379,701	384,285	390,096	<ul style="list-style-type: none"> ・Cadia Hill 鉱山(ニューサウスウェルズ州)は、品位と回収率の改善により、金が対前期 53.6%増加。銅が同 24.9%増加。 ・Ridgeway 鉱山(ニューサウスウェルズ州)は、品位と回収率の改善により、金が対前期 1.8%増加。銅が同 0.95%増加。 ・Telfer 鉱山(西オーストラリア州)は、3 月のサイクロンの影響で生産量は減少。露天採掘では金が対前期 13.2%減少。銅が同 9.9%減少、坑内採掘では金が対前期 17.1%減少。銅が同 12.3%減少。 ・Goswong 鉱山(権益 82.5%、インドネシア)は、低品位貯鉱の割合が増え対前期 5.8%減少。 ・Cracow 鉱山(権益 70%、クィーンズランド州)は、品位と回収率の改善により対前期 23.6%増加。
金品位(g/t)	1.23	1.41	1.24	1.28	1.34	
コスト(A\$/oz)*	210	245	219	384	283	
銅 (t)	23,219	23,835	23,101	22,023	21,628	
銅品位(%)	0.28	0.27	0.26	0.25	0.25	

* Group Cash Cost

出典) Quarterly Report for the three months ending 31 March 2007, 30 April 2007

(3) 探鉱・開発状況

(開発)

- ・ Cadia East 鉱山の斜坑開発は 668m(前期 657m)掘進し、2005 年 5 月の開発開始から 3.2km に達した(総延長 6.7km で 2008 年末完成予定)。鉱体へのアクセスに必要な坑道掘削総延長は約 6,700m、2008 年 12 月末四半期に完了予定。露天採掘に向けた資源量見直し作業実施、プレ F/S 調査は 2007 年上半期に完了する見込み。
- ・ Cadia East 鉱床と Cadia Hill 露天採掘ピットの間で地表からのボーリング実施、地下 500m で新たな鉱化捕捉。露天採掘ピットのプレ F/S 調査は、近日中に完了する見込み。
- ・ Ridgeway Deep 鉱山開発は、斜坑を現状のサブレベルケーシングから 54m 掘進。これまでに 698m

を掘進、総延長は 2,150m の予定。

- ・ Gosowong District JV は、K2 地区と KLink 地区を既存の Kencana 鉱床の延長として開発予定。プレ F/S 調査と概念検討を行っている。

(探鉱)

- ・ Gosowong District JV は、高品位鉱化帯を捉えるため Tobobo River 地区と近接する Kencana 鉱床に集中して探鉱中。
- ・ Cracow JV は、Kilkenny 鉱化に集中して深部ボーリング等探鉱中。

出典) Quarterly Report for the three months ending 31 March 2007, 30 April 2007

13) Oxiana Limited

(1) 財務状況

(単位：千 A\$)

	2005 6 月末半期	2005 *1 12 月末半期	2006 6 月末半期	2006 *2 12 月末半期	コメント
収入	88,123	344,966	685,204	799,450	・収入は、対前年度同期 807.2%、対前半期 16.7%増加。 ・税引き後利益は、対前年度同期 1492.3%、対前半期 10.1%増加。 ・順調な操業状況と金属価格(銅、亜鉛、金)により、好業績。
税引き後利益	18,209	63,014	263,232	289,934	
探鉱支出	4,264	6,486	10,167	10,655	

*1 2005 年 12 月末までの 12 か月分から、2005 年 6 月末までの 6 か月分を差引いた数値

*2 2006 年 12 月末までの 12 か月分から、2006 年 6 月末までの 6 か月分を差引いた数値

出典) Financial results Summary for the twelve months ended 31 December 2006, 22 February 2007

Financial results Summary for the twelve months ended 31 December 2006 – Presentation, 22 February 2007

Financial results Summary for the six months ended 30 September 2006, 25 August 2006

(2) 生産状況

鉱種	2006 1/四	2006 2/四	2006 3/四	2006 4/四	2007 1/四	コメント
金 (oz)	62,683	47,674	58,829	56,456	46,398	・Sepon Gold 鉱山(ラオス)は、品位改善を採掘量減少が相殺して、対前期 17.7%減少、33,647oz。現金コストは 349US\$/oz。
銅 (t)	17,008	17,395	20,073	17,181	21,124	・Sepon Copper 鉱山(ラオス)は、加圧酸化系統のトラブルで計画外のメンテナンス等の影響で、対前期 12.8%減少。 ・Golden Grove 鉱山(西オーストラリア州)生産は好調、対前期 453.2%増加。
亜鉛(t)	39,455	31,300	21,482	46,605	24,514	・Golden Grove 鉱山は、専ら銅を処理したことから亜鉛生産は、対前期 47.4%減少。
銀 (oz)	973,665	498,499	580,925	1,092,364	571,692	・Golden Grove 鉱山は、専ら銅を処理したことから銀生産は、対前期 47.7%減少。

出典) Quarterly report for the three months ending 31 March 2007, 19 April 2007

Quarterly report for the three months ending 31 December 2006, 29 January 2007

(3) 探鉱・開発状況

(開発)

- ・ Sepon Copper 鉱山は、拡張のための F/S 調査を継続中。銅生産能力増強のために 2 基目のオーソクレーブ設置を次期に予定。拡張完了は 2008 年第 4 四半期を予定。
- ・ Sepon Gold 鉱山は、Discovery West・Nalou・Discovery East/Main の初生金の資源量モデル検討。予察的な採掘計画を F/S の一部として実施、2007 年末には完了予定。パイロット・プラントの結果から浮遊選鉱/加圧酸化プロセスで回収率 77%を達成。
- ・ Prominent Hill 鉱山開発は、露天採掘ピットの予備的な剥土 (85,000m²、深さ 35m) を実施中。処理プラントは地ならしを開始、基礎コンクリートを 2007 年 5 月に打設予定。2008 年初めには鉱石採掘、2008 年第 3 四半期には商業生産開始の予定。

(探鉱)

- ・ Sepon Copper 鉱山では、7-10 台のボーリング機で採掘現場の東西方向の探鉱を実施。資源量確認のボーリングを Thengkham South 地区で実施。Thengkham North 地区では高品位鉱化を捕捉(幅 9.5m・Cu6.7%、幅 8.2m・Cu 5.8%、幅 10.9m・Cu7.4%など)。鉱山の南 7km の Nam Pa 鉱徴地で地化学銅異常にボーリング開始。
- ・ Sepon Gold 鉱山では、Nalou 露天採掘ピット周辺のボーリングで酸化金鉱化を捕捉(幅 16m・Au 3.6g/t、幅 10m・Au 4.5g/t など)、初生金鉱化ポテンシャルも期待。Discovery と Luang 鉱床との間で走向方向 400m 以上にわたり高品位鉱化捕捉(幅 7.7m・12.9g/t など)。Nalou と Namkoko West との間で初生金鉱化(幅 17m・6.2g/t など)を確認。Thengkham、Houay Yeng 地区で酸化金鉱化を捕捉。
- ・ Golden Grove 鉱山では、Xantho 鉱床、Scuddles 鉱床でボーリングを実施、良好な結果を得る(Xantho 鉱床：24m・Zn 24.9%、Scuddles 鉱床：8.2m・Zn 18.7%)。
- ・ Prominent Hill 鉱床では、鉱量獲得のためのボーリングを実施中。高品位銅・金鉱化、Prominent Hill せん断帯下盤に低品位金鉱化を確認。IOCG タイプの鉱化の評価を行い、深部と西側への延長を検討。深度方向へ 400m 以上延長している可能性あり。
- ・ 広域的な探査として、Minotaur 社-JV(事業提携)と酸化鉄銅金型鉱床(IOCG)プロジェクト形成のための物理探査、モデリングを実施中。Thomson Fold Belt(ニューサウスウェルズ州)など。
- ・ Woolgar-JV(70%取得中(クィーンズランド州)はRCボーリングを実施中(幅 4m・2.9g/t など)。
- ・ ラオスでは、Thai Golds JV(権益 75%取得中)、中国では Rexing JV(権益 80%取得中)、Henghao MOU、Shin Ha JV(権益 80%)、Phnom Chi MOI、インドネシアで Kalimantan Gold JV(権益 66.67%取得中)等を実施中。

出典) Quarterly report for the three months ending 31 March 2007, 19 April 2007

14) Perilya Limited

(1) 財務状況

(単位：百万 A\$)

	2005 *1 6 月末半期	2005 12 月末半期	2006 *2 6 月末半期		2006 12 月末半期		コメント
売上	108.7	123.4	221.4		261.4		<ul style="list-style-type: none"> ・収入は、対前年度同期 112%、対前四半期 18.1%増加。 ・税引き後利益は、対前年度同期 349%、対前四半期 51.9%増加。 ・順調な操業状況と金属価格(銅、亜鉛、金)により、好業績。
税引き後利益	▲ 5.2	16.9	50.1		76.1		
探鉱費	N.D.	N.D.	0.6	1.6	2.2	5.6	

*1 2005 年 6 月末までの 12 か月分から、2004 年 12 月末までの 6 か月分を差引いた数値

*2 2006 年 6 月末までの 12 か月分から、2005 年 12 月末までの 6 か月分を差引いた数値

出典) Interim Financial Report for the Half Year ended 31 December 2006, 14 February 2007

Quarterly report for the three months ended 31 December 2006, 30 January 2007

Quarterly report for the three months ended 30 September 2006, 24 October 2006

Quarterly report for the three months ended 30 June 2006, 18 July 2006

Quarterly report for the three months ended 31 March 2006, 27 April 2006

(2) 生産状況

鉱種	2006 1/四	2006 2/四	2006 3/四	2006 4/四	2007 1/四	コメント
亜鉛 (kt)	36.6	36.7	30.2	28	11.8	<ul style="list-style-type: none"> ・ Broken Hill 鉱山(ニューサウスウェルズ州)は、2007 年 1 月 9 日、坑内で死亡事故発生。 ・ その影響で亜鉛は対前期 57.9%減少、鉛は同 49.7%減少、銀は 51.2%減少。 ・ Daisy Milano 鉱山(西オーストラリア州)は、金探掘量 7,268oz・品位 8.8g/t。探掘作業は資本引上げのため 2007 年 3 月から停止。
鉛 (kt)	17.5	20.9	20.6	16.9	8.5	
銀 (Moz)	0.539	0.538	0.578	0.46	0.225	
金 (oz)	6,123	6,465	10,877	7,045	7,268	

出典) Quarterly report for the three months ended 31 March 2007, 18 April 2007

Quarterly report for the three months ended 31 December 2006, 30 January 2007

(3) 探鉱・開発状況

(開発)

- ・ Broken Hill 鉱山は、Southe Mine 地区の高品位鉱体からの生産量を倍増するための検討を完了。次期より追加工事を開始、探掘量年間 25 万 t を計画。
- ・ Potosi 鉱床開発(Broken Hill 鉱山地区)は、2 月 20 日、Ian Macdonald 州一次産業エネルギー・鉱物資源大臣を招いて公式に完成。地上施設の整備と換気用の立孔が 2007 年 4 月に完成。資源量拡大のためのボーリング調査を開始(現時点での資源量は 1.6 百万)。
- ・ Flinders 鉱山(南オーストラリア州)は、第 1 フェーズでは 12 か月間の探掘とその場での鉱石破碎を計画。高品位構成はそのまま Port Pirie を経由してアジア向けに輸出される予定。年間生産量(含有金属純分)15,000t から 20,000t に増加の予定。出荷開始は 2007 年 12 月頃。

(探鉱)

- ・ North Mine Deep(Broken Hill 鉱山地区)のプレ F/S 調査を継続中、5 月に完了見込み。
- ・ North Mine zinc loads、Imperial Ridge、Potosi Extensions でボーリング実施、Round Hill では深さ 1,500m 付近の鉱化をターゲットにボーリングを計画。Henry George 鉱徴地(Southern

Operationの南10kmPinnacles)ではでのボーリング実施(幅8m・Zn 11.3%・Pb 2.5%・Ag 40g/t)。

- ・ Mt Oxide 銅鉱床プロジェクト(クィーンズランド州)は、2006年に終了した9孔のボーリング結果から資源量が12.2%増加して銅112,200t(含有金属純分)。資源量12.2%の増加は品位が3.7%向上、鉱石量が8.1%増加。

出典) Quarterly report for the three months ended 31 March 2007, 18 April 2007

15) Sally Malay Mining Limited

(1) 財務状況

(百万 A\$)

	2005 6 月末半期	2005 12 月末半期	2006 6 月末半期	2006 12 月末半期	コメント
収入	N.D.	101.2	141.1	266.4	・Sally Malay 鉱山の堅調な生産に加え、Lanfranchi プロジェクトの効果もあり、税引き後利益は対前年同期 294%増加、対前期 330%増加。
税引き後利益	N.D.	7.6	8.3	32.7	
探鉱費	N.D.	0.75	N.D.	0.55	

出典) For the Half-Year ended 31 December 2006
For the Half-Year ended 31 December 2005

(2) 生産状況

(鉱山生産は金属純分)

鉱種	2006 1/四	2006 2/四	2006 3/四	2006 4/四	2007 1/四	コメント
ニッケル (dmt)*1	1,535	1,584	1,920	2,330	1,810	・Sally Malay 鉱山の探鉱量は、2245 レベルでの探鉱が 3 月初旬に終了し、斜坑建設に注力したため、対前年同期 8%増加、対前期 13%減少の 172,874t。 ・Lanfranchi JV の探鉱量(JV100%ベース)は、対前年同期 68%増加、対前期 15%減少の 52,030t。
	566	909	9,542	1,099	862	
銅(dmt)*2	875	675	842	1,039	921	
コバルト(dmt)*2	60	104	102	123	101	

*1 Sally Malay 鉱山(上段)、Lanfranchi プロジェクト 75%(下段)

*2 Sally Malay 鉱山

出典) Quarterly Report for the Period ended 31March 2007
Quarterly Report for the Period ended 30 June 2006

(3) 探鉱・開発状況

(開発)

- ・ Lanfranchi JV では、Winner 斜坑建設中、2007 年 8 月完成見込み。Schmitz Extention 鉱体 (96, 803t・Ni 2.52%) は、2007 年中旬に探鉱開始。

(探鉱)

- ・ Sally Malay プロジェクトは、100-500Fault の間で資源量確認のボーリング(56 孔・10, 577m)。資源量の見直しは 2007 年 6 月末四半期を予定。
- ・ Panton PGM プロジェクト(Platinum Australia 100%、Sally Malay 50%取得中)は、バルク・サンプル(10-15t)の予察試験での結果は、鉱石平均品位 3.5g/t(Pt+Pd+Au)を下回る。
- ・ Copernicus JV(Sally Malay 60%)では、探鉱調査を露天探鉱・坑内探鉱双方を考えた F/S 調査の一部として実施。伝統的土地所有者との交渉が 6 月にはまとまる予定。
- ・ Melon Patch プロジェクト(Sally Malay 70%取得中)は、2006 年 7 月に Pathfinder Exploration Pty Ltd 社と JV 形成。同地区で Panton と同様の Ni-Cu-Co 鉱化を対象に探査開始。Hoist EM 完了、データ解析中。
- ・ Lanfranchi JV(Sally Malay 75%)では、Deacon Resource で資源量確認のためのボーリングが 2007 年 4 月に完了(7, 116m)、鉱量評価中(1.9 百万 t・ニッケル 3.04%・58, 100t、185, 000t の硫化ニッケルを含む)。

ほか

出典) Quarterly Report for the Period ended 31March 2007

16) Zinifex Limited

(1) 財務状況

(百万 A\$)

	2005 *1 6 月末半期	2005 12 月末半期	2006 *2 6 月末半期	2006 12 月末半期	コメント
収入	992.6	1,133.4	1,929.3	2,237.9	・亜鉛・鉛の世界的な在庫減少による価格の高騰から、対前年度同期、対前四半期とも大幅に増加。
税引き後利益	147.1	227.6	852.6	751.2	
探鉱費	4.1 *3	3.6	8.2	9.8	

*1 2005 年 6 月末までの 12 か月分から、2004 年 12 月末までの 6 か月分を差引いた数値

*2 2006 年 6 月末までの 12 か月分から、2005 年 12 月末までの 6 か月分を差引いた数値

*3 2005 年 6 月末までの 12 か月分の数値

出典) Financial Report for the Six months ended 31 December 2006, 22 February 2007
Annual Report 2007

(2) 生産状況

(鉱山生産は金属純分)

鉱種	2006 1/四	2006 2/四	2006 3/四	2006 4/四	2007 1/四	コメント
亜鉛 (鉱山生産)(t)	147,766	151,188	135,682	143,116	142,525	・Century 鉱山(クィーンズランド州)の亜鉛精鉱生産は、選鉱所の定期メンテナンスが 1 日伸びたため、対前年同期 3%減少、対前四半期 1%減少の 122,602t。*1 ・Rosebery 亜鉛・鉛鉱山(タスマニア州)の亜鉛精鉱生産は、低品位鉱石採掘のため、対前年同期 6%減少、対前期 6%増加の 19,923t。*1
鉛(鉱山生産)(t)	23,282	22,167	18,913	14,565	15,070	・Century 鉱山の鉛精鉱生産は、低品位鉱石の採掘のため、対前年同期 40.3%減少、対前期 12%増加の 9,777t。*2 ・Rosebery 亜鉛・鉛鉱山の鉛精鉱生産は、低品位鉱石の採掘のため、対前年同期 23%減少、対前期 10%減少の 5,293t。*2
亜鉛(金属)(t)	143,871	155,010	160,422	157,527	159,029	・Hobart 製錬所(タスマニア州)は、生産好調で前年同期 20%、前期 8%増加の 60,346t。 ・Budel 精錬所(オランダ)の生産は、電解工程の拡張が完了した効果で前年同期 2%、前期 5%増加の 58,593t。 ・Clarksville 精錬所(米国)は、前年同期 7%、前期 28%増加の 30,469t。 ・Port Pirie 精錬所(南オーストラリア州)は、前年同期 10%増加の 9,622t。
鉛(金属)(t)	64,543	67,547	28,233	63,402	51,702	・Port Pirie 製錬所は、2 月に計画外の 8 日間の閉鎖があったため対前年同期 21%減少、対前期 20%減少。
合計	379,462	396,612	343,250	378,609	368,326	-

*1 亜鉛精鉱中の亜鉛金属純分量

*2 鉛精鉱中の鉛金属純分量

出典) Zinifex Limited Quarterly Review Quarter ended 31 March 2007, 26 April 2007

(3) 探鉱・開発状況

(開発)

- ・ Century 亜鉛・鉛鉱山では、亜鉛金属回収率を 2%以上向上させる PERcent プロジェクトの設計とエンジニアリングが最終段階。
- ・ Rosebery 亜鉛・鉛鉱山では、生産能力拡張のため鉱山上部での新しい鉱山生産エリアの開発を含む鉱山生産の増強に注力
- ・ Hobart 製錬所は、遊水池 (12, 000m³) 工事が最終段階。大雨の際の製錬所敷地からの漏水を抑制する効果あり。
- ・ Budel 精錬所は、焙焼装置交換のため 10 日間のメンテナンスを 6 月に予定。

(探鉱 鉱山周辺)

- ・ Century 亜鉛・鉛鉱山では、Page Creek 鉱化の脈状部分の規模と品位を明らかにするためのボーリングを継続中。Century 亜鉛・鉛鉱山地域では、Burenda (Reversleigh JV) で乾期に実施するボーリング地点を土壌地化学探査異常 (Zn、Pb)、重力探査などから検討中。
- ・ Rosebery 亜鉛・鉛鉱山では、探鉱費 19 百万 A\$ をかけて 2018 年まで鉱山操業を伸ばすための調査を実施中。今期は総延長 4, 452m のボーリングを実施。Rosebery 亜鉛・鉛鉱山地域では、Hellyer 鉱山の下盤タイプの鉱化変質を捕捉 (Bass Metals 社 JV)。

(探鉱 海外等)

- ・ 中国では、ベースメタル探鉱プロジェクト Asia Now 社と提携、有望と思われる 5 省の地質・鉱床のレビューを実施中。
- ・ スウェーデンでは、旧 Fauln 鉱山地域 (Bergslagen) で 2 鉱区が許可される。既存データ解析実施後、夏には探査を開始する予定。
- ・ メキシコ・Corazonada 地域で、地質図作成・資料採取を次期から開始予定。
- ・ チュニジアでは、層準規制型の炭酸塩岩中に胚胎する亜鉛・鉛・銅・貴金属鉱床を対象にした探査を、同国北西部の Fermana-Nefza で鉱区 (4, 000km²) 取得して実施中。Bou Aouane、El Haouaria、Bou Aouane 地区での既知鉱床からの延長を土壌地化学データから 4 区画を特定。Sidi Driss、Gantra El Haichaichi で IP 調査を継続、9 月にはボーリングを実施する予定。Haffouz での鉱区拡張 (42, 800ha) が許可され、Albidon Ltd 社とオプション契約を締結、同鉱区内の Jebel Trozza、Jebel Touila で IP 探査を計画。

出典) Zinifex Limited Quarterly Review Quarter ended 31 March 2007, 26 April 2007

2. 中国企業

銅地金生産企業

企業名	2006												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1-12月計
江西銅業集团公司 (Jiangxi Copper Co Ltd.)	34,667	39,997	36,425	40,399	38,780	38,624	37,120	37,576	32,793	34,393	36,589	36,078	443,441
銅陵有色金属(集团)公司 (Tongling Nonferrous Metals Group) Inc.)	43,425	40,847	53,273	46,540	47,015	49,090	39,695	46,812	45,468	46,387	46,069	43,905	548,526
雲南銅業(集团)有限公司 (Yunnan Copper Industrial Corp. Ltd.)	19,823	39,865	19,401	25,499	32,695	32,095	32,639	32,924	32,472	33,413	31,354	27,920	360,100
大冶有色金属公司 (Daye Nonferrous Metals Co.)	18,416	15,693	16,655	16,689	17,431	17,865	17,751	17,386	16,881	18,033	16,259	15,499	204,558
金川集团有限公司 (Jinchuan Group Ltd.)	15,500	16,500	15,000	17,000	16,500	17,000	16,500	17,000	16,500	17,000	17,000	23,879	147,500

(注) 1-12月計は、安泰科の12月の資料を基にしているため、各月の合計とは異なる場合がある。

企業名	2007				1-3月期
	1月	2月	3月	1-3月計(注)	07/06
江西銅業集团公司 (Jiangxi Copper Co Ltd.)	37,100	40,300	36,800	114,200	+2.80%
銅陵有色金属(集团)公司 (Tongling Nonferrous Metals Group) Inc.)	46,300	41,400	43,700	131,400	-4.47%
雲南銅業(集团)有限公司 (Yunnan Copper Industrial Corp. Ltd.)	27,700	29,800	32,900	90,400	+14.30%
大冶有色金属公司 (Daye Nonferrous Metals Co.)	12,800	16,400	16,400	45,600	-10.17%
金川集团有限公司 (Jinchuan Group Ltd.)	20,500	21,400	21,500	63,400	+34.89%

出典：安泰科

亜鉛地金生産企業

※亜鉛については国家統計局の企業別データが今年から未公表のためデータ未入手

VI. 主要国、主要鉱山の生産統計

1. 主要国の生産統計

(1)-1 チリの銅生産量

(単位：t、金属純分)

	2006												年計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
銅生産量	418,929	390,125	440,412	442,641	458,521	453,046	458,214	411,847	392,130	490,348	477,054	541,333	5,374,600
電解銅	188,827	169,181	190,127	179,896	187,554	182,290	191,792	183,747	182,735	202,663	193,288	213,500	2,265,600
精鉱	237,534	213,367	231,789	228,853	232,979	240,343	231,499	195,074	175,799	251,562	244,975	273,226	2,757,000
その他	4,638	7,577	18,496	21,822	37,988	30,413	34,293	33,026	33,596	36,123	38,791	55,237	352,000

※年計は、チリ統計局発表の数字を入れているので、合計額の数字と異なる場合がある。

	2006			1月～3月計
	1月	2月	3月	
銅生産量	437,453	390,870	442,410	1,339,642
電解銅	205,389	191,594	215,661	622,672
精鉱	223,636	195,296	253,651	673,171
その他	8,428	3,980	32,794	43,799

出典：チリ統計局

※1月～3月計は、チリ統計局発表の数字を入れているので、合計額の数字と異なる。

(1)-2 チリの銅輸出額

(単位：百万ドル)

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計
1996	479.9	512.0	524.0	512.4	585.6	537.5	579.9	415.1	427.3	479.9	469.6	505.4	6,028.6
1997	618.2	611.6	658.5	615.6	551.9	591.0	505.2	473.6	512.0	578.2	470.2	460.6	6,646.6
1998	381.8	454.7	516.0	408.9	438.6	470.3	474.1	432.1	408.0	378.8	409.0	425.1	5,197.4
1999	433.7	400.3	422.4	530.8	506.0	531.3	453.6	477.8	594.2	544.6	548.1	583.6	6,026.4
2000	577.7	527.1	711.0	437.5	723.0	545.7	678.1	691.5	552.1	701.4	545.5	594.1	7,284.5
2001	672.4	564.6	530.7	593.6	576.9	507.1	495.0	628.6	433.9	571.5	484.8	477.6	6,536.5
2002	583.7	500.0	511.8	549.5	518.4	655.5	471.5	462.9	398.9	609.3	567.6	494.1	6,323.2
2003	702.7	559.2	510.5	594.4	574.0	630.5	639.1	675.1	606.7	788.8	763.8	770.5	7,815.5
2004	835.8	897.3	1,398.6	1,224.9	1,387.6	1,007.3	1,213.1	1,384.1	1,003.1	1,472.1	1,034.7	1,624.1	14,482.6
2005	1,251.1	1,027.8	1,689.5	1,375.9	1,263.5	1,648.8	1,435.8	1,660.6	1,654.1	1,592.6	1,865.5	1,840.4	18,305.6
2006	1,947.3	2,016.9	3,382.8	2,478.4	3,435.6	2,857.2	3,331.0	2,890.9	3,115.0	2,940.0	2,790.0	2,150.0	33,340.0
2007	3,041.3	2,260.0	2,730.0										8,031.3

出典：チリ中央銀行

(1)-3 チリのモリブデン輸出額

(単位：百万ドル)

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計
1996	26.0	20.1	16.5	20.7	16.1	18.9	20.8	17.3	17.8	16.5	16.8	16.1	223.6
1997	18.7	16.0	16.8	17.1	15.5	19.8	21.7	23.2	18.0	24.0	21.6	19.7	232.3
1998	17.7	18.5	22.3	13.9	18.7	19.0	15.2	16.4	16.5	19.2	11.3	14.7	203.5
1999	17.5	11.8	17.9	12.1	14.6	10.6	16.8	11.4	13.6	14.5	14.2	12.1	167.2
2000	16.6	14.0	16.7	11.4	14.5	11.8	15.6	18.2	12.2	18.1	14.9	14.8	178.7
2001	18.1	7.6	13.5	12.9	15.2	15.9	14.6	19.4	8.8	21.0	14.1	13.5	174.6
2002	18.5	12.6	20.3	19.1	18.3	23.6	26.1	25.3	23.0	27.1	17.0	14.8	245.8
2003	26.1	15.2	24.9	26.8	21.8	24.7	23.8	23.8	33.7	47.6	45.0	39.6	352.8
2004	69.1	52.7	73.9	63.8	102.7	89.5	153.9	135.3	152.2	152.2	220.4	170.6	1,436.2
2005	221.2	191.0	311.6	310.1	274.0	354.5	353.4	255.6	218.6	270.7	273.6	238.7	3,272.9
2006	284.1	116.8	350.1	192.7	202.3	203.6	240.2	282.1	208.8	258.0	209.2	222.7	2,770.6
2007	259.1	250.0	450.0										959.1

出典：チリ中央銀行

(2) ペルーの鉱産物生産量

(単位：t)

鉱産物	2006年 第1四半期	2006年 第2四半期	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期	前年 同期比
銅	257,025	254,284	255,794	281,613	255,663	+4.12%
金	52,382	53,07	49,939	46,698	52,965	-20.47%
亜鉛	269,948	297,320	312,567	318,838	273,756	29.50%
鉛	70,144	76,243	81,349	84,173	73,963	+10.64%
銀	799,530	861,19	856,07	921,31	806,435	+2.48%
錫	10,047	10,018	8,661	9,327	10,046	-4.10%
モリブデン	4,481	3,922	4,166	4,640	4,482	-36.59%

出典：ペルーエネルギー鉱山省

(3) ボリビアの鉱産物生産量

(単位：t)

鉱産物	2005年 上半期	2005年 下半期	2006年 上半期	2006年 下半期	前年 同期比
亜鉛	75,676	82,906	85,365	87,382	+5.4%
錫	8,843	9,590	9,244	8,495	-11.4%
銀	202	217	253	219	+0.1%

※半期ごとのデータは発表のため、2006年第1四半期のデータは無し。

出典：ボリビア鉱業冶金省

(4) メキシコの鉱産物生産量

鉱種	2006年												年計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
金(kg)	2,349	2,365	2,710	1,788	1,832	3,591	3,314	3,656	3,868	2,957	3,318	4,150	35,898
銀(kg)	198,292	206,721	228,354	194,536	226,098	180,731	258,664	169,576	219,551	144,095	180,712	205,779	2,413,109
銅(t)	30,897	29,499	33,160	27,882	28,317	19,277	19,600	19,957	25,169	29,718	33,549	30,517	327,542
鉛(t)	10,120	12,119	8,611	10,652	10,428	12,936	12,551	7,748	9,396	8,730	7,514	9,640	120,445
亜鉛(t)	31,410	38,801	34,757	37,983	36,207	36,650	40,930	37,204	36,468	33,548	31,615	36,758	432,331

鉱種	2007年/p			
	1月	2月	3月	1~3月計
金(kg)	3,853	2,274	3,495	9,622
銀(kg)	209,198	153,594	206,620	569,412
銅(t)	30,712	31,210	34,656	96,578
鉛(t)	8,804	8,156	10,200	27,160
亜鉛(t)	36,875	37,831	35,904	110,610

出典：メキシコ国立統計地理情報院 注)p：速報値

(5)-1 オーストラリアの生産量

鉱種	2006 第1四半期	2006 第2四半期	2006 第3四半期	2006 第4四半期	2007 第1四半期	前期比(%)	前年同期比(%)
銅(千t)							
ニューサウスウェルズ州	52	53	52	53	46	-13.2%	-11.5%
クィーンズランド州	90	96	82	85	95	11.8%	5.6%
西オーストラリア州	21	22	31	24	27	12.5%	28.6%
南オーストラリア州	47	55	42	40	54	35.0%	14.9%
タスマニア州	8	8	8	7	7	0.0%	-12.5%
オーストラリア全体	218	233	215	209	228	9.1%	4.6%
亜鉛(千t)							
ニューサウスウェルズ州	42	44	42	45	27	-40.0%	-35.7%
クィーンズランド州	205	212	203	204	212	3.9%	3.4%
西オーストラリア州	40	32	22	48	25	-47.9%	-37.5%
タスマニア州	23	23	22	20	25	25.0%	8.7%
北部準州	36	30	34	36	35	-2.8%	-2.8%
オーストラリア全体	346	340	324	352	324	-7.9%	-6.4%
鉛(千t)							
ニューサウスウェルズ州	21	26	28	27	16	-40.7%	-23.8%
クィーンズランド州	124	115	106	85	112	31.8%	-9.7%
西オーストラリア州	19	17	19	24	23	-4.2%	21.0%
タスマニア州	8	6	7	7	7	0.0%	-12.5%
北部準州	8	6	7	9	8	-11.1%	0.0%
オーストラリア全体	180	169	167	152	166	9.2%	-7.8%
ニッケル(千t)							
西オーストラリア州	42	45	47	51	48	-5.9%	14.3%
オーストラリア全体	42	45	47	50	48	-4.0%	14.3%
金(t)							
ニューサウスウェルズ州	6	7	7	8	9	12.5%	50.0%
ビクトリア州	2	1	1	2	2	0.0%	0.0%
クィーンズランド州	5	5	6	5	5	0.0%	0.0%
西オーストラリア州	40	41	41	43	38	-11.6%	-5.0%
タスマニア州	2	1	1	1	1	0.0%	-50.0%
南オーストラリア州	2	2	2	1	1	0.0%	-50.0%
北部準州	3	3	3	4	4	0.0%	33.3%
オーストラリア全体	60	60	62	65	61	-6.2%	1.7%
ウラン(t)							
南オーストラリア州	928	887	868	893	935	4.7%	0.8%
北部準州	1,180	505	935	1,409	853	-39.5%	-27.7%
オーストラリア全体	2,108	1,392	1,804	2,302	1,788	-22.3%	-15.2%
ボーキサイト(千t)							
クィーンズランド州	3,890	3,855	4,085	4,487	4,272	-4.8%	9.8%
西オーストラリア州	9,583	10,215	10,738	10,290	10,500	2.0%	9.6%
北部準州	1,163	1,300	1,162	1,538	1,743	12.3%	49.9%
オーストラリア全体	14,636	15,370	15,986	16,315	16,515	1.2%	12.8%
鉄鉱石(千t)							
西オーストラリア州	59,193	68,617	70,835	70,804	65,505	-7.5%	10.7%
南オーストラリア州	873	873	1078	1150	1189	3.4%	36.2%
タスマニア州	504	405	175	537	602	12.1%	19.4%
オーストラリア全体	60,569	69,894	72,088	72,491	67,296	-7.2%	11.1%
石炭(black coal, raw)(百万t)							
ニューサウスウェルズ州	37.69	41.50	43.50	41.05	40.00	-2.6%	6.1%
クィーンズランド州	52.95	57.86	57.44	57.00	58.00	1.8%	9.5%
西オーストラリア州	1.58	1.58	1.58	1.58	1.60	1.3%	1.3%
南オーストラリア州	0.95	0.95	0.96	0.96	0.96	0.0%	75.4%
タスマニア州	0.15	0.15	0.16	0.16	0.16	0.0%	6.7%
オーストラリア全体	93.32	102.04	103.64	100.75	100.72	0.0%	7.9%
石炭(black coal, salable)(百万t)							
ニューサウスウェルズ州	28.34	31.71	31.99	29.93	31.66	5.8%	11.7%
クィーンズランド州	40.73	43.40	45.18	42.90	43.90	2.3%	7.8%
西オーストラリア州	1.58	1.58	1.58	1.58	1.60	1.3%	1.3%
南オーストラリア州	0.95	0.95	0.96	0.96	0.96	0.0%	1.1%
タスマニア州	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.0%	0.0%
オーストラリア全体	71.74	77.78	79.86	75.52	78.27	3.6%	9.1%

出典: ABARE, Australian Mineral Statistics December Quarter 2006, 14 March 2007

(5)-2-1 オーストラリアの主要鉱山生産統計

鉱山名	2006 第1四半期		2006 第2四半期		2006 第3四半期		2006 第4四半期		2007 第1四半期		前期比	前年同期比
	品位 (%)	生産量(t)	品位 (%)	生産量(t)	品位 (%)	生産量(t)	品位 (%)	生産量(t)	品位 (%)	生産量(t)		
銅 (t)												
Mt Isa	N.D.	N.D.	3.75	100,342	N.D.	N.D.	*1	*1	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
Olympic Dam	2.10	47,100	2.10	54,600	2.10	41,600	2.21	39,700	1.96	53,600	35.0%	13.8%
Ernest Henry	N.D.	N.D.	0.96	47,804	N.D.	N.D.	年 0.89	年 84,000	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
Northparkes	1.45	19,400	1.53	20,700	1.57	21,000	1.57	22,200	1.38	17,200	-22.5%	-11.3%
Ridgeway	0.77	9,887	0.71	9,157	0.75	9,635	0.73	9,386	0.75	9,475	1.0%	-4.2%
Osborne	1.54	5,443	1.86	8,165	2.05	6,804	2.04	6,350	2.23	9,072	42.9%	66.7%
Cadia Hill	0.16	5,558	0.14	4,825	0.14	5,044	0.14	5,103	0.17	6,376	25.0%	14.7%
Nifty	N.D.	N.D.	1.46	6,503	2.75	10,900	2.70	9,452	2.50	8,168	-13.6%	N.D.
運船 (t)												
Century	11.90	126,515	12.30	130,592	11.60	114,526	11.30	124,405	11.50	122,602	-1.5%	-3.1%
Mt Isa	N.D.	N.D.	6.70	94,204	N.D.	N.D.	N.D.	年 210,000	*1	*1	N.D.	N.D.
McArthur River	N.D.	N.D.	10.90	65,741	N.D.	N.D.	4.00	年 30,000	*1	*1	N.D.	N.D.
Broken Hill North, South	8.20	36,600	7.50	36,700	6.00	30,200	6.00	28,000	4.90	11,800	-57.9%	-67.8%
Rosebery	14.80	22,581	16.40	22,300	14.00	22,292	12.10	19,767	12.40	20,857	5.5%	-7.6%
Cannington	4.00	20,885	4.10	14,926	3.50	10,426	3.10	8,806	3.60	15,095	71.4%	-27.7%
Endeavor	7.30	4,083	6.80	6,250	6.30	11,000	6.80	16,300	6.60	14,500	-11.0%	255.0%
Pillara	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
Broken Hill	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
鉛 (t)												
Cannington	9.80	68,754	10.90	55,507	10.70	48,977	8.80	36,454	10.50	62,974	72.8%	-8.4%
Mt Isa *1	N.D.	N.D.	4.10	61,194	N.D.	N.D.	*1	*1	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
Broken Hill North, South	4.30	17,500	4.50	20,900	4.20	20,600	3.90	16,900	3.50	8,500	-49.7%	-51.4%
Century	2.10	16,376	1.90	17,039	1.40	12,396	1.10	8,706	1.10	9,777	12.3%	-40.3%
McArthur River	N.D.	N.D.	3.90	13,827	N.D.	N.D.	年 4	年 30,000	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
Endeavor	3.60	1,800	4.00	3,500	3.70	5,980	4.00	9,080	3.30	6,900	-24.0%	283.3%
Rosebery	5.40	6,906	5.80	5,128	4.60	6,517	4.10	5,859	3.80	5,293	-9.7%	-23.4%
Broken Hill	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
Pillara	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
ニッケル (t)												
Nickel West	N.D.	20,300	N.D.	24,500	N.D.	24,500		28,000	N.D.	25,000	-10.7%	23.2%
Murrin Murrin	1.27	7,302	N.D.	6,758	N.D.	9,202	1.36	8,262	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
Leinster	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	*2	*2	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
Cosmos	5.16	2,718	5.84	3,331	4.55	2,361	5.59	3,027	2.79	1,709	-43.5%	-37.1%
Mt Keith	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	*2	*2	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
Kambalda	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	*2	*2	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
金 (Oz)												
Super Pit	2.16	176,000	2.23	176,200	2.19	159,400	1.95	158,000	1.89	148,000	-6.3%	-15.9%
St Ives	2.50	134,262	2.20	116,450	2.30	123,362	2.20	124,600	2.10	119,400	-4.2%	-11.1%
Tanami Newmont	4.87	108,000	4.01	90,500	5.14	103,000	5.73	129,200	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
Ridgeway	2.21	83,030	2.50	98,334	2.14	83,857	1.85	73,352	1.97	74,637	1.8%	-10.1%
Granny Smith	3.83	91,000	0.18	92,000	0.09	63,000	2.78	66,000	2.26	48,000	-27.3%	-47.3%
Cadia Hill	0.53	52,850	0.44	41,882	0.39	38,643	0.44	45,922	0.66	70,535	53.6%	33.5%
Plutonic	5.62	66,000	0.14	57,000	0.13	54,000	4.80	60,000	4.29	59,000	-1.7%	-10.6%
Pajingo(Vera Nancy)	9.33	31,800	8.64	34,000	11.69	50,100	14.88	61,200	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
銀 (Oz)												
Cannington	431.0	9,693,000	469.0	7,503,000	385.0	5,714,000	360.0	4,805,000	477.0	9,160,000	90.6%	-5.5%
Mt Isa	N.D.	N.D.	N.D.	3,570,000	N.D.	N.D.	N.D.	年 6,270,000	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
Century	67.2	2,046,800	60.2	1,866,000	55.1	1,626,400	39.50	1,232,200	32.8	1,025,962	-16.7%	-49.9%
Rosebery	153.4	721,430	183.5	765,860	135.0	661,500	148.50	695,400	187.9	807,209	16.1%	11.9%
Golden Grove	2,992.0	929,018	1,500.0	445,800	1,721.3	535,946		1,031,142	N.D.	511,167	-5.0%	-45.0%
McArthur River	N.D.	N.D.	N.D.	533,000	N.D.	N.D.	年 43	年 1,447,000	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
Endeavor	45.6	58,193	35.0	76,197	32.0	124,745	32.0	170,399	31.0	141,463	-17.0%	143.1%
ウラン (t)												
Ranger		1,392		596	2.01	1,103	3.40	1,662	2.80	1,006	-39.5%	-27.7%
Olympic Dam	0.06	913	0.55	865	0.57	793	0.58	822	0.59	883	7.4%	-3.3%
Beverly	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
マンガン (t)												
Groote Eylandt	N.D.	694,000	N.D.	716,000	N.D.	865,000	N.D.	866,000	N.D.	820,000	-5.3%	18.2%
Woodie Woodie	N.D.	220,351	N.D.	214,720	N.D.	244,975	N.D.	226,631	N.D.	196,256	-77.3%	-10.9%
ミネラルサンド (t)												
Mid West (Zircon)	N.D.	57,592	N.D.	61,911	N.D.	61,222	N.D.	64,381	N.D.	53,876	-16.3%	-6.5%
Tiwest (Zircon)	*3	*3	*3	*3	*3	*3	*3	*3	*3	*3	N.D.	N.D.
Wemen (Zircon)	*4	*4	*4	*4	*4	*4	*4	*4	*4	*4	N.D.	N.D.
Hawks (Zircon)	*5	*5	*5	*5	*5	*5	*5	*5	*5	*5	N.D.	N.D.
Mid West (Rutile)		17,602		21,941		24,858	N.D.	25,515	N.D.	20,873	-18.2%	18.8%
Tiwest (Rutile)	*3	*3	*3	*3	*3	*3	*3	*3	*3	*3	N.D.	N.D.
Wemen (Rutile)	*4	*4	*4	*4	*4	*4	*4	*4	*4	*4	N.D.	N.D.
Hawks (Rutile)	*5	*5	*5	*5	*5	*5	*5	*5	*5	*5	N.D.	N.D.
Tiwest (Leucosene)	*3	*3	*3	*3	*3	*3	*3	*3	*3	*3	N.D.	N.D.
Mid West (Ilmenite)	N.D.	123,210	N.D.	152,873	N.D.	159,056	N.D.	142,749	N.D.	156,067	9.3%	26.7%
Tiwest (Ilmenite)	*3	*3	*3	*3	*3	*3	*3	*3	*3	*3	N.D.	N.D.
Wemen (Ilmenite)	*4	*4	*4	*4	*4	*4	*4	*4	*4	*4	N.D.	N.D.
Hawks (Ilmenite)	*5	*5	*5	*5	*5	*5	*5	*5	*5	*5	N.D.	N.D.
ボーキサイト (t)												
Weipa	N.D.	3,843	N.D.	3,815	N.D.	4,036	N.D.	4,444	N.D.	4,229	-4.8%	10.0%
Gove	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	*6	4,767	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
Huntly	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
Willowdale	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
Worsley	*6	*6	*6	*6	*6	*6	*6	*6	*6	*6	N.D.	N.D.

出典:各社年次報告書及び四半期報告

- *1 半期データのみ
- *2 Nickel Westに含まれる
- *3 Tiwestの総生産量のみ
- *4 再開準備中(2005年アナユルレポートより)
- *5 Hawks Nestプラントは2005年9月に撤去
- *6 ボーキサイト生産量のデータなし

(5)-2-2 オーストラリアの主要製錬所生産統計

製錬所/精錬所	2006 第1四半期	2006 第2四半期	2006 第3四半期	2006 第4四半期	2007 第1四半期	前期比(%)	前年同期比(%)
銅製錬所 (t)							
Olympic Dam	47,100	54,600	41,600	39,700	53,600	35.0%	13.8%
Mt Isa *1	N.D	N.D	N.D	213,000	N.D	N.D	N.D
Port Pirie	1,019	1,014	553	974	1,032	6.0%	1.3%
亜鉛製錬所 (t)							
Hobart	49,547	55,288	66,919	63,060	60,346	-4.3%	21.8%
Port Pirie	8,721	9,362	6,330	8,898	9,622	8.1%	10.3%
Cockle Creek *2	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D
Townsville *2, *1	N.D	N.D	N.D	209,200	N.D	N.D	N.D
鉛製錬所 (t)							
Port Pirie	59,956	62,764	24,476	58,993	47,215	-20.0%	-21.3%
Cockle Creek	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D
銀(Oz)							
Port Pirie	2,963,200	3,448,200	2,067,600	3,075,200	2,697,898	-12.3%	-9.0%
Cockle Creek *2	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D
ニッケル精錬所 (t)							
Kalgoorlie Nickel Smelter	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D
Kwinana Nickel Refinery	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D
Nickel West *3	20,300	24,500	24,500	28,000	25,000	-10.7%	23.2%
Yabulu Nickel Refinery	7,000	4,300	7,300	7,500	8,000	6.7%	14.3%
アルミナ精錬所 (t)							
Queensland (QAL)	956,000	986,000	936,000	993,000	945,000	-4.8%	-1.2%
Worsley	834,000	807,000	819,000	902,000	823,000	-8.8%	-1.3%
Gove *1	N.D	N.D	N.D	1,615	N.D	N.D	N.D
Kwinana	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D
Pinjarra *4,*5	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D
Comalco (Yarwun)	257,000	322,000	302,000	360,000	296,000	-17.8%	15.2%
Wagerup	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D
アルミニウム精錬所 (t)							
Boyne Island	134,700	135,900	138,000	136,500	136,100	-0.3%	1.0%
Bell Bay	43,200	43,700	45,100	45,000	43,600	-3.1%	0.9%
金 (Oz)							
Port Pirie	4,080	4,600	3,100	4,800	4,662	-2.9%	14.3%

出典)各社年次報告書及び四半期報告書

*1 年間生産量のみ公表

*2 2003年9月12日閉鎖

*3 Kalgoorlie製錬所とKwinana精錬所含む

*4 年間生産能力

*5 2005年末増強

(6) 中国の鉱産物生産量

(単位：t)

鉱産物	2006												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1-12月計
銅精鉱(t)	63,319	43,969	53,522	54,921	66,543	62,308	60,196	62,629	62,942	60,744	64,583	66,896	722,572
銅地金(t)	224,460	237,076	232,848	242,657	243,609	245,448	236,209	250,348	248,420	247,946	250,564	248,505	2,908,090
鉛精鉱(t)	37,553	42,918	51,330	55,282	58,686	92,553	60,963	63,958	58,772	52,751	54,557	79,063	708,386
鉛地金(t)	170,888	206,096	255,433	226,160	247,283	234,637	202,509	201,289	248,699	252,014	262,317	262,813	2,770,137
亜鉛精鉱(t)	98,501	165,146	170,292	176,751	184,453	201,433	172,458	184,839	186,325	173,280	172,422	192,766	2,078,664
亜鉛地金(t)	185,394	238,653	260,079	254,496	271,705	257,481	243,921	247,204	272,303	279,901	305,351	302,437	3,118,924
ニッケル(t)	7,198	9,512	7,861	8,691	7,322	8,447	8,158	8,039	9,687	9,866	12,782	15,463	113,026

(注) 1-12月計は、安泰科の12月の資料を基にしているため、各月の合計とは異なる場合がある。

鉱産物	2007				1-3月
	1月	2月	3月	1-3月計	07/06
銅精鉱(t)	60,406	59,073	62,919	182,398	13.4%
銅地金(t)	250,400	246,806	238,019	735,225	5.9%
鉛精鉱(t)	39,461	42,759	59,007	141,227	7.2%
鉛地金(t)	198,187	189,228	210,997	598,412	-5.4%
亜鉛精鉱(t)	126,806	134,851	174,923	436,580	0.6%
亜鉛地金(t)	279,686	281,532	305,693	866,911	26.7%
ニッケル(t)	10,540	9,855	9,518	29,913	21.7%

出典：安泰科

2. 主要鉱山の生産統計

(1) Grasberg 鉱山

鉱産物	2006年 第1四半期	2006年 第2四半期	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期
銅(t)	100,380	1171,3979	147,600	212,600	212,099
金(oz)	461,800	325470,700	456,400	571,300	1,074.7
銅品位(%)	0.72	0.72	0.85	1.08	1.21
金品位(g/t)	0.92	0.6792	0.83	0.95	0.92

(2006年第1四半期及び2007年第1四半期の銅の生産量については、Freeport McMoRan社の2007年第1四半期報告のポンド表示で公表されていたものを11=453.59gで換算した。)

出典：Freeport McMoRan HP

(2) Morenci 鉱山

鉱産物	2006年 第1四半期	2006年 第2四半期	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期
電解銅(千t)	72.4	95.7	88.4	88.1	71.6

(2006年第1四半期及び2007年第1四半期については、Freeport McMoRan社の2007年第1四半期報告のポンド表示で公表されていたものを11=453.59gで換算した。2006年第2四半期から2006年第4四半期については、short tonsで公表されているものを1short ton=0.9072tで換算した。)

出典：Freeport McMoRan HP、旧 Phelps Dodge HP

(3) Antamina 鉱山(鉱山全体生産量)

鉱産物	2006年 第1四半期	2006年 第2四半期	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期
銅(千t)	101.2	89.4101.2	88.9	104.7	74.4
亜鉛(千t)	26.3	44.126.3	47.4	38.3	72.2
銅品位(%)	1.47	1.43.47	1.21	1.41	1.10
亜鉛品位(%)	0.61	0.880.61	0.87	0.65	2.42

出典：Teck Cominco HP

平成 19 年度情報収集事業報告書 第 1 号

クォーターリー・レビュー

—資源メジャーの 2007 年第 1 四半期動向—

平成 19 年 9 月 発行

発行：独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構

金属資源開発本部企画調査部

〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町 1310 番

電話：044-520-8590 FAX:044-520-8750 E-mail:mric@jogmec.go.jp

http://www.jogmec.go.jp/mric_web/
